

第4章 別子銅山の近代化産業遺産（特論）

別子銅山の近代化産業遺産

1. はじめに

わが国の19世紀末から20世紀にかけての100年余りは、産業革命と技術革新の時代であった。明治維新に始まる我が国の近代化産業革命は、製糸・紡績業と共に鉱山業からも始まった。すなわち、鉱山業は採掘という採取産業と、製錬という装置産業が結びついたもので、これに鉄道・海運という運輸業や、蒸気汽罐から電力（発電所）というエネルギー産業が付随した。鉱山の銅製品から電線・伸銅業が、鉱山の機械修理・製作部門から機械工業や製作所が、鉱山の土木部門から建設業が、鉱山の木炭・坑木部門から林業が、石炭や亜硫酸ガスの合成から化学工業がそれぞれ派生していった。鉱山業は、重化学工業の生みの親であった。また、鉱山町には、道路・鉄道・港湾・学校・病院・社宅など生きていくための社会資本の整備が必要とされたが、それらの関連施設も産業遺産なのである。別子銅山関連の産業遺産は、わが国の産業革命が果たした役割を雄弁に物語る代表的なモニュメントの一つである（以下、現存する産業遺産は一重線、報告書掲載文は二重線で示す）。

2. 別子銅山の産業遺産の調査区分

元禄4（1691）年から昭和48（1973）年まで283年間にわたり経営された別子銅山は、現在の新居浜市を鉱山町から瀬戸内工業地帯の工都に発展させた鉱山である。また、江戸時代から発展してきた「歴史的鉱山集落」と、明治維新後の近代化によって出現した「近代鉱山集落」の顔を合わせ持っている。鉱山町の形成過程は、鉱脈の推移と連動していた。

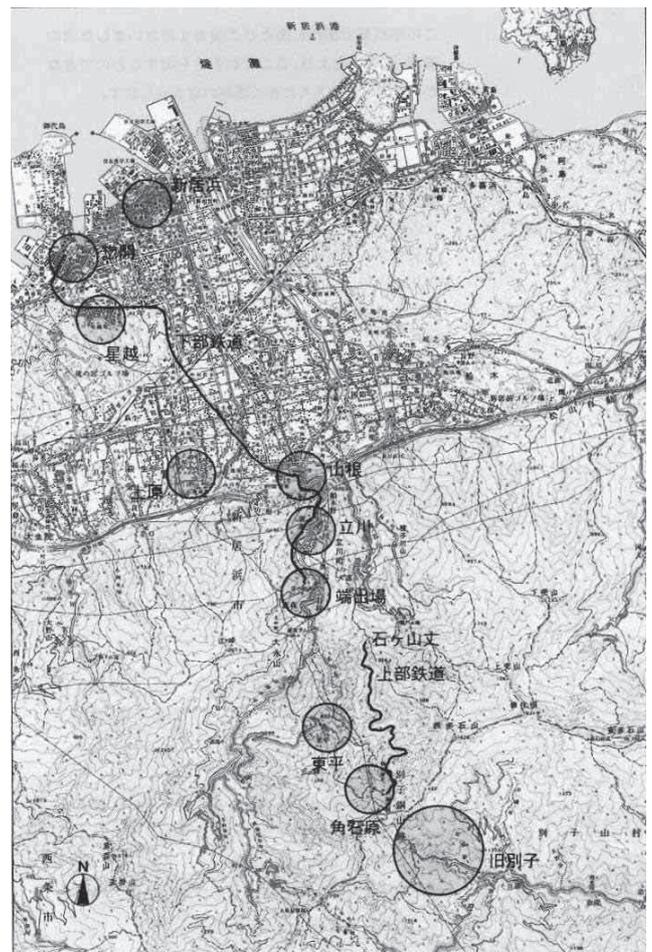
別子銅山は、海拔1294mの歓喜・歓東坑から採掘されたため、当初の鉱山町はその坑口付近の谷筋に展開した。明治6（1873）年からは、日本坑法によって採鉱と製錬が別々に実施できるようになったので、別子山中の採鉱を中心とした鉱山町と、新居浜臨海部の製錬を中心とした鉱山町に分かれて発展した。

近代の採鉱本部は、鉱石など主要物資を搬出入する通洞（主要トンネル）の近くに置かれ、これを中心に鉱山町が形成された。そこには鉄道や索道も敷設され、新居浜の製錬所と連絡していた。別子銅山では鉱石を地中深く掘り進んだので、明治35（1902）年以降、第一通洞のある東延（海拔1100m）・小足谷（同950m）から、新居浜山麓の第三通洞付近の東平（同750m）^{とうなる}・第四通洞付近

はでばの端出場（同156m）へと下りてきている。そのため、別子銅山の近代化産業遺産は、明治前期の第一通洞時代、明治後期・大正期の第三通洞時代、昭和時代の第四通洞時代の順に分けて調査する必要がある（別子銅山産業遺産分布図）。



別子銅山位置図



別子銅山産業遺産分布図

3. 明治前期の産業遺産（第一通洞時代、1868～1899） ラロックと広瀬の起業案

明治前期の別子銅山産業遺産は、住友が雇ったフランス人技師レイ・ラロックが作成した「別子鉱山目論見書」（明治8年作成）に基づき、日本人の技師たちが施工したものである。わが国の近代化に果たしたお雇い外国人の役割は大きいですが、全国的に見ても愛媛県の別子銅山は、設計、施工、稼業状況まで近代化の様相が解明できる貴重な事例である。

明治9（1876）年、広瀬宰平（初代住友総理人）はラロックの目論見書によって近代化起業案を提示し、近代的豎坑の東延斜坑、洋式製錬所の高橋製錬所、運搬車道の牛車道の建設を指示した。ただちに東延斜坑は、海拔約1150mの坑口から、鉱脈に沿って49度の傾斜角で八番坑道レベルの「三角」（海拔約750m）を目指して掘削された。同16年にドイツ工学士桑原政によって東延斜坑機械場の堰堤（写真1）が施工され18年に完成し、23年には蒸気巻揚げ機と建屋が設置された。これにより、大量の鉱石が搬出され、28年には目的の八番坑道レベルへ東延斜坑が到達した。



写真1・東延斜坑機械場堰堤

明治13年には東延の整備と平行して、東延と小足谷の中間に別子鉱山の技師大島供清によって高橋製錬所（写真2）が建設された。明治11年には別子支山として、弟地坑が開坑され、大正13（1924）年銅山川対岸に筏津坑に替わった。いっぽう、牛車道は勘場（鉱業所本部）から立川中宿（立川精銅場併設）を経て新居浜口屋まで約30kmの距離を5年の歳月をかけて明治13年に開通した。同19年には東延斜坑直下に全長1021mの第一通洞（通洞南口と北口）（写真3）が完成した。

明治22年、広瀬宰平は欧米巡遊によって、鉄道の重

要性を認識し、鉄道技師小川東吾を雇い入れた。小川は別子銅山が急峻な高山にあるため、上部鉄道と下部鉄道を索道でつなぐことにした。同26年に海拔837mの石ヶ山丈駅から同156mの端出場駅間に、距離1585mの索道が完成した。26年には惣開～端出場間10.461kmの下部鉄道（端出場鉄橋・端出場隧道・車屋トンネル・物言嶽トンネル・檜尾川橋梁）と、石ヶ山丈～角石原間5.532kmの上部鉄道（石ヶ山丈駅跡（写真4）、切通し跡、唐谷橋梁の橋台（写真5）など）が完成した。こうして物資輸送は別子東延（第一通洞）→角石原駅（上部鉄道）→石ヶ山丈駅（索道）→端出場駅（下部鉄道）→惣開駅となり、別子と新居浜はわずか3時間ほどで結ばれることになった。



写真2・高橋製錬所跡



写真3・第一通洞（南口）



写真4・石ヶ山文駅跡



写真7・劇場跡



写真5・唐谷橋梁の橋台

東延・小足谷地区の発展

別子には江戸時代以来の勘場（鉱業所本部）があり、見花・両見谷の稼人小屋（社宅）を中心に、明治8（1875）年に私立足谷小学校、16年に住友病院が建てられた。ところが、明治20年代になると、鉱山町は別子から小足谷に移転し、採鉱課長宅や稼人小屋、醸造場と煙突、接待館、劇場や私立小足谷小学校が新設された。それらの建物は頑丈な石垣の上に築造され、煉瓦塀などで囲まれていた。現在、採鉱課長宅跡と接待館跡の煉瓦塀（写真6）、劇場跡（写真7）・小学校跡・社宅跡の石垣、醸造場の煉瓦煙突が残っている。

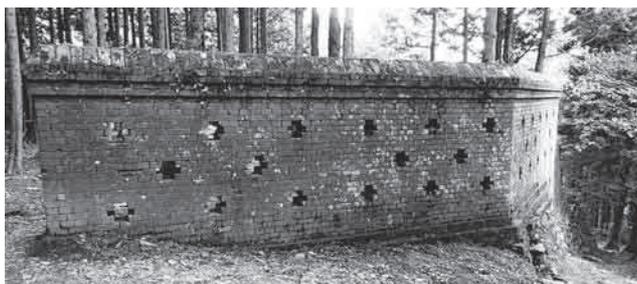


写真6・接待館跡の煉瓦塀

新居浜惣開地区の発展と四阪島製錬所

いっぽう新居浜の平野部では、明治12（1879）年に大型蒸気船が停泊できるよう、新居浜沖合の御代島^{みよしま}に港を建設し、陸運と海運の一体化を図った。21年から、塩野門之助設計の惣開製錬所と、岩佐巖設計の山根製錬所が操業を開始した。惣開では水套炉や反射炉で銅製錬が、山根では銅製錬の残滓から硫酸などの化学薬品製造と製鉄試験が実施された。現在、山根製錬所跡には煙突と煙道跡が残っている。23年の別子開坑200年記念に合わせて広瀬邸が完成し、賓客の接待間となった。同年広瀬幸平は、「惣開之記」を建立し、「是地や南鉱山を負ひ、北海湾に臨み、最も舟車に便なり」と記した。26年には、その言葉どおり別子鉱山鉄道が開通し、別子への起点となる惣開駅が設けられ、新居浜は一農漁村から煙突の林立する臨海工業都市へと変貌しつつあった。

ところが、明治26年から27年にかけて亜硫酸ガスの煙害が激しくなり、周辺の田畑山林の作物に被害が続出したため、農民から怨嗟の声が上がった。28年11月、別子支配人伊庭貞剛は惣開製錬所の煙害問題を根絶するため、新居浜沖20kmの四阪島移転を決意した。四阪島は、愛媛県越智郡宮窪町（現・今治市宮窪町）に属し、美ノ島・家ノ島・鼠島・明神島からなる水のでない無人島であった。

別子大水害と鉱業所本部の移転

明治32（1899）年8月28日、別子鉱山は台風による暴風雨に直撃された。降水量325mm余のほとんどが集中豪雨となって降り注ぎ、山津波となって幾多の貴い人命と家屋・財産を暗闇の濁流に飲み込んだ。この山津波により512人の貴重な生命を奪い、別子開坑以来200年余にわたる諸設備に壊滅的な打撃を与えた。明治34年、瑞応寺にはその慰霊碑（別子大水害流亡者碑）が残され

ている。32年11月1日付で別子から採鉱課を除く、鉱業所本部と全施設が新居浜に移転され、新居浜では関連施設や社宅の建設が大規模に始まった。

4. 明治後期・大正期の産業遺産（第三通洞時代、1900～1925）

東平・四阪島の開発と環境遺産

明治30(1897)年1月に四阪島事務所が設置され、塩野門之助（サンテチェンヌ鉱山学校卒）がその専任となり、工事が開始された。33年5月、塩野が事務所長、中村啓二郎（東大採鉱冶金科卒）が副長となって、製錬所の建設に当たり、併せて巻揚傾斜道や港湾施設・事務所・社宅・学校・病院などが建設された。ようやく37年7月に完成し、38年1月から操業を開始した。製錬所の落成式は日露戦争のため1年延期となり、翌39年11月に挙行され、住友家の日暮別邸もこの年に完成した。

伊庭別子支配人の赴任前後から明治38年まで投資された起業資金は462万円余に達したが、四阪島の移転に173万円余、植林に19万円余、坑水路に22万円余（小足谷収銅所跡、東平収銅所跡、東平～惣開間の坑水路跡、坑水路を併用した遠登志橋、山根収銅所(写真8)、植林などの環境対策にその約半分が使用されたのであった。



写真8・山根収銅所

いっぽう、明治35(1902)年8月に海拔750mに位置する東平に第三通洞（通洞坑口）が貫通すると、東平地区の開発が始まった。実は、第三通洞の開削と東平の開発は、四阪島製錬所の建設と連動しており、煙害防止のため別子山中と新居浜臨海部での焼鉱と製錬をやめ、東平に貯鉱庫と選鉱場を建設し、すべての製錬工程を四阪島製錬所で行う計画であった。

臨時建設部の設置

明治36年7月から39年1月まで、別子鉱業所では設計部に臨時建設部を置き、東平の開発を担当させた。前年には、大阪本店が住友臨時建築部（日建設計(株)の前身）を設置しており、連動した動きであった。別子の臨時建設部は、土木課から「別子鉱山第三隧道ニ関係スル新設撰鉱場、及其附近並ニ第三隧道口・新居浜間ノ運搬計画、及関係ノ諸設備事業」を移管され、第三通洞口から東平選鉱場までの電車工事、東平選鉱場の本体工事と新居浜港までの索道新設・鉄道改修工事、および発電所と社宅など生活関連施設の建築を実施することになった。

臨時建設部の主要メンバーは、トップの部長と土木課主任を兼務した河野天瑞（工部大学校卒→鉄道省→住友→索道安全商会技師長）、同じく臨時建設部と土木課を兼務した永井専三（東大土木科卒→住友→宇治川電気取締役）および林桂一（京大土木科卒→住友→九大教授）、設計部と機械課電気係を兼務した西川喜計（東大電気科卒→住友→大阪市→大正水力電気）、同課電気係の野上菊太郎（東大電気科卒→宇都宮電灯→住友→野上工業所）などであった。

野上の後任吉田貞吉（京大電気科卒→住友、別子→本社理事・住友化学社長）と機械課の工藤治人（京大電気科卒→住友→日立製作所専務→日産自動車社長）は、臨時建設部員ではないが、その後継者として端出場水力発電所や電気機械の設計・施工に携わった。

東平地区の産業遺産

明治36年7月、臨時建設部により東平の開発が始まり、第三通洞附近では同年8月に喜三谷堰堤、翌年8月に第三暗渠が完成した。平行して電車鉄道工事が進められ、36年5月に喜三谷橋梁、8月と11月に三坂隧道と東平隧道(写真9)が完成した。翌37年2月に柳谷橋台が完成すると、3月に柳谷鉄橋が架設され、4月に選鉱場まで全線に線路が敷設された。併せて同年1月と10月に第三仮配電所と東平配電所が竣工し、8月から第三通洞内から東平選鉱場までの電車が開通した。



写真9・東平隧道

東平選鉱場は、同37年6月に谷側の土留石垣が完成し、7月に第二装入庫、11月に第一装入庫と貯鉱庫(鉱石貯置場)の造成工事が完了した。同年12月には傾斜鉄道線路(インクライン)(写真10)も竣工し、翌38年11月から選鉱作業を開始した。東平索道停車場は、37年4月に造成工事が終わり、6月に制動機室ができ、7月に煉瓦造の基礎が完成した。翌38年9月からブライヘルト式索道(標高差600m、距離3708m)で、新道(煉瓦造建家が残る)、端出场上、蜂ヶ嶽の各索道停車場(中継所)を經由して、別子鉱山下部鉄道の黒石駅まで鉱石を降ろした。明治38年中に東平の採鉱課と機械課事務所・機械課工場・社宅などが完成した。



写真10・傾斜鉄道線路跡

ところが、翌40年6月の別子暴動によって、東平の施設・社宅が破壊されたので、41年1月に採鉱課事務所・第三変電所、3月～12月にかけて東平・柳谷・第三・呉木・喜三谷の各社宅が新築再建された。翌42年5月には東平接待館・東平倶楽部・東平郵便局、6月に住友病院東平出張所が新築された。いずれも、土台の石垣が残っている。

明治44年2月、第三通洞の延長として日浦通洞が開通すると、東平から別子の日浦まで3915mの籠電車につながったので、同年10月には上部鉄道と石ヶ山丈索道が廃止され、東平索道と下部鉄道が鉱山の主要な運搬路となった。大正5(1916)年1月、別子東延の採鉱本部はその人員とともに東平へ移転し、同地が採鉱の拠点となった。

端出場地区の産業遺産

明治35(1902)年5月、下部鉄道の終点端出場に火力発電所が建設された。端出場は鉄道の運搬拠点と同時に、坑内電車や索道のエネルギー源として、37年にはその

上流に落シ水力発電所(90KW、基礎が残る)が、44年には端出場水力発電所(3000KW)が設置された。別子鉱山鉄道の山根駅近辺も賑わいを見せ、すでに34年には中筋町の今井醤油製造所の住宅と店舗が新築されている。

大正4年9月、海拔156mの端出場に第四通洞が貫通し、坑内の鉱石は第三通洞と第四通洞の両方から搬出可能となった。大正2(1913)年から相前後して、端出場の造成工事が開始され7年に完成した。その間、5年7月鹿森・打除の労働者社宅の造成工事に着手し、同7年には第四通洞の出口に四通橋(端出場橋梁)(写真11)が架設され、8年に仮手選鉱場が設置された。



写真11・四通橋

新居浜地区の産業遺産

明治32(1899)年11月、別子鉱業所本部が新居浜惣開の旧分店に移転すると、翌33年1月別子鉱業所の西側湿田を埋め立てて惣開尋常小学校が開校した。34年3月には別子鉱業所の東隣に住友銀行新居浜支店(現・住友化学歴史資料館)が新築落成し、12月には道路をはさんで南側に住友病院(写真12)が開院した。新居浜の社宅群は、まず別子鉱業所の惣開駅から延びた下部鉄道沿いの湿田を埋め立てて造成され、明治34年には星越隧道(写真13)ができた。大正2(1913)年には、惣開に住友肥料製造所(住友化学の前身)が、4年に機械課(住友重機の前身)が設立され、鉱山都市から工業都市へ転換しつつあった。



写真12・旧住友病院

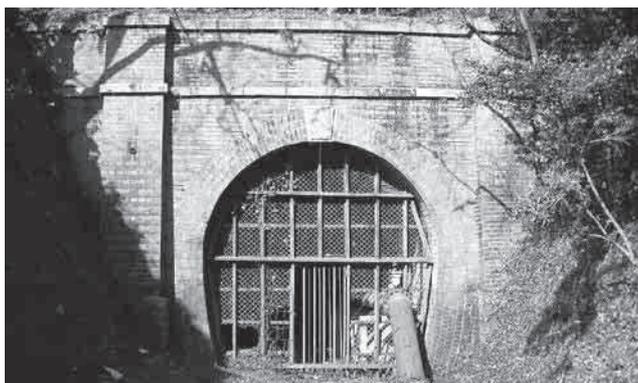


写真13・星越隧道

四阪島地区の産業遺産

明治38(1905)年1月から四阪島製錬所が操業を開始すると、四阪島事務所が解散し、土木課が継続事業を引き継いだ。その頃の「四阪島製錬所配置図」で、日暮別邸を中心にして見ると、その東側に吉備浦・吉備峠・明見谷・北浦社宅・糶ヶ岡・東巽・巽の社宅群、その西側に日暮・西日暮・銅ヶ関・勝浦が、南側に頂上・美ノ浦・美ノ上・美ノ端の社宅群があった。いずれも明治31年から42年までに建築されたもので、現在は石積みが残る。

大正10(1921)年に四阪島製錬所の大改造があり、荷揚げ施設や変電所・貯鉱庫、および製錬設備が新設され、その動力源として端出場発電所の電気を新居浜から約20kmの海底ケーブルで引き込んだ。13年には四阪島の大煙突(写真14)も完成した。



写真14・四阪島製錬所大煙突

5.昭和時代の産業遺産(第四通洞時代、1926～1973) 端出場と星越地区の開発

昭和5(1930)年5月、採鉱本部が東平から端出場に移転し、同10年5月に東平・端出場間の索道が完成すると、第四通洞のある端出場が採鉱の中心地となった。すでに昭和2年8月には、端出場選鉱場が完成しており、前後して採鉱事務所・電車庫・修理工場・貯鉱庫(写真15)・診療所・集会所などが建築された。併せて下部鉄道の整備が図られ、同6年頃に黒石駅に通じる檜尾谷橋梁(写真16)がRC橋にかけ替えられた。また、従来の打除・鹿森の労働者社宅が手狭となり、大正12年から昭和初年にかけて山根に大規模な川口新田社宅が造成された。同15年には瑞応寺の庫裏に千里亭が竣工し、昭和6(1931)年には住友別子病院の山根分院や、単身赴任者の寮(鉋友寮)が設置された。そのため、松山街道の喜光寺に商店街が形成され、映画館や旅館(喜楽旅館)でにぎわった。



写真15・端出場貯鉱庫



写真16・檜尾谷橋梁

新居浜の星越地区では、大正14(1925)年6月に新居浜選鉱場が完成し、星越駅と選鉱場からの引き込み線が設置された。選鉱場には、昭和初年にかけて事務所・跨線橋・インクライン(写真17)などが建築され、星越駅構内には機関車修理工場、操車場が設置されて鉄道拠点となった。また、選鉱場から出る尾鉱(廃鉱)で隣接の湿地帯が埋め立てられ、星越の山田社宅群(別子事業所長宅)が形成された。端出場駅が採鉱、星越駅が選鉱の拠点になると、両駅を結ぶ鉄道の人員・物資輸送が急務となった。昭和3年8月、鉄道省に鉱山専用鉄道の地方鉄道切り替えを申請し、翌年2月に許可、11月5日から営業を開始した。

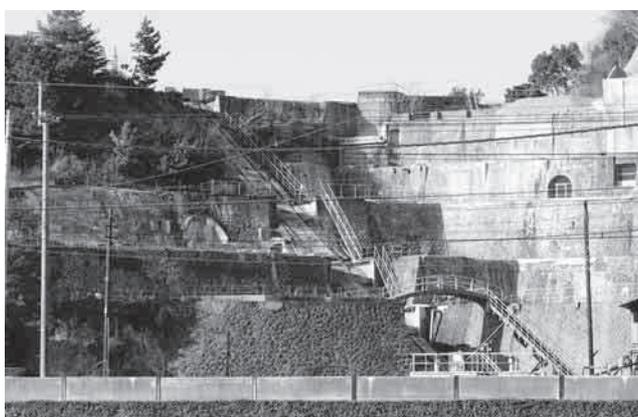


写真17・選鉱場インクライン

新居浜の都市計画と産業遺産

昭和2(1927)年10月、別子鉱業所は別子鉱山株式会社として住友本社から分離独立した。このときトップになったのが鷺尾勘解治である。翌年鷺尾は鉱量調査を実施し、鉱脈が衰えその余命が短いことを知ると、鉱山に代わる事業を起すため、①新居浜築港と埋立による工場誘致、②昭和通を初めとする道路整備、③山田・川口新田社宅など社宅群の建設、④別子鉱山専用鉄道を地方鉄道として一般乗客に解放するなど、新居浜の都市計画を断行した。白石譽二郎新居浜町長の賛同もあり、埋立地には、別子銅山から派生した工場群を誘致することにした。鷺尾は社員の福利厚生にも熱心であり、東平から山根製錬所跡に大山積神社を遷座すると、隣に山根競技場と観覧席を社員のボランティアで造成し、社員対抗の運動会や奉納相撲が開催された。

昭和8(1933)年には新居浜築港が開始され、翌年その造成地に別子銅山から派生した住友化学、四国中央電力、住友アルミニウム、住友機械製作所が誘致された。同11年9月には、星越から分岐して新居浜港に至る全長2kmの、新居浜港線が開通し、金子川(現・東川)

にかかる昭和橋の南詰に昭和橋駅が設置された。新居浜の中心地に鉄道が乗り入れられ、昭和通が商店街として発展する契機となった。同6年、西町に芸備銀行新居浜支店(現・マナベ小児科)が建設されたのは、その兆候を示すものであった。いっぽう星越は、山田社宅の開発により住民が増え、惣開小学校と住友別子病院が惣開から星越に新築移転し、12年には住友倶楽部(写真18)が新設されるなど、文化施設の集中が図られた。また、延伸した鉱山鉄道の昭和橋駅前には、宿泊施設の泉寿亭(マイントピア別子に移設)が新築され、別子鉱山を訪れる関係者でにぎわった。14年には町と企業が協力して武徳殿(現・登録有形文化財)(写真19)を建設し、青少年の武道教育に貢献した。昭和12年11月3日、新居浜では市制が施行され、初代市長の白石譽二郎はいっそう町と企業の共存共栄を目指した。14年には、念願の新居浜港が完成し、四阪島の煙害問題も解決したなかで、15年別子開坑250年祭が開催された。17年11月には、星越駅から省線新居浜駅(現・JR四国)に至る全長2.7kmの新居浜駅連絡線(現在、自転車道)が開通し、新居浜は通勤客でにぎわった。



写真18・旧住友倶楽部(星越館)



写真19・武徳殿

戦後の新居浜と産業遺産

昭和24～25(1949～50)年、戦後の復興期を迎えると、新居浜では交通機関が発達し、通勤・通学の市内交通はバスが主流となった。29年にバス路線が新居浜市内から端出場まで延びると、翌30年1月、別子鉄道は鉱山専用鉄道に戻った(昭和51年に廃止され、自転車道となる)。

戦後の新居浜の発展は、昭和23年1月新居浜港が国際貿易港に指定されたことに始まる。28年港湾法によって新居浜港務局が置かれ、33年には新居浜でわが国初の石油化学コンビナートの火が灯った。鉱山町から工業都市へと変貌しつつあった。26年8月、新居浜市役所旧庁舎(現・新居浜市郷土美術館)、37年11月に新居浜市民文化センター大ホールなどの公共施設が建設された。43年には、別子銅山の再生を図るため、大斜坑を第四通洞の上部から、坑内32番坑道(海面下約1000m)へ向けて開削したが、経営環境の悪化により48年3月に閉山した。

6. 結びにかえて

別子鉱山と新居浜は、約300年にわたる鉱山の発展過程を物語る鉱山町である。別子鉱山の事業は、鉱脈を地中深く掘り進むにつれ、海拔1000mを越える別子山中から、東平・端出場・新居浜を経て、沖合20kmの四阪島までひろがった。鉱山では、人びとが働くための施設とともに、学校・病院・劇場・社宅など生活関連施設も必要とした。鉱山の歴史は、町づくりの歴史といっても過言ではない。昭和48(1973)年3月、別子銅山はその長い歴史を閉じた。しかし、新居浜は昭和初期の都市計画によって工業都市へと飛躍できた。都市の発展経緯が、今日の工場群や港湾・道路・社宅などの社会資本として生き続け、新居浜は生きた産業遺産都市となっている。

[末岡照啓]

端出場鉄橋

所在地	新居浜市立川町
建築年	明治26(1893)年3月開通
設計・施工	設計・ドイツ国ハーコート社、施工・小川東吾・住友別子鉱山土木課
構造概要	鋼造ボーストリング・ワーレントラス構造、橋長 47.82m (トラス桁部分 39.34m)、幅員 3.53m
備考	登録有形文化財 (平成21年8月7日登録)、経済産業省「近代化産業遺産群 33」(平成19年度)

沿革 (歴史・由緒)

端出場鉄橋は、明治26(1893)年3月から使用された、旧別子鉱山鉄道の橋である。

明治21年、別子鉱山鉄道は瀬戸内海の新居浜と海拔1100mの別子鉱山を結ぶ路線として調査された。22年広瀬宰平の欧米巡遊帰国後、①下部鉄道(惣開～端出場間10.461km)、②索道(端出場～石ヶ山丈間1.585km)、③上部鉄道(石ヶ山丈～角石原間5.532km)の三路線と決定した。24年4月に索道、26年3月に下部鉄道、8月に上部鉄道が完成し、全線開通した。その後、明治44年10月に②と③、昭和52(1977)年2月に①が廃線となった。

設計者の小川東吾(1860～1933)は、工部大学校を明治17年に卒業。鉄道局、日本土木会社・讃岐鉄道などを経て、22年に住友の鉄道技師となった。小川は、機関車・鉄橋などの機種選定にあたり、九州鉄道会社のルム・シヨツテル氏に相談し、ドイツ国クラウス社製の機関車と、ハーコート社製の端出場鉄橋を導入した。住友退職後は、小田原電気鉄道で箱根鉄道と索道を、鉄道局では利根川の布佐鉄橋を設計した。別子鉱山鉄道は、鉄道と索道を併用した日本最初の山岳鉄道として、小川が鉄道・橋梁技術を磨いたものである。端出場鉄橋はそのランドマークとして重要である。

形態・構造の特徴

端出場鉄橋は、部材をピンで組立てるプレハブ式のピントラスト橋で、この種の橋は明治時代にドイツから数多く輸入された。いわば植民地・後進国用の橋梁であるが、わが国で現存するのは数例しかなく貴重である。観光鉄道使用に際し、そのまま使えないので、床組みを全部撤去し、新しい箱桁を架設して橋の形態保存を図る。また、当初の図面があり、実物との比較検討ができる。

[末岡照啓]

参考文献

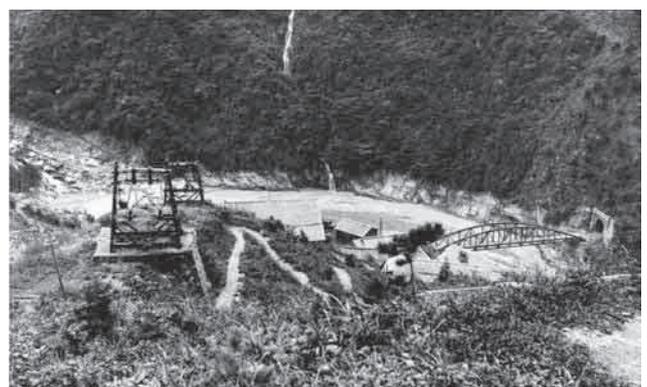
『住友別子鉱山史』上巻(住友金属鉱山(株)、1991)
『小川東吾先生略伝』(小川珠子、1921)



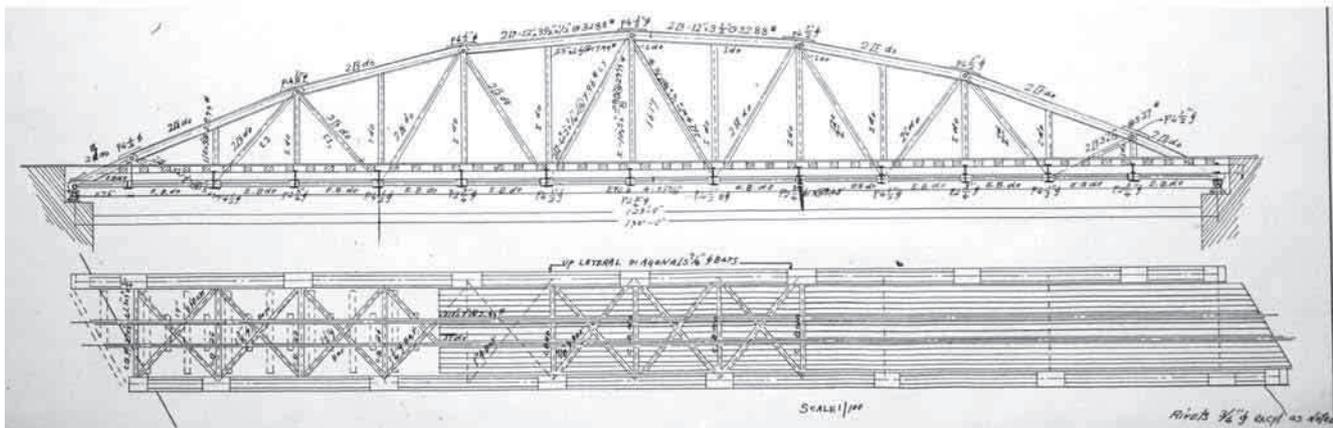
端出場鉄橋(現況)



端出場鉄橋(明治31年、提供・住友史料館)



端出場鉄橋と索道(明治32年、提供・住友史料館)



足谷川橋梁図(端出場鉄橋図) (提供・別子銅山記念館)

端出場隧道

所在地 新居浜市立川町
 建築年 明治26(1893)年3月開通
 設計・施工 設計・小川東吾、施工・住友別子鉱山土木課
 構造・概要 煉瓦造、延長92.55m、幅員3m(坑門高さ6.6m、横幅6.7m、厚さ2.3m)
 備考 登録有形文化財(平成21年8月7日登録)、経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)

沿革(歴史・由緒)

明治26年(1893)3月、端出場隧道は端出場鉄橋の架設に伴って開通し、昭和52年(1977)2月の廃線まで使用された。現在は観光鉄道として使用されている。なお、近年まで中尾隧道と呼ばれていたが、当初の名称に戻した。

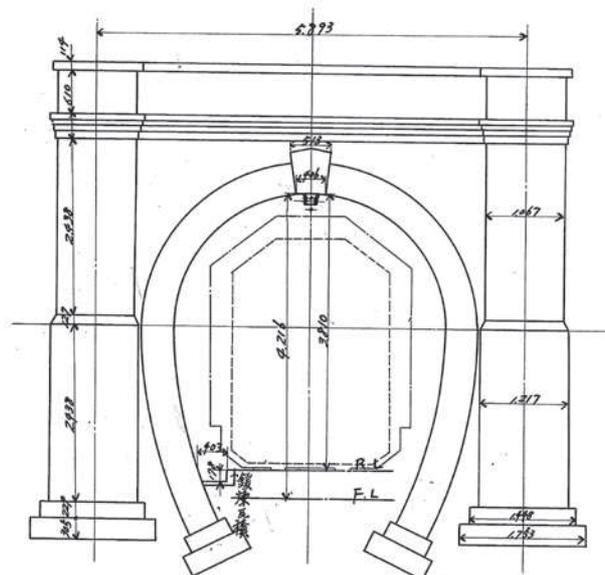
形態・構造の特徴

端出場隧道の南側坑門は、国領川の切り立った川岸に面し、端出場鉄橋の橋台工事と同時に施工された。北側坑門は鹿森の山裾に位置している。南北の両坑門とも手積の技法で煉瓦が積まれており、その様式は半円アーチ式で、坑門の両脇にピラスター(付柱)を構えている。また、翼壁や胸壁を配するなど細部にわたり意匠や構造がしっかりしている。別子銅山鉄道に現存する最古のトンネルである。

[末岡照啓]



端出場隧道(現況)



中尾隧道図(端出場隧道図) (提供・別子銅山記念館)

旧山根製錬所煙突

所在地	新居浜市角野新田町
建築年	明治19(1886)年7月着工、明治21年5月竣工(11月21日操業開始)
設計・施工	設計・岩佐巖、施工・住友別子鉱山土木課
構造概要	煉瓦造、高さ GL + 20.145m、煙突平面 2,595 × 2,600mm ~ 1,920 × 1,820mm の角形
備考	登録有形文化財(平成21年8月7日登録)、経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)

沿革(歴史・由緒)

明治21(1888)年5月に竣工した山根製錬所は、低品位鉱処理の湿式取銅により、副産物の硫酸・硫酸銅・コバルト・銑鉄などを産出、当時の最先端技術工場であった。19年4月、住友家初代総理人広瀬宰平は東京大学から岩佐巖教授を招き、別子銅山の低品位鉱処理の意見を聴取した。岩佐は、硫黄と鉄分の多い別子の含銅硫化鉄鉱に着目し、ドイツ国フライベルク大学で学んだ湿式取銅法と鉛室硫酸法による硫酸製造の採用を進言、同年9月に岩佐は住友の工師として招聘された。

明治21年11月に操業を開始すると、その施設は工程順に鉱石庫→碎鉱場→搗鉱場→焼鉱場→鉛室建家→焙焼炉建家→濾過室建家→蒸発及び硝酸室建家→晒室→硝石庫→沈殿室→製銅場など24棟の建物群で構成されていた。鉛室建家には、長さ80間(約145メートル)の煙道と高さ約20メートルの煙突1基が附属していた。現在は大山積神社の境内と別子銅山記念館の敷地であるが、明治の最先端技術を実施した痕跡が、煙突と煙道跡に残る。

形態・構造の特徴

イギリス積の煉瓦造煙突。新居浜の惣開製錬所と同時期・同形状の煙突であり、洋式製錬開始当時の形状は本物件でしか垣間見ることができない。外形の煙突底面は方形 2,595 × 2,600mm、煙突最上部は方形 1,920 × 1,820mm、煙突の高さは GL + 20.145m、煉瓦の厚さは下部から上部にかけて、925~450mm である。

平成22年度に新居浜市が構造補強工事を実施し、煙突内部に直径 300mm の鋼管を煙道として入れ、その周りをコンクリートで固めた。基礎部がなかったため、基礎を拡張して煙突の転倒に対応。表面煉瓦の剥離防止に、1,248本のステンレスピンで補強を行った。また、最上部約1.3m間は煉瓦劣化のため、新規製造の 2,420枚(押し印付き)の煉瓦で積み替えた。

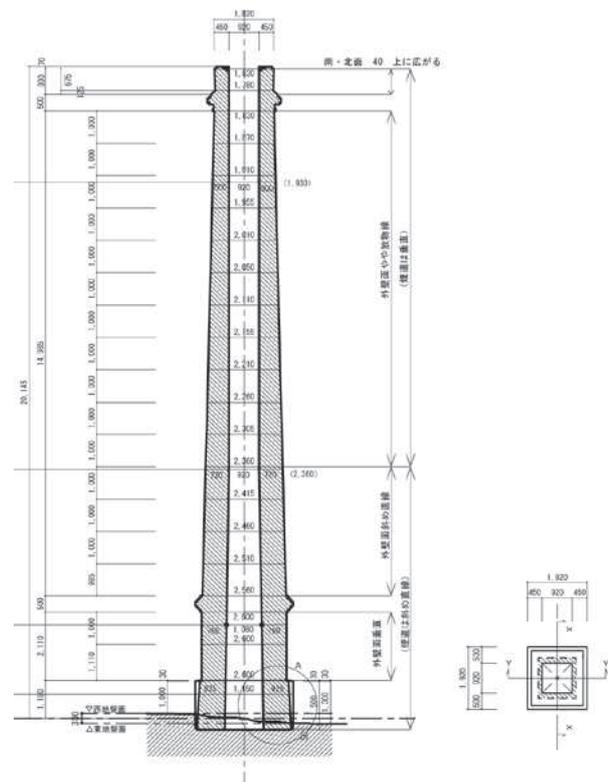
[末岡照啓・横井邦明]

参考文献

『住友別子鉱山史』上巻(住友金属鉱山(株)1991)
『平成21年度旧山根製錬所煙突現況調査資料』、『平成22年度旧山根製錬所煙突補強工事資料』(新居浜市)



旧山根製錬所煙突(現況)



旧山根製錬所煙突の断面図・頂部見下げ図(提供・新居浜市)

旧広瀬邸

所在地	新居浜市上原
建築年	明治10(1877)年竣工、明治22年移築改造および増築
設計・施工	真鍋儀兵衛(建築時)、二代目八木甚兵衛(移築改造・増築)
構造概要	木造2階建、建築面積：1,361㎡
備考	建造物重要文化財(平成15年5月30日指定)、愛媛県名勝(昭和43年3月指定) 経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)

沿革(歴史・由緒)

別子銅山の近代化を図った広瀬幸平の旧宅。明治20年(1887)、大阪住友家出入りの大工棟梁八木甚兵衛(二代目)の指揮により、旧金子村久保田にあった広瀬邸を現在地に移転、改築した。母屋・乾蔵などはこの時移築された。明治22年には新座敷と茶室(指月庵)・庭園が、八木と植木屋清兵衛によって新築・造園され、一応の完成をみた。その後、大正・昭和初期にかけて周辺の整備が行われ、今日みる姿となった。母屋は瀬戸内海と新居浜の眺望を意識したもので、2階は幸平の漢詩により「望煙楼」と名付けられた。新座敷は別子開坑200年祭の迎賓館として建築され、平成15年(2003)5月に「別子銅山を支えた実業家の先駆的な近代和風住宅」として重要文化財に指定された。八木の現存最古の建物でもある。

技法・意匠上の特徴

広瀬邸は、重文に指定された①母屋、②新座敷、③離れ、④新土蔵、⑤管理棟、⑥乾庫、⑦表門と指定外の茶室・付属建屋で構成される。八木によって、母屋と新座敷が渡り廊下で接続されたとき、縁廻りの軒桁・垂木が八木の得意とした数寄屋風の磨き丸太で統一された。母屋には、式台付き玄関・座敷・居間・台所などの居住空間があり、2階への階段手摺や「望煙楼」の縁手摺りに近代和風の特徴である洋風の意匠がみられる。建具も全体にガラス障子を用い、1階に暖炉、2階に洋式便器、屋根に避雷針があった。新座敷は、上段風の床と琵琶床を備え、長押を廻して欄間、釘隠などに意匠を凝らしている。迎賓館としての重厚さを醸し出す演出である。

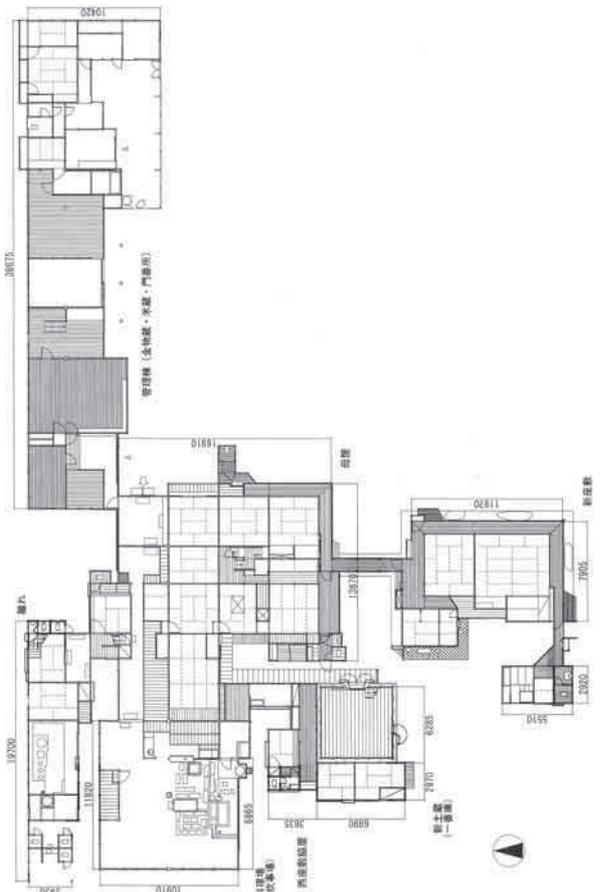
平成7・8年、①～⑦の建物と茶室・庭園の大改修を行い、同23年に新座敷床の間と茶室・付属建屋を補修した。
[末岡照啓・久葉裕可]

参考文献

『別子銅山の近代化を見守った広瀬邸』(新居浜市教育委員会、2002)



旧広瀬邸母屋・新座敷(現況)



旧広瀬邸平面図(出典・旧広瀬邸建造物調査報告書)

第三通洞

所在地	新居浜市立川町	建築年	明治27(1894)年3月着工、明治35年8月竣工
設計・施工	住友本店別子鉱業所設計部・同土木課		
構造概要	石造、延長 1795m (日浦まで 3915m)、幅員 3.35m		
備考	経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)		

沿革 (歴史・由緒)

通洞とは、明治6(1873)年にわが国最初の鉱山法令「日本坑法」で定められた物資搬出入の主要坑道のこと。

明治27年3月、坑外の「蘭干場」(海拔747m)から坑内最下底、「三角」^{みずま}を目指して水平に掘り抜いたのが第三通洞である。この通洞は、堅坑の東延斜坑と「三角」で交差するのが目的であった。明治19年、東延斜坑は第一通洞(標高1100m)と交差したが、同22年開削の第二通洞(標高960m)とは交差しないうちに、28年3月に「三角」へ到達したため、第二通洞は幻の通洞となった。

明治35年8月第三通洞が坑内「三角」まで1795mで開通すると、当時「蘭干場」と呼ばれた柳谷と喜三谷の合流地は「第三」と呼ばれるようになった。38年8月には、東平選鉱場までの坑内電車が開通し、第三通洞は別子鉱山の主要坑道となった。41年9月からは、坑内「三角」から別子側の日浦まで2120mの日浦通洞を開削し、44年2月に開通した。これにより、別子山村と東平が約4kmのトンネルでつながり、住人は籠電車で往来した。また、銅山川(吉野川水系)の水を端出場水力発電所まで引き込む水路の役割も果たし、別子銅山の近代化に大いに貢献した。昭和5年(1930)5月、端出場で採鉱本部が移転すると、その地位を第四通洞に譲り、戦後の昭和43年3月に閉鎖された。

形態・構造の特徴

通洞口は、両側面と半円アーチ部分に花崗岩の切石を用い、要石に住友井桁のマークを刻印している。両側の壁柱は自然の岩盤をうまく取り組んだ石積で、台形状の堂々とした構えである。通洞口上部の石積は、3段のテラスとなっており、1番上のテラスの後方に土砂留めの石垣がある。鉄扉はリベット留めで、アールヌーボー風のデザインである。重厚な石積の通洞口は、第三通洞時代の象徴である。

[末岡照啓]

参考文献

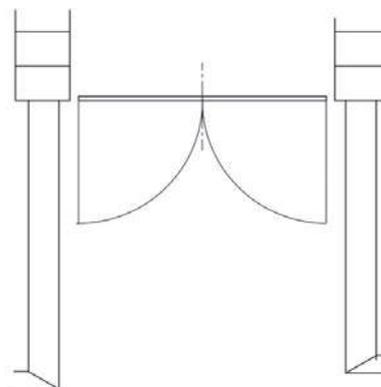
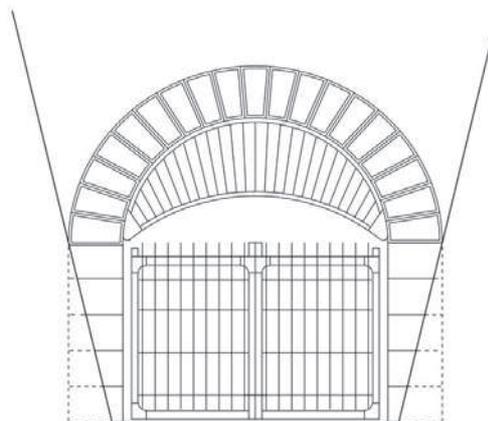
『住友別子鉱山史』上巻(住友金属鉱山(株)、1991)



第三通洞(現況)



第三通洞
(明治38年、提供・住友史料館)



平面・立面図(部分)

旧住友銀行新居浜支店

所在地	新居浜市惣開町
建築年	明治34(1901)年7月竣工
設計・施工	設計・長瀬兵馬、施工・住友本店別子鉱業所土木課建築係
構造概要	木造平屋建、一部2階建、建築面積：251.44㎡(1階：244.44㎡、2階：27㎡)
備考	登録有形文化財(平成13年4月24日登録)、経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)

沿革(歴史・由緒)

明治30年2月、住友銀行新居浜支店は5番目の支店(当時は出張店)として、広島・若松両支店と共に開業した。当初は、別子鉱業所の新居浜分店内にあったが、32年10月に新居浜分店が別子鉱業所本部となったので、同年12月に銀行の新築を出願して33年6月に許可された。翌34年7月に新居浜出張店は竣工し、9月に支店へ昇格した。その後、昭和33(1958)年に市巾中須賀の現在地に移転するまで銀行として利用された。平成2(1990)年に住友化学愛媛工場の歴史資料館として改修され、現在に至る。

設計者の長瀬兵馬(1865年～不明)は、高知県香美郡三島村(現、南国市)の堂宮大工であった。明治20年、東京で三菱深川別荘の建築に加わり、27年に三菱若松支店、28年に筑豊鉱業組合事務所、29年に安川本店・支店及び住友若松支店などを設計し、31年4月に住友に入社した。住友では銀行広島支店の新築に従事したのち、新居浜の担当となった。34年に住友本店へ移り、35年の住友臨時建築部設立に際し技手となり、銀行川口支店の新築を任された。その後39年11月に退社している。

技法・意匠上の特徴

木造寄棟の擬洋館に、石造の金庫蔵が付属している。長瀬の設計図面によると、屋根はドーマー窓付の銅板葺とし、南に玄関、西に通用口を取り、玄関には装飾を施す予定だったが、施工では棧瓦葺に装飾のない玄関となった。壁面は図面どおり、石積みに見せるための縞状の目地を入れ、軒の垂木はデンティール風に仕上げ、軒下の丸型デザインがアクセントを与えている。平成2(1990)年の改修では、通用口をふさぎ、玄関を新築した。長瀬の住友臨時建築部入りする直前の作品として貴重である。

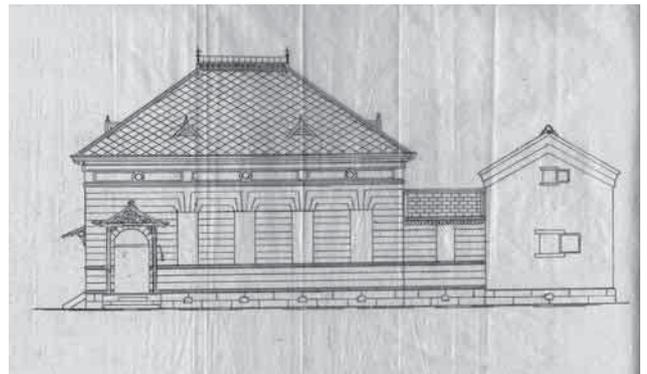
[末岡照啓]

参考文献

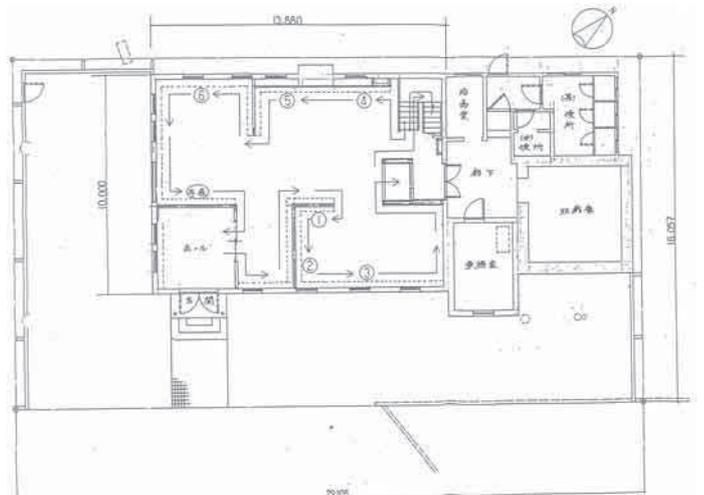
- 『住友銀行百年史』(住友銀行、1991)
- 『銀行新居浜支店新築予算書』(住友史料館所蔵、1900)



旧住友銀行新居浜支店(現況)



住友銀行新居浜出張店新築略図(明治32年、提供・住友史料館)



旧住友銀行新居浜支店1階平面図(平成2年、提供・住友化学株式会社)

日暮別邸

所在地 今治市宮窪町四阪島
建築年 明治39(1906)年
設計・施工 住友本店別子鉱業所土木課建築係
構造概要 木造2階建、鍛煉瓦の地階、建築面積 365.62㎡ (洋館：187.33㎡、和館：178.29㎡)

沿革（歴史・由緒）

日暮別邸は、瀬戸内海に浮かぶ四阪島の高台にたたずむ旧住友家の別邸洋館である。別名「接待館」とも呼ばれ、島を訪れる貴賓の宿泊所も兼ねていた。

明治38(1905)年1月、四阪島製錬所が創業を開始すると、四阪島事務所は残務工事を別子鉱業所の土木課に引き継いだ。別子鉱業所では、日露戦争で延期した落成式を挙行するため、15代家長吉左衛門友純や来賓を迎える接待館が必要となり、38年1月に住友本店臨時建築部の野口孫市を四阪島製錬所に出張させ、日暮別邸の「日暮附近地形図」を作成させた。地図には「此辺、家長殿御撰定、接待館予定図」とあり、建設場所は15代友純が選定した。同年2月の実測図によると、北側急斜面を削り、北端に石垣を築いて385坪の敷地を創出している。当時、野口は大阪府立図書館、大津石山の伊庭貞剛別宅「活機園」を建築しており、別子鉱山の臨時建設部を兼務する土木課に何らかの助言があったとみる。

38年2月以降、土木課は接待館の建築工事を進めたが、次年度の繰り越しとなった。翌39年の「実際報告処書」に「接待館新築工事 工費壱万七千貳百九拾貳円余」とあり、39年11月24日の落成式までに竣工した。同月、15代友純は接待館に、所蔵の荏野宗之助筆の油彩「山村之景」と山本春拳筆の日本画「黄薔薇画」などを送付して、落成式に備えた。おそらく、外国製のベッド・家具もこのとき送付されたものであろう。洋館には和館も併設され、現在にいたっている。

技法・意匠上の特徴

構造は、木造寄棟の棧瓦葺2階建てで、鍛煉瓦を基礎とした地階がある。屋根の北側にドーマー窓があり、小屋組は和小屋であるが、壁板に下見板とよばれる横板を張り、縦長の窓を開くなど、外観は洋風のデザインでまとめられている。東側の玄関を入ると、南側に応接室を兼ねた居間があり、その奥にベランダと食堂がある。地階は、厨房などバックヤードである。2階には広い踊り場に2つの寝室と浴室がある。居室は暖炉付きであるが、

彫刻など派手な装飾はない。暖炉廻り、階段の手摺廻り、食器棚・机・椅子などの簡素な意匠がこの屋敷の見せ場となっており、野口作品に見られるアールヌーボー調である。瀬戸内海に浮かぶ製錬所に、19世紀末の流行をいち早く取り入れた洋館が残っていること自体が驚きであり、非常に価値が高い。

[末岡照啓]

参考文献

『別子鉱業所実際報告書 明治38・39年』（住友史料館所蔵）

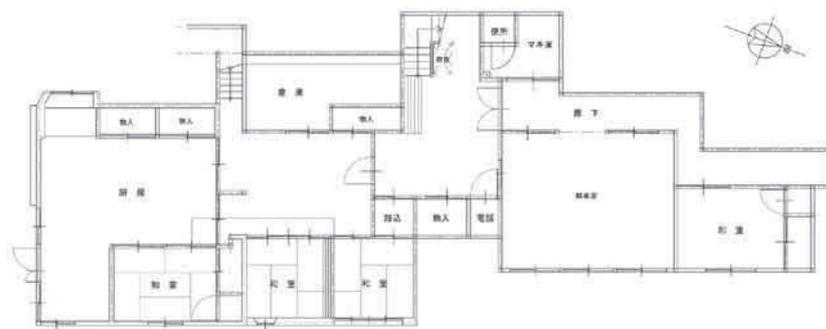


日暮別邸（現況）



同上（現況）

同上（昭和20年代、提供・住友史料館）



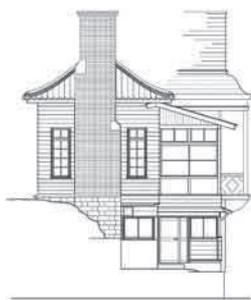
地階平面図



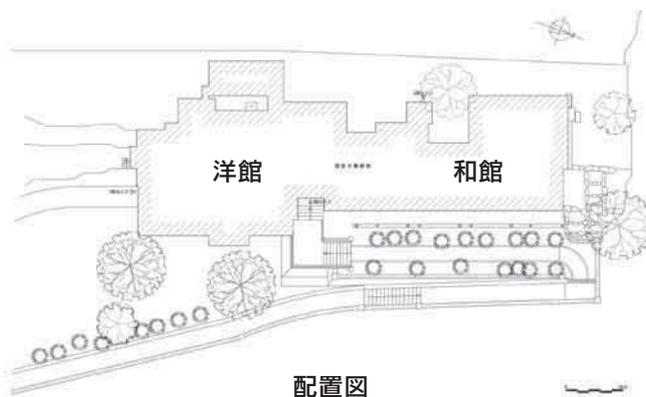
1・2階平面図



上:東面立面図



下:南面立面図



配置図



内部写真(現況)

東平選鉱場・東平索道停車場

所在地	新居浜市東平
建築年	選鉱場 明治37(1904)年11月、索道停車場 明治37(1904)年9月
設計・施工	住友本店別子鉱業所設計部臨時建設部・同土木課
構造概要	選鉱場：石造、索道停車場：石造、一部煉瓦造 選鉱場：幅 32m・投差 28.5m、索道停車場：高さ 5.3m・幅員 3.5m
備考	経済産業省「近代化産業遺産群33」（平成19年度）

沿革（歴史・由緒）

明治35(1902)年8月、海拔750メートルに位置する東平に第三通洞が貫通すると、翌36年7月から造成工事が始まった。東平選鉱場の工事は、同37年6月に谷側の土留石垣が完成し、7月に選鉱場の第二装入庫、11月に第一装入庫と貯鉱庫(貯鉱場)の造成工事を完了した。同年12月には傾斜鉄道線路(インクライン)も竣工し、翌38年11月から選鉱作業を開始した。40年6月の別子暴動で、東平選鉱場の屋根も破壊されたが、直ちに新築された。選鉱場では、手選で鉱石と岩石を選別し、鉱石は斜め格子で三寸(9cm)以上と以下に分け、三寸以下の塊鉱は貯鉱庫へ送り、それ以上は砕鉱機と篩にかけ、塊鉱と粉鉱にして貯鉱庫へ送った。その下に索道停車場があった。

東平索道停車場の造成工事は、明治36年11月に始まり、翌37年4月に完了して、6月に制動機室、7月に停車場の基礎ができた。翌38年にドイツ・ブライヘルト式の索道機械一式を取り付け、同年9月から下部鉄道の黒石駅まで標高差600m、距離3708mの運転を開始した。

昭和5(1930)年5月、東平の採鉱本部が端出場に移転すると、索道と貯鉱庫を残して選鉱場は廃止された。同10年5月、端出場への索道が完成すると、東平・黒石索道は廃止された。昭和43(1968)年3月に至り第三通洞の採鉱が終わり、東平は閉鎖された。

形態・構造の特徴

選鉱場は上から順に、衡量場、第一挿入庫、第二挿入庫、選鉱所、貯鉱庫であった。現在、貯鉱庫上にある煉瓦柱は昭和の太平坑・東平間索道跡で、その下が東平索道停車場である。選鉱場は高級な大島花崗岩の間知石積で、特別な施設として建設されたことがわかる。下部石積は基部で幅32m、高さ9.8m、上部石積は幅26m、高さ9m(煉瓦共12m)で、全体の投差は28.5mにおよび壮大である。100年以上経つが、石積にひび割れは見られず、熟練のワザが光る。重厚ですばらしい建造物

である。

[末岡照啓]

参考文献

- 『別子鉱業所実際報告書』（住友史料館所蔵）
- 『住友別子鉱山史 下巻』（住友金属鉱山、2002）



東平選鉱場・東平索道停車場(現況)



東平全景(明治42年、提供・住友史料館)



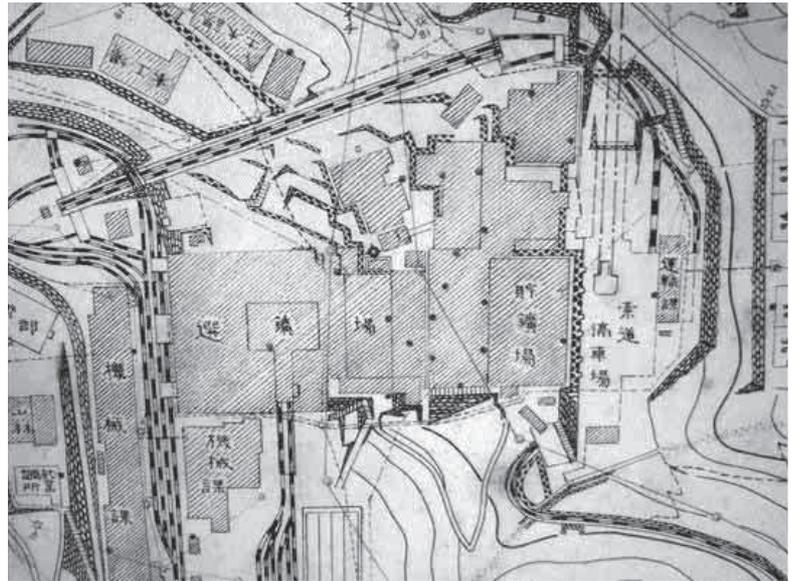
東平選鉱場工事写真
(明治36年頃、提供・住友史料館)



東平索道停車場
(明治42年、提供・住友史料館)



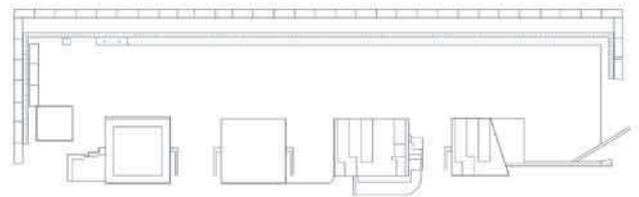
東平・黒石索道(明治38年、提供・住友史料館)



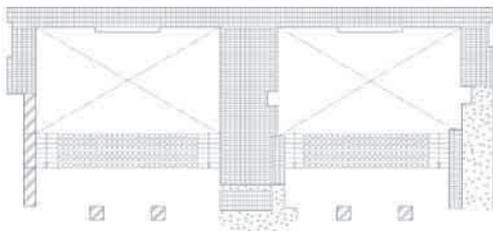
東平地形図(大正14年、提供・別子銅山記念館)



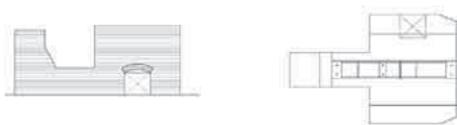
第一装入庫平面図



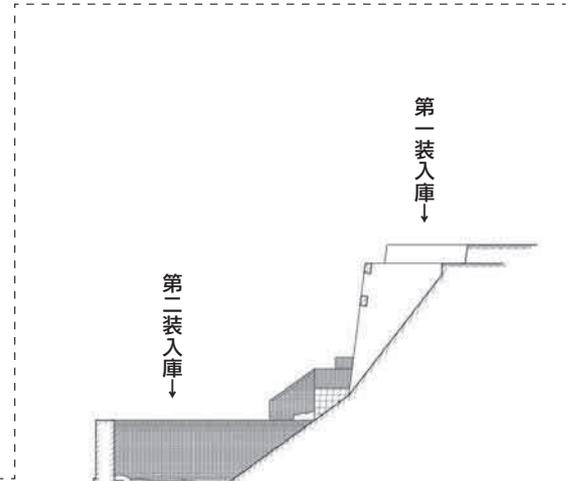
貯鉱庫平面図



第二装入庫平面図

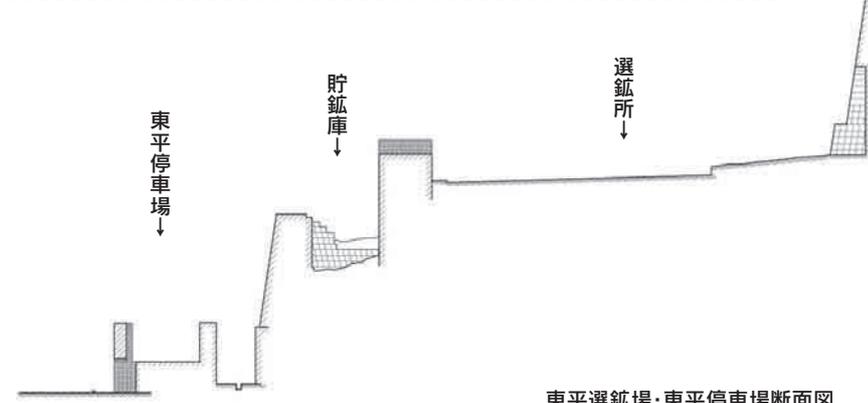


東平停車場平面図



第一装入庫
↓

第二装入庫
↓



東平停車場
↓

貯鉱庫
↓

選鉱所
↓

東平選鉱場・東平停車場断面図



旧東平配電所

所在地	新居浜市立川町	建築年	明治37(1904)年11月
設計・施工	住友本店別子鉱業所臨時建設部・同土木課	構造概要	煉瓦造平屋建(増築部分木造)
備考	経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)		建築面積 67.9㎡(煉瓦造部分 45.35㎡)

明治37(1904)年11月までに煉瓦造の建物が竣工し、翌38年8月から新居浜・端出場・落シの各発電所の電気を集め、別子東延・東平・角石原・東平・新居浜の各施設へ動力・電灯用の配電を開始した。同42年に第三変電所が新築されるとその機能を移し、林業課や保安本部・就労調所などに転用された。戦後は、端出場調査課の東平分室になり、平成6年(1994)のマイントピア別子東平ゾーンの開設に際し、「メイン工房」に改造された。

建物は煉瓦造で、東西4.7m・南北9.65mであったが、平成6年に屋根と西側の木造部分が増築された。南面と北面に出入り口あり、東面に長方形の窓が5つ並ぶ。配電所として、一時は別子東延・新居浜まで配電しており、また東平で最古の煉瓦建造物として貴重である。

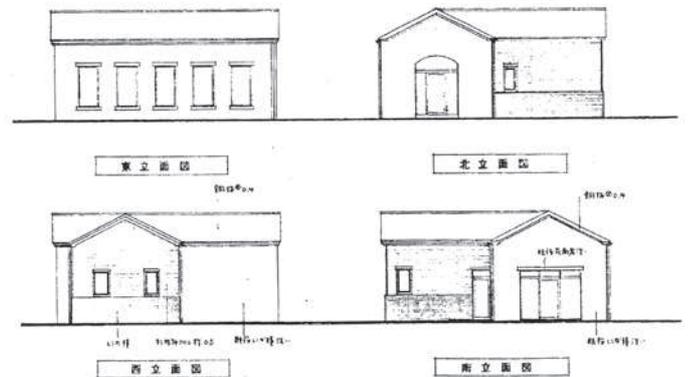
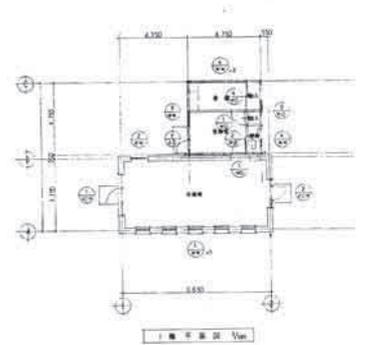
[末岡照啓]

参考文献

『別子銅山を支えた端出場水力発電所 - 現況調査報告書2 -』(新居浜市、2013)



旧東平配電所(現況)



東平配電所 平面・立面図(提供・新居浜市)

遠登志橋

所在地	新居浜市立川町
建築年	明治38(1905)年
設計・施工	設計・ブルバツハ社、施工・住友本店別子鉱業所土木課
構造概要	鉄骨造、鋼製単アーチ橋、延長48.26m、幅員2.4m、高さ23.2m
備考	登録有形文化財(平成17年12月26日登録) 経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)

明治38(1905)年、第三通洞の坑水路の敷設に当たり、途中の足谷川「落シ」に坑水路と人道の併用橋として架設された。ドイツのザールブリュッケンにあったブルバツハ社製の鋼材製品で、別子鉱業所土木課が4198円20銭の工事費で施工した。国内で現存する明治期最大級の鋼アーチ橋である。平成9年(1997)、アーチ橋の老朽化に伴い、直上に新しく吊り橋を掛け、現状保存を図った。

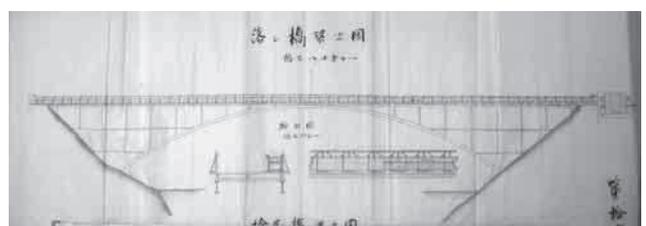
構造は、2ヒンジのソリッドリブ・アーチ式。剛性の高いリブ・アーチの上に、プラット・トラス状に補強された柱が載る。スパンドレルブレスト・アーチに比べると、アーチ・リブが太く、かつ弧状となっているため、アーチらしさ

が強く感じられる意匠となっている。

[久葉裕可]



遠登志橋(現況)



落シ橋梁之図(明治38年頃、提供・愛媛県立図書館)

旧第三変電所（当初は配電所と呼称）

所在地	新居浜市立川町	建築年	明治42(1909)年
設計・施工	住友総本店別子鉱業所設計部・同土木課		
構造概要	煉瓦造平屋建、一部2階建改造、建築面積 80.62㎡		
備考	経済産業省「近代化産業遺産群33」（平成19年度）		

沿革（歴史・由緒）

明治37(1904)年、1月に第三通洞の坑口近くに第三仮配電所ができたが、同40年6月の別子暴動により焼失した。同年11月から第三変電所(木造、建坪22坪)の新築工事が着手され、翌41年1月に落成した。続いて42年10月に増築工事(建坪36坪)も完成したが、この煉瓦造建家は同年増築の一部である。明治42年末までに配電盤・変圧器が据え付けられ、翌年以降に主要な配電機能は東平配電所から第三変電所へ移った。明治45年5月に端出場水力発電所(3000kW)が発電を開始すると、大正3(1914)年に端出場以南の第三変電所までの特別高圧電線が撤去され、第三変電所から配電盤と変圧器が端出場水力発電所内に移転し、同所から新居浜方面の事務所・工場へ直接配電された。

大正5年1月、別子東延の採鉱本部が東平に移転すると、東平と別子の両配電所は、第三変電所に合併された。第三変電所では、端出場発電所の3300ボルトの電圧を350ボルトに変圧し、第三通洞内や東平の事務所・諸工場、坑外電車、インクライの動力や電灯として供給し、昭和40(1965)年にその役割を終えた。

技法・意匠上の特徴

第三通洞北側の高台に、東西6.45m、南北12.5mの煉瓦造平屋で建つ。屋根は、鋼製アングルによるトラス梁の切妻トタン葺である。端出場水力発電所建家よりはるかに小さいが、構造・デザインとも先立つものがある。この建家の北側3分の1には、炉を切った居間と竈付きの台所、および2階部分があり、付属住宅として使用されていたようだ。この時、東西壁面の半円アーチ窓2つが長方形窓に改造された痕跡が残る。高台の瀟洒な美しい姿は、第三通洞のランドマーク的な存在であった。

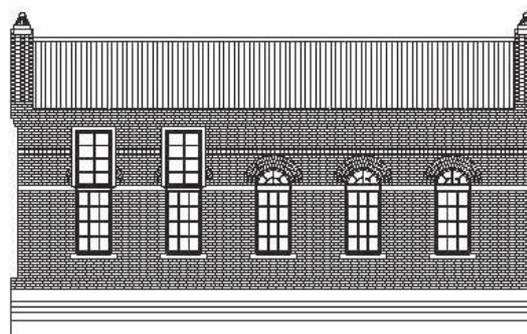
[末岡照啓]

参考文献

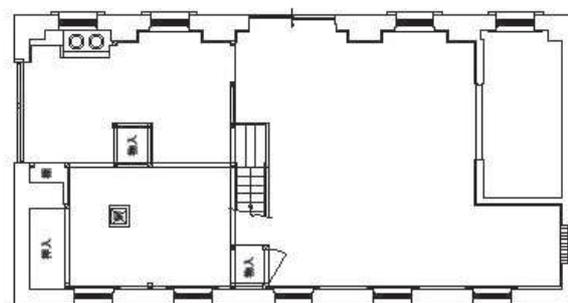
『別子銅山を支えた端出場水力発電所－現況調査報告書2－』（新居浜市、2013）



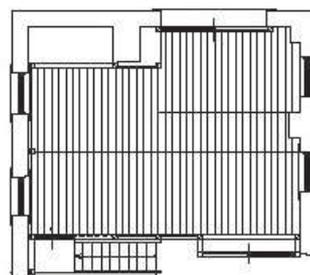
現況



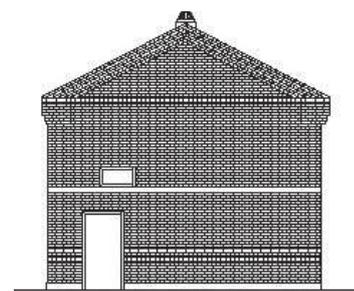
西側立面図



1階平面図



2階平面図



南側立面図

旧端出場水力発電所

所在地	新居浜市立川町
建築年	明治45(1912)年5月
設計・施工	住友総本店別子鉱業所設計部・同土木課、機械課電気係
構造概要	煉瓦造平屋建、一部2階建・地下室、建築面積 528㎡
備考	登録有形文化財(平成23年1月26日登録)、経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)

沿革(歴史・由緒)

明治43(1910)年11月、新居浜市立川町の国領川右岸に位置する端出場水力発電所は、住友別子鉱山の動力源として着工され、翌44年5月にシーメンス社の発電機2台による出力3000kWで竣工した。電源開発は、鉱山の土木建築技術と一体化し、吉野川水系の銅山川から水路と鉱山用トンネル(第三通洞と日浦通洞)で流水を石ヶ山丈の水槽に集め、東洋一の597mの落差を利用して発電した。大正5(1916)年3月、出力アップのため水槽を拡張し、11年10月に四阪島製錬所へ約20kmの当時世界最長の海底ケーブルで送電した。翌12年12月には発電機を1台増設して4500kWになった。

昭和2(1927)年7月、端出場水力発電所は土佐吉野川水力電気(株)へ移管され、新居浜の住友各社に動力・電灯を供給した。9年6月には出力を4800kWに増加し、同年5月に四国中央電力(株)と名称変更、さらに18年4月に住友共同電力(株)と改称した。昭和20年8月には住友化学工業(株)へ譲渡されたが、同25年12月には元に復帰した。41年4月には、発電機2台を撤去して出力1000kWとなり、翌年その跡へ周波数変換器3台が設置された。45年2月に端出場水力発電所は廃止され、その後は変電所として活用されたが、平成17年(2005)7月にはその役割も終え、22年4月に新居浜市へ管理が移された。

技法・意匠上の特徴

急峻な斜面地を切り開いた平坦地に、東西35.1m、南北15.1mの煉瓦造平屋で、屋根は切妻造トタン葺で建つ。内部東寄りの一部を二階建の配電室とし、西寄りの一部を地下室とする。小屋組はL型アングルによるワーレントラストである。

壁面は、全面イギリス積の煉瓦造である。西側の壁面は、中央に石段と半円アーチの入口を置く玄関である。その両脇に円弧の完欠アーチ腰窓を配し、その上部中央には大きな円窓、両脇に二連半円アーチの高窓がある。

東側壁面は裏側なので、腰窓3つに抑制され、その上部円窓の両脇は、配電装置を取付ける長方形窓がある。その南端の二階に通じる裏口はなく、後年の設置である。南北の壁面は、7スパンの柱型を突出させ、柱間に東西壁面と同じ意匠の腰窓と高窓を並べた。ただし、北側(川側)と南側(山側)東端の腰窓1つが省略され、南側の中央腰窓2つが機械の出入口とされた。アーチ部分はすべて煉瓦と大理石を組合せた丁寧な造りで、荘厳さを醸し出す。その後、棟上に換気天窗2つを新築し、昭和26年にこれを拡張した。同25年に北側東端に腰窓1つを造作し、35年に配電盤室二階に防音窓を設置した。42年には周波数変換器搬入のため、北側(川側)の腰窓1つが出入口に改造された。

端出場水力発電所は、住友別子鉱山の臨時建設部に参画した新進気鋭の技術者の作品である。当時のシーメンス社製の発電機も一式残っており、わが国の鉱山における電気事業の発展過程を如実に物語る産業遺産である。

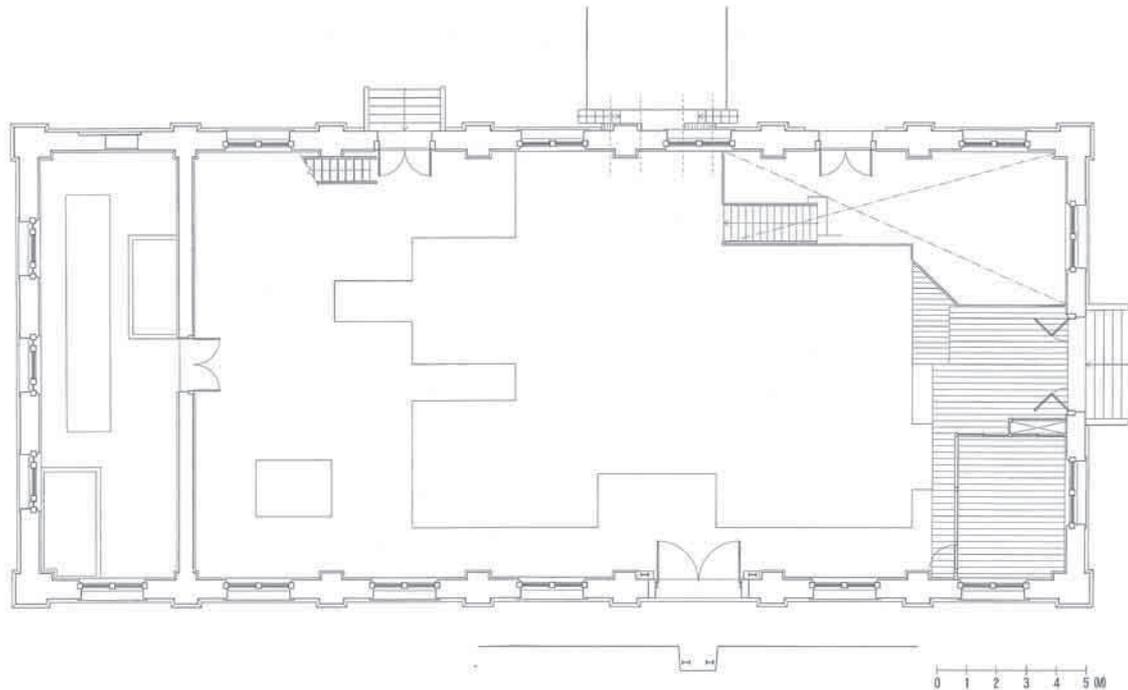
[末岡照啓]

参考文献

『別子銅山の近代化を支えた端出場水力発電所 - 現況調査報告書2-』(新居浜市、2013)



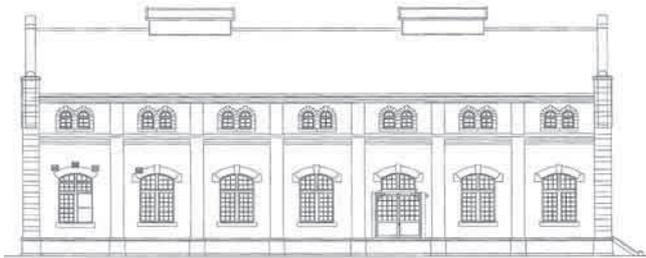
旧端出場水力発電所(現況)



端出場水力発電所平面図（出典・新居浜市『現況調査報告書』） 1階平面図



西立面図

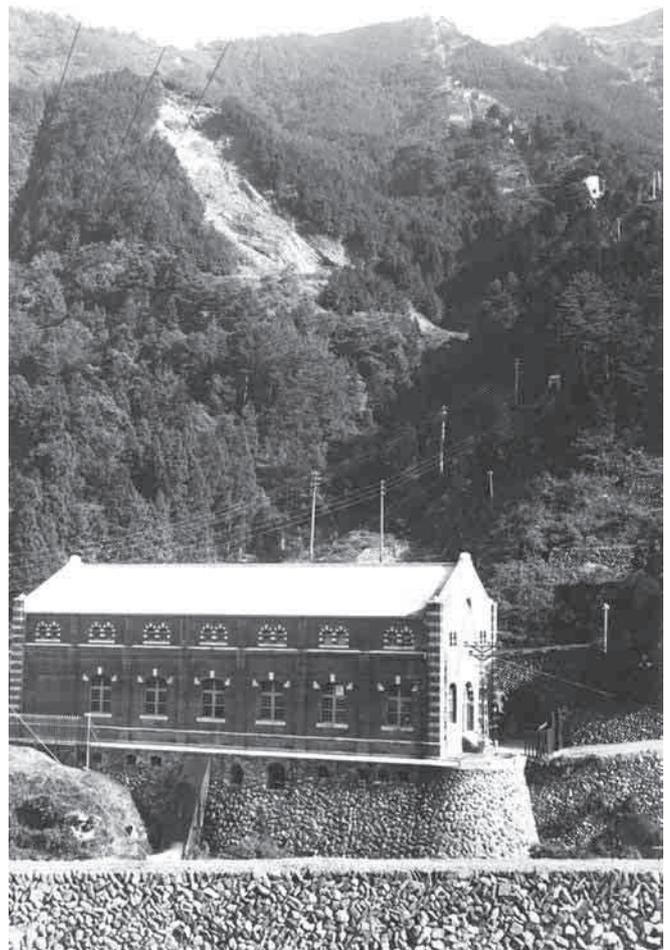


北立面図(川側)

端出場水力発電所立面図（提供・新居浜市）



発電所内部（現況）



端出場水力発電所竣工写真(大正6年、提供・住友史料館)

第四通洞

所在地	新居浜市立川町
建築年	明治43(1910)2月着工、大正4(1915)年6月竣工
設計・施工	設計・大嶋道太郎、施工・住友総本店別子鉱業所設計部土木課
構造概要	煉瓦造、延長 4596 m、幅員 3.65 m
備考	経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)

沿革（歴史・由緒）

明治42(1909)年、別子鉱業所では、第四通洞と大堅坑の開削を計画し、東京帝国大学工科大学の大嶋道太郎教授に依頼した。大嶋の設計により、翌43(1910)年2月に第四通洞が海拔147mの端出場から開削され、44年11月には、これに連絡する大堅坑が、坑内8番坑道レベルの「三角」(747m)から垂直に掘り下げられた。大正4(1915)年6月、まず大堅坑が16番坑道レベル(海拔147m)に到達し、続けて9月に第四通洞が坑口から4596m地点で大堅坑と貫通した。

昭和5(1930)年5月、採鉱本部が東平から端出場に移転されると、第四通洞が別子銅山の主要坑道となった。第四通洞の頭上には、安全を祈願して大山積神社が祀られている。昭和30年、歌人で元住友本社の重役であった川田順は、この通洞口に立ち「地中にて働くことは慣れながら皆大山祇に礼して這入る」と詠んだ。約300年続いた別子銅山も、昭和48年3月に第四通洞の閉鎖をもって、その長い歴史の幕を閉じた。

形態・構造の特徴

通洞幅3.65mの半円アーチ式の煉瓦造で、アーチおよび笠木部分は加工された花崗岩積となっている。両脇には堂々としたピラスター(付柱)を構えており、16代住友吉衛衛門の扁額「第四通洞」と、その上部の大山積神社は、この通洞に荘厳さを与えている。質実なデザインの中に、大量出鉱が始まった時代の合理性が見受けられる。戦後になって、大山積神社の石垣が撤去され、その上に県道が走るようになったが、四通橋から見る美しさは現在も変わらない。第四通洞時代の象徴として、また別子銅山の終わりを見届けた坑口として価値がある。

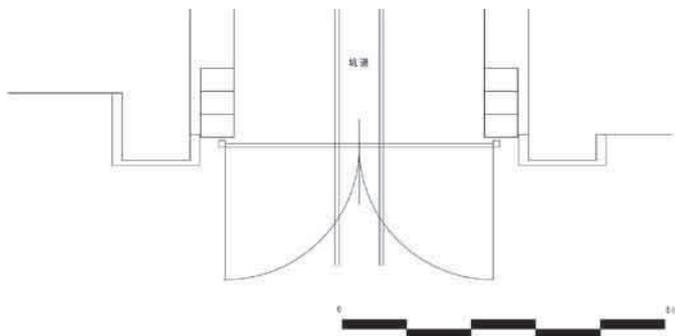
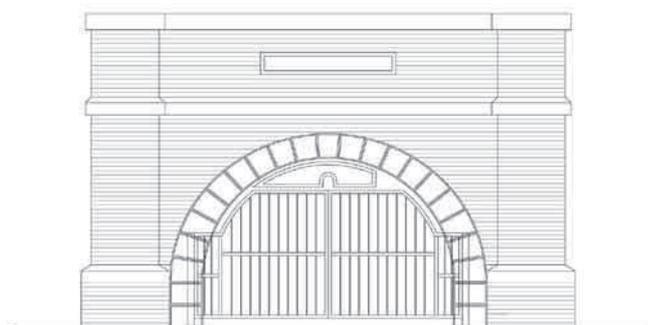
[末岡照啓]

参考文献・資料

『住友別子鉱山史』下巻(住友金属鉱山(株)、1991)



第四通洞（現況）



平面・立面図(部分)

旧別子鉱山鉄道星越駅舎

所在地	新居浜市王子町	建築年	大正14(1925)年
設計・施工	住友合資会社別子鉱業所土木課建築係	構造概要	木造平屋建、建築面積:302㎡
備考	明治26(1893)年に竣工された別子鉱山鉄道の唯一現存する駅舎		

沿革（歴史・由緒）

大正14(1925)年6月、星越に新居浜選鉱場が完成すると、選鉱場に隣接して、星越駅と引き込み線が設置された。同駅構内には、惣開駅と同様の機関車修理工場、操車場が設けられ、惣開駅に匹敵する鉄道拠点となった。また隣接する山田には社宅が開発された。

星越駅が、第四通洞出口の端出場駅と新居浜選鉱場を結ぶ採鉱・選鉱の一大拠点になると、両駅を結ぶ鉄道の人員・物資輸送が急務となり、別子鉱山鉄道は昭和4(1929)年11月5日から地方鉄道として営業を開始した。戦後になるとバス路線が普及したので、昭和30年1月から鉱山専用鉄道に戻った。同48年に別子銅山が閉山すると、52年2月に廃線となり、星越駅も廃止された。

技法・意匠上の特徴

駅舎の入口を入ったところが待合で、正面にホームに出る開口部がのこる。東隣は事務室である。さらにその東の切妻造部分は増築で、職員用の食堂と浴室があった。ホーム部分には木造の小屋組が旧状のまま残されている。

東西に長い単調な切妻造トタン葺の屋根であるが、南を向く正面入り口部分に切妻の破風を載せ、その下にさらに勾配の緩い切妻の庇を付けている。その右寄りにも小さな千鳥破風を載せて立面に変化を付ける。軒先には、垂木の木口を隠す鼻隠板を取り付け、外壁は全面に板の下見張りを施している。正面入口の切妻破風および庇部分には、意匠を凝らした持ち送りを取り付けて近代建築のイメージをつくり、入口や室内の照明器具がそれとマッチしている。切妻破風の住友井桁のデザインは、この駅が別子銅山の鉄道であったことを静かに語りかけている。

[末岡照啓・横井邦明]

参考文献

『別子銅山が育んだ山田社宅 現況調査報告書』（新居浜市、2010）



旧星越駅舎（現況）



旧星越駅舎立面図（提供・新居浜市）



旧星越駅舎平面図（提供・新居浜市）

山田社宅（別子事業所長宅）

所在地	新居浜市王子町	建築年	昭和12(1937)年2月7日
設計・施工	住友別子鉱山株式会社土木課建築係	構造概要	木造平屋建、建築面積337㎡(102坪)
備考	経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)		

沿革（歴史・由緒）

昭和4(1929)年11月、星越駅が地方鉄道駅として営業を開始すると、住友別子鉱山(株)のトップ(専務)であった鷲尾勘解治は、星越駅周辺の山田を社宅として開発し、別子山麓の採鉱本部・端出場駅と、瀬戸内海に面した工場群の惣開駅へ自動車通勤できるようにした。山田社宅は、四国新居浜における郊外住宅の始まりであった。

250戸ほどの社宅が立ち並び、敷地は南向きで平均150坪(最小90坪～最大462坪)、2階建ての洋館2棟を除くと、すべて平屋建の日本家屋(平均建坪16.6坪～36.4坪)であった。いずれも玄関、床の間、縁側・台所・便所・物置が付き、広い敷地にゆったりとした家並みであった。高台には、住友各社の所長・工場長宅があり、それに見合う規模と格式を整えていた。なかでも別子事業所長宅は最大で、敷地が460坪、建坪が102坪である。この建物が竣工した昭和12年は、接待館の泉寿亭や住友倶楽部ができた年であり、昭和15年の別子開坑250年記念祭を意識して、来賓を迎える公館の役割を担っていた。

技法・意匠上の特徴

所長宅は、①応接室(切妻)、②主屋(入母屋)、③離れ(切妻)の3棟から構成され、いずれも渡り廊下でつながっている。①玄関室は、玄関土間に式台があって一見和風の雰囲気であるが、応接室は洋間である。全体に誇張した華やかさがなく、質実で規則正しい構えである。②主屋は、東西に走る中廊下を挟んで、南側に客間・居間・食堂などの接客・居住空間、北側に納戸・女中室・台所・のバックヤードがある。機能的なつくりである。③離れは、八畳と四畳半の座敷からなり、茶室の機能も備え、造作に竹や皮付き丸太を用いた数奇屋風である。

事業所長宅は、公館としての応接室棟、機能的な主屋棟、静かな庵の風情が漂う離れ棟、いずれも地域を代表する企業経営者の屋敷にふさわしい佇まいである。

[末岡照啓]

参考文献

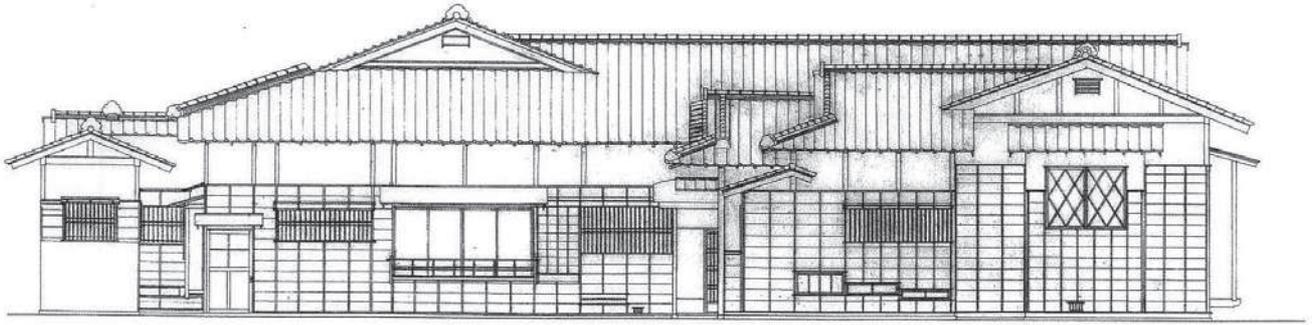
『別子銅山が育んだ山田社宅 現況調査報告書』(新居浜市、2010)



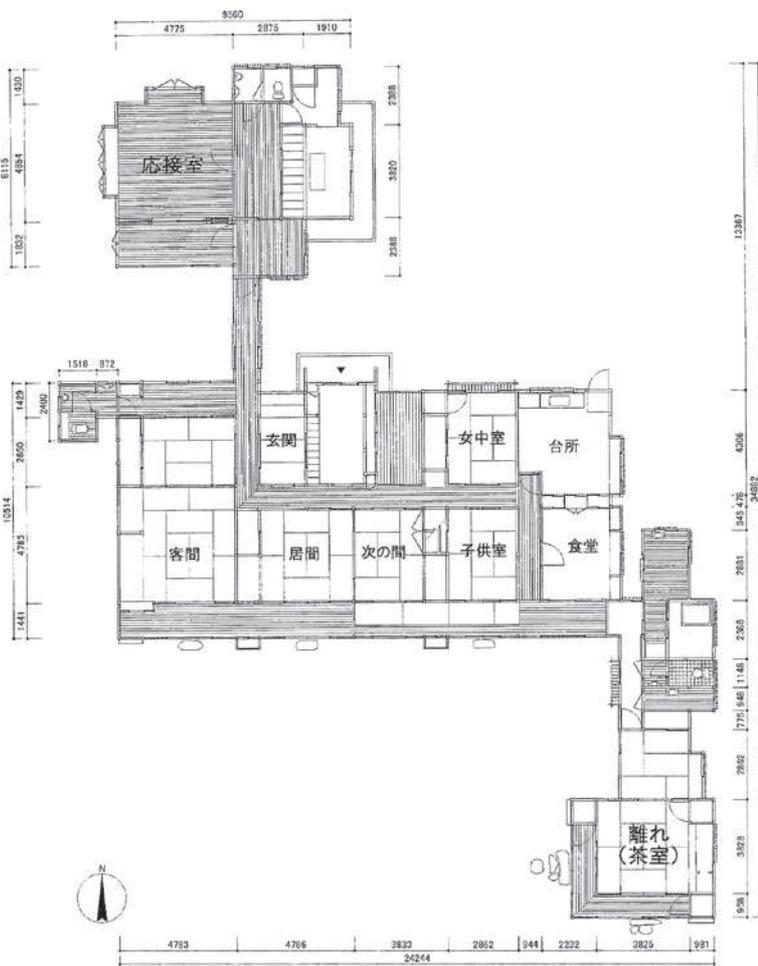
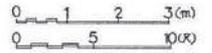
山田社宅全景(平成14年)



応接室(右)、主屋(左奥)の全景(平成20年、撮影・小野吉彦)



別子事業所長宅立面図 (出典・別子銅山が育んだ山田住宅)



別子事業所長宅平面図 (出典・別子銅山が育んだ山田住宅)



主屋・離れ全景 (平成20年、撮影・小野吉彦)

山根競技場観覧席

所在地	新居浜市角野新田町
建築年	昭和3(1928)年
設計・施工	住友社員の労働奉仕
構造概要	石造、段数最大27段、最大長(東西)約170m、最大幅(南北)約30m、面積約4,319㎡
備考	登録有形文化財(平成21年8月7日登録)、経済産業省「近代化産業遺産群33」(平成19年度)

沿革(歴史・由緒)

昭和3(1928)年、住友別子鉱山株式会社の最高責任者(専務取締役)であった鷲尾勘解治が指揮して建設した。建設工事は、住友各企業の社員の作務(勤労奉仕)で行われた。石積みの観客席は20数段に及ぶ階段状で、生子山の斜面に沿って造られ、3万人以上の収容能力を持つといわれる。グラウンド(競技場面積約14,500㎡)全体の収容人員は約6万人で、住友予州親友会の運動会などに利用された。

観覧席の上段には、別子銅山の守護神である大山積神社が鎮座し、別子銅山とその関連企業で働く人々が競技を通じて心をつなげる空間であった。

昭和62年、新居浜市が山根総合体育館を建設するさいに東側の観覧席を撤去するなど、一部改変したが、ほぼ当時のままの姿を残している。

形態・構造の特徴

山根競技場の観覧席は、国領川の川原石を一つずつ集めて積み上げたもの。観覧席であると同時に、その上段に位置する大山積神社や旧相撲場(現、別子銅山記念館)の地盤を支える擁壁でもあった。観覧席の石積みを見ると、それは別子銅山300年の石積み文化を、別子山中から新居浜へ連綿と伝えた構築物として重要である。

[末岡照啓・久葉裕可]

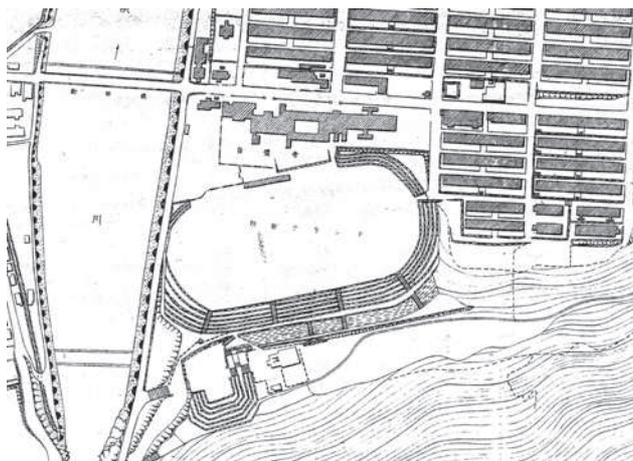
参考文献

『改善』第3巻(1928)

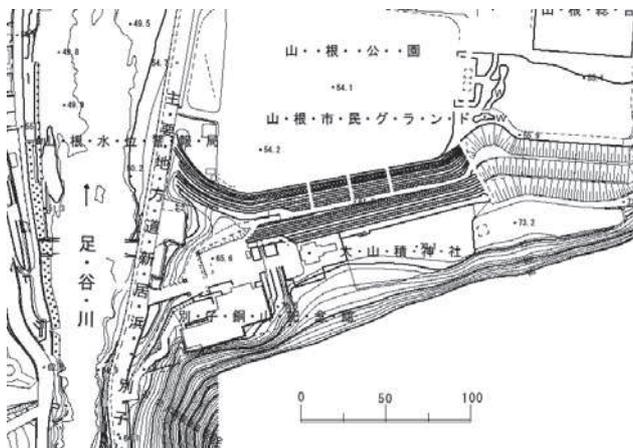
『新居浜の登録有形文化財』(新居浜市広瀬歴史記念館、2009)



旧山根競技場観覧席(現況)



同平面図(昭和38年、提供・別子銅山記念館)



同平面図(平成14年、提供・新居浜市)

旧泉寿亭特別室

所在地	新居浜市立川町	建築年	昭和12(1937)年、平成3年移築
設計・施工	設計・長谷部竹腰建築事務所、施工・藤木工務店	構造概要	木造平屋建、建坪114.297㎡
備考	登録有形文化財(平成21年8月7日登録)		

昭和12(1937)年に住友企業の迎賓館として新居浜市北新町に建設された。「泉寿亭」の名前は、住友家の屋号「泉屋」を「寿ぐ」に由来する。4000坪の敷地に、一部2階建ての五棟(建坪1300坪)の建屋があった。平成2(1990)年8月に図書館用地(現・新居浜市立別子銅山記念図書館)として閉鎖され、貴賓者用の玄関と特別室1室(3番室)が現在地のマイントピア別子に移築された。

移築された特別室は、数寄屋造りの純和風建築であり、破風に書家織田子青の看板がある。設計・施工には、住友倶楽部と同じ、長谷部竹腰建築事務所(日建設計)と藤木工務店が当たる。別子銅山の賓客を、昼は洋館の住友倶楽部でもてなし、夜は和館の泉寿亭特別室で休んでもらった。質素な中にも上品で堅実な意匠がうかがわれ、泉寿亭の面影を偲ぶことができる。

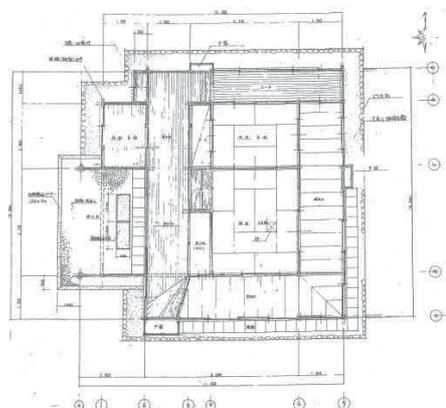
[横井邦明]

参考文献

『新居浜の登録有形文化財』(新居浜市広瀬歴史記念館、2009)



旧泉寿亭特別室(現況)



平面図(平成3年、提供・新居浜市)

旧芸備銀行新居浜支店(現・マナベ小児科)

所在地	新居浜市西町	建築年	昭和6(1931)年3月
設計・施工	設計監督・鈴木工務所、施工・藤田組	構造概要	木造平屋建

大正12(1923)年4月30日に愛媛銀行新居浜支店として開店。昭和3(1928)年12月に金融恐慌で芸備銀行(現、広島銀行)に合併され、6年3月に新築した。棟札には設計・施工名のほか、現場監督・濱田日出穂、大工棟梁・今井鶴松の名前がある。昭和36年に店舗を国民金融公庫新居浜支店に譲り、同43年からマナベ小児科となる。

本館と付属屋の金庫室に分かれ、本館の屋根は陸屋根で、外壁は洗い出し仕上げである。その外観は、縦長の窓が上下2か所にあつて2階建に見えるが、内部は吹き抜けで木製手摺付きのギャラリー(歩廊)がある。吹き抜けの天井には漆喰の意匠があり、見上げられるようになっていたが、医院開店時に天井が張られた。

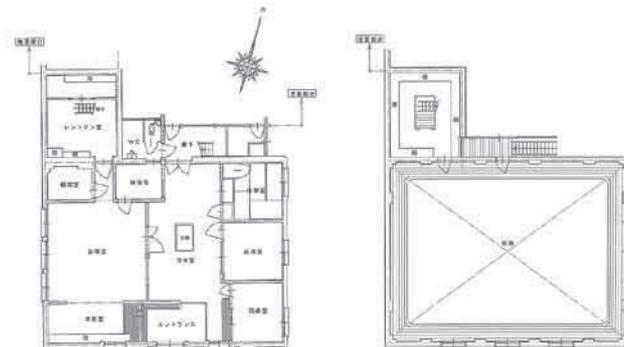
[末岡照啓]

参考文献

『創業百年史』(広島銀行、1979)



旧芸備銀行新居浜支店(現況)



1階平面図

2階平面図

資 料 編

○調査物件一覧

「近代化えひめ歴史遺産総合調査一覧表」は、本調査において確認した約1,300件の近代化遺産について、20市町及び旧市町村毎に整理したものである。表中の項目の表記は次のとおりである。

「中分類」は、下記の分類による。30の「中分類」に分類しきれないものは、「その他（交通）」等と記載した。

「重文」：国指定重要文化財、「重文景」：国選定重要文化的景観、「県・市町指定」：県又は市町の指定文化財、

「登録」：国登録有形文化財

「掲載頁等」欄の数字は本報告書の掲載ページ。★は今回の調査で新たに確認された物件。

●解体物件一覧

「解体物件一覧」は、前回調査（平成13～14年度）以降に解体された物件の名称、所在市町等を掲載したものである。表中の「写真掲載」欄に○の記載がある物件は、巻末に写真を掲載している。（ページ数の記載があるものは本文中）

▼近代化遺産分類

大項目	中項目	主要な物件等
第一次産業	①農業	井戸・用水路、棚田、石垣、倉庫、蚕種製造所、養蚕農家、農機具製造所
	②林業	林用鉄道、貯木場、製材所、木炭倉庫
	③漁業	魚類加工施設、漁港施設（防波堤・石波止）
第二次産業	①鉱業	抗道・坑口、採掘場、受鉱庫、貯鉱庫、製錬所、寄宿舍、事務所
	②繊維業	工場、倉庫、事務所、寄宿舍、食堂、講堂
	③製紙業	工場、倉庫、事務所、店舗
	④醸造業	醸造所、倉庫・蔵、事務所、店舗
	⑤製塩業	塩田、丸樋、倉庫、事務所
	⑥木蠟業	工場、店舗
	⑦窯業	窯炉、工場、水車小屋、採石場
	⑧漆器業	工場、店舗
	⑨造船業	ドック、クレーン
第三次産業	①金融業	銀行、証券会社、質屋
	②運輸・海運業	事務所、倉庫
	③商業・観光業	店舗、温泉、旅館、料亭
交通・土木	①港湾	海岸護岸、棹頭、防波堤、雁木
	②灯台	灯台、官舎、信号塔、灯標
	③鉄道	駅舎、操車場、機関庫、転車台、給水塔、トンネル・隧道、橋梁、拱渠
	④道路・橋梁等	橋梁、トンネル・隧道、切通し・擁壁
	⑤砂防・堰堤	堰堤、擁壁、砂防ダム
	⑥水道	貯水場、堰堤、浄水場、ポンプ室、給水塔、送水施設
	⑦発電・電気	発電所・変電所、取水堰堤、貯水池、水路、沈砂池、水圧鉄管路、発電機
生活・文化	①官公庁	庁舎、公会堂、警察署・駐在所、測候所
	②教育・学校	校舎、講堂、武道場、体育館、図書館、教員宿舎、像・台座
	③通信・郵便	郵便局、通信施設
	④文化・娯楽	劇場、映画館、博物館、美術館、図書館、迎賓館
	⑤医療・医院	病院、医院、診療所、保健所
	⑥宗教	教会、本堂・社殿、博物館、石塔、灯籠
	⑦住宅	洋館（洋室）、近代和風住宅、別荘、長屋門塀、門柱、石垣
軍事・戦時遺産	防空壕、要塞、塹壕、砲台、掩体、兵舎、司令塔、貯水施設、奉安殿	

※ 各産業の経営者・関係者の住宅は、「生活・文化⑦住宅」ではなく、各産業分野の近代化遺産として分類している。

近代化えひめ歴史遺産総合調査物件一覧表

四国中央市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
01001	梅錦醸造元藤井商店	川之江市	四国中央市金田町金川	明治中期	醸造業	登録	130
01002	山川醤油醸造場醬油蔵	川之江市	四国中央市金田町金川	大正初期	醸造業		
01003	国鉄鳥越トンネル	川之江市	四国中央市川之江町余木	大正5年4月	鉄道		188
01004	国鉄三谷川橋梁	川之江市	四国中央市川之江町東町	大正5年4月	鉄道		
01005	国鉄金生川橋梁	川之江市	四国中央市川之江町	大正6年9月	鉄道		
01006	大野橋	川之江市	四国中央市川滝町下山	昭和9年3月	道路・橋梁		
01007	旧土佐街道	川之江市	四国中央市	不明	道路・橋梁		★
01008	阿波街道切通し	川之江市	四国中央市	不明	道路・橋梁		★
01009	轟山小学校	川之江市	四国中央市上分町	江戸末期	教育・学校		★
01010	和田医院診療棟	川之江市	四国中央市川之江町	明治43年	医療・医院	登録	
01011	為山堂医院	川之江市	四国中央市金生町下分	大正元年	医療・医院	登録	257
01012	原峯御殿	川之江市	四国中央市金田町金川	江戸末～明治期	住宅		
01013	進藤正吉家離れ	川之江市	四国中央市川之江町	大正期	住宅		
01014	進藤正吉家茶室	川之江市	四国中央市川之江町	大正期	住宅		
01015	飯尾家(古今荘)	川之江市	四国中央市上分町	江戸末～明治期	住宅	登録	
01016	長野家住宅	川之江市	四国中央市川之江町	大正期	住宅		
01017	陸軍潜水輸送教育隊(暁部隊)弾薬庫	川之江市	四国中央市上分町	太平洋戦争末期	軍事等		
01018	白瀧鉱山索道①	伊予三島市	四国中央市金砂町平野山	昭和初期	鉱業		
01019	白瀧鉱山索道②	伊予三島市	四国中央市金砂町平野山	昭和初期	鉱業		
01020	佐々連鉱山大切通洞(坑口)	伊予三島市	四国中央市金砂町小川山	昭和13年	鉱業		
01021	佐々連鉱山第1捨石堆積場	伊予三島市	四国中央市金砂町小川山	昭和13年頃	鉱業		
01022	佐々連鉱山奥金砂捨石堆積場	伊予三島市	四国中央市金砂町小川山	大正中期	鉱業		
01023	佐々連鉱山地久坑口	伊予三島市	四国中央市金砂町小川山	大正中期	鉱業		
01024	佐々連鉱山奥金砂集水口	伊予三島市	四国中央市金砂町小川山	大正中期	鉱業		
01025	佐々連鉱山旧佐々連捨石堆積場	伊予三島市	四国中央市金砂町小川山	大正7年	鉱業		
01026	佐々連鉱山旧佐々連坑口	伊予三島市	四国中央市金砂町小川山	大正中期	鉱業		
01027	住治平家煉瓦塀	伊予三島市	四国中央市三島中央	大正初期	製紙業		
01028	篠永酒造	伊予三島市	四国中央市具定町	明治19年	醸造業	登録	
01029	篠原酒造場酒蔵	伊予三島市	四国中央市三島宮川	大正2年	醸造業		
01030	国鉄松島川橋梁	伊予三島市	四国中央市三島朝日	大正6年9月	鉄道		
01031	三島神社宮川橋(石橋)	伊予三島市	四国中央市三島宮川～三島中央	明治18年9月	道路・橋梁		
01032	新長谷寺初瀬橋(石橋)	伊予三島市	四国中央市寒川町	明治5年6月	道路・橋梁		
01033	富郷郵便局①	伊予三島市	四国中央市富郷町	明治42年3月	通信・郵便		
01034	富郷郵便局②	伊予三島市	四国中央市富郷町	大正6年4月	通信・郵便		
01035	県立三島中学校講堂	伊予三島市	四国中央市三島中央	大正13年5月	教育・学校		238
01036	庄司家	伊予三島市	四国中央市村松町	昭和13年	住宅		★
01037	篠永家	伊予三島市	四国中央市具定町	明治30年代	住宅		★
01038	森實家	伊予三島市	四国中央市松村町	明治前期	住宅		★
01039	新宮鉱山選鉱場	新宮村	四国中央市新宮町馬立	昭和18年3月	鉱業		
01040	神龍橋親柱	新宮村	四国中央市新宮町	昭和19年	道路・橋梁		
01041	宇摩水電組合辺地床発電所水圧鉄管路	新宮村	四国中央市新宮町馬立	大正6～7年頃	発電・電気		
01042	宇摩水電組合辺地床発電所水槽	新宮村	四国中央市新宮町馬立	大正6～7年頃	発電・電気		
01043	宇摩水電組合辺地床発電所水路	新宮村	四国中央市新宮町馬立	大正6～7年頃	発電・電気		
01044	宇摩水電組合辺地床発電所取水堰堤	新宮村	四国中央市新宮町馬立	大正6～7年頃	発電・電気		
01045	仙龍寺蟹淵の橋	新宮村	四国中央市新宮町馬立	昭和9年10月	宗教		
01046	仙龍寺通夜堂(本堂・宿泊所)	新宮村	四国中央市新宮町馬立	昭和12年12月10日	宗教		
01047	国鉄関川橋梁	土居町	四国中央市土居町	大正10年6月	鉄道		
01048	国鉄北山トンネル	土居町	四国中央市土居町北野	大正10年6月	鉄道		
01049	関川大橋	土居町	四国中央市土居町畑野	昭和9年10月	道路・橋梁		
01050	松風橋	土居町	四国中央市土居町中村	明治30年代	道路・橋梁		209
01051	春日井水道	土居町	四国中央市土居町中村	大正9年9月	水道		★
01052	蕪崎尋常高等小学校二宮尊徳幼像(台座)	土居町	四国中央市土居町天満	昭和10年代	教育・学校		
01053	蕪崎郵便局	土居町	四国中央市土居町蕪崎	大正10年3月	通信・郵便		
01054	山内遊助家離れ	土居町	四国中央市土居町入野	大正15年	住宅	登録	
01055	山内本家土蔵(鏝絵)	土居町	四国中央市土居町入野	明治30年	住宅	登録	
01056	続木友助家門柱	土居町	四国中央市土居町土居	大正3年	住宅		
01057	蕪崎地区火の見櫓(台座)	土居町	四国中央市土居町蕪崎	昭和11年1月	その他(生活)		

新居浜市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
02001	歓喜坑	別子山村	新居浜市別子山	元禄4年	鉱業		
02002	歓東坑	別子山村	新居浜市別子山	元禄4年	鉱業		
02003	勘場(大山積神社)跡の石段	別子山村	新居浜市別子山	江戸期	鉱業		
02004	牛車道	別子山村	新居浜市別子山～立川町	明治13年	鉱業		
02005	第一通洞南口	別子山村	新居浜市別子山	明治19年	鉱業		
02006	東延斜坑	別子山村	新居浜市別子山	明治28年	鉱業		
02007	東延斜坑機械場堰堤	別子山村	新居浜市別子山	明治18年頃	鉱業		
02008	東延斜坑機械場煉瓦造建屋	別子山村	新居浜市別子山	不明	鉱業		
02009	高橋製錬所の暗渠跡	別子山村	新居浜市別子山	明治31年	鉱業		
02010	小足谷劇場跡の石垣	別子山村	新居浜市別子山	明治22年	鉱業		
02011	住友私立小足谷小学校跡の石垣	別子山村	新居浜市別子山	明治22年	鉱業		
02012	小足谷接待館跡煉瓦塀	別子山村	新居浜市別子山	明治20年代	鉱業		
02013	小足谷探鉱課長宅跡煉瓦塀	別子山村	新居浜市別子山	明治20年代	鉱業		
02014	小足谷社宅跡の石垣	別子山村	新居浜市別子山	明治20年代	鉱業		
02015	小足谷醸造場の煉瓦煙突	別子山村	新居浜市別子山	明治20年代	鉱業		
02016	小足谷収銅所跡	別子山村	新居浜市別子山	明治30年	鉱業		
02017	日浦通洞	別子山村	新居浜市別子山	明治44年	鉱業		
02018	筏津坑	別子山村	新居浜市別子山	大正13年	鉱業		
02019	開拓橋	別子山村	新居浜市別子山	昭和8年	道路・橋梁		205
02020	三浦綿業殺菌室(煉瓦造)	新居浜市	新居浜市垣生3	大正～昭和初期	繊維業		
02021	多喜浜塩田跡	新居浜市	新居浜市多喜浜新田	享保8(1723)年	製塩業		
02022	大蔵省坂出地方専売局多喜浜出張所社宅(2棟)	新居浜市	新居浜市黒島	昭和初期	製塩業		
02023	藤田本家造成石垣	新居浜市	新居浜市郷	大正期	製塩業		134
02024	藤田新治家岡城館(剣道場)	新居浜市	新居浜市楠崎	昭和3年頃	製塩業		
02025	岡本家(塩田総代の家)	新居浜市	新居浜市多喜浜	江戸後期～明治期	製塩業		
02026	今井醤油製造所店舗・住宅	新居浜市	新居浜市中筋町	明治34年	醸造業		
02027	東陽酒造場煉瓦塀	新居浜市	新居浜市喜光地	明治末～大正期	醸造業		
02028	高橋酒造場煉瓦塀	新居浜市	新居浜市土橋	明治末～大正期	醸造業		
02029	三浦金属工業所(軍需工場)	新居浜市	新居浜市垣生	昭和10年代	その他(2次)		
02030	芸備銀行新居浜支店(マナベ小児科)	新居浜市	新居浜市西町	昭和6年3月	金融業		315

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
02031	喜楽旅館(木造3階建)	新居浜市	新居浜市喜光地町	昭和初期	商業・観光		
02032	新居浜港西防波堤灯台(赤)＜移設＞	新居浜市	新居浜市垣生	昭和12年12月1日	灯台		
02033	新居浜港東防波堤灯台(白)＜移設＞	新居浜市	新居浜市垣生	昭和12年12月1日	灯台		
02034	太鼓橋	新居浜市	新居浜市星越町	大正14年	道路・橋梁		204
02035	金米橋	新居浜市	新居浜市久保田町	昭和11年12月	道路・橋梁		
02036	式ノ洲橋	新居浜市	新居浜市松の木町	昭和18年頃	道路・橋梁		
02037	東田橋	新居浜市	新居浜市東田	昭和18年頃	道路・橋梁		
02038	大江橋	新居浜市	新居浜市大江町	昭和8年	道路・橋梁		
02039	容谷川新河川砂防堰堤	新居浜市	新居浜市	昭和15年頃	砂防・堰堤		
02040	孝々谷川砂防堰堤	新居浜市	新居浜市船木	昭和15年頃	砂防・堰堤		
02041	種子川砂防堰堤	新居浜市	新居浜市種子川山	昭和17年頃	砂防・堰堤		
02042	西谷川砂防堰堤	新居浜市	新居浜市種子川山	昭和17年頃	砂防・堰堤		
02043	容谷川砂防堰堤	新居浜市	新居浜市船木	昭和19年頃	砂防・堰堤		
02044	関の戸井堰	新居浜市	新居浜市船木	大正14年頃	砂防・堰堤		
02045	渦井川第1井堰	新居浜市	新居浜市大生院	昭和5年頃	砂防・堰堤		
02046	吉岡泉	新居浜市	新居浜市吉岡町	大正6年3月	水道		
02047	伊予水力電気(湯山第1発電所水車・発電機(移設))	新居浜市	新居浜市大生院	明治35年11月	発電・電気		
02048	新居浜武徳殿	新居浜市	新居浜市徳常町	昭和14年	教育・学校	登録	243
02049	角野尋常高等小学校校庭観客席(石垣)	新居浜市	新居浜市角野	昭和3年	教育・学校		
02050	私立住友惣開尋常高等小学校門柱	新居浜市	新居浜市惣開	昭和8年	教育・学校		
02051	瑞応寺千里亭	新居浜市	新居浜市山根町	大正15年	宗教		★
02052	内宮神社大鳥居(RC造)	新居浜市	新居浜市山根町	昭和7年10月	宗教		
02053	千葉恵心家煉瓦塙	新居浜市	新居浜市中村	明治30年頃	住宅		
02054	第一通洞北口	新居浜市	新居浜市種子川角石原	明治19年	鉱業		
02055	別子鉱山鉄道上部線(上部鉄道)跡	新居浜市	新居浜市種子川山～立川町	明治26年	鉱業		
02056	上部鉄道石ヶ山丈駅跡	新居浜市	新居浜市立川町石ヶ山丈	明治26年	鉱業		
02057	上部鉄道切通し跡	新居浜市	新居浜市立川町	明治26年	鉱業		
02058	上部鉄道唐谷橋梁などの橋台	新居浜市	新居浜市立川町	明治26年	鉱業		
02059	第三通洞	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治35年	鉱業		300
02060	柳谷鉄釘・橋台	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治37年	鉱業		
02061	第三暗渠	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治37年	鉱業		
02062	坑走路跡	新居浜市	新居浜市立川町東平～惣開	明治38年	鉱業		
02063	第三変電所	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治37or42年	鉱業		307
02064	仁坂隧道	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治36年	鉱業		
02065	東平隧道	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治36年	鉱業		
02066	東平選鉱場(第一装入庫・第二装入庫・貯鉱庫)	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治37年	鉱業		304
02067	東平索道停車場	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治37年	鉱業		304
02068	東平傾斜鉄道線路(インクライン)	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治37年	鉱業		
02069	東平配電所(メイン工房)	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治37年	鉱業		306
02070	東平地区住宅跡の石垣	新居浜市	新居浜市立川町東平	明治～昭和	鉱業		
02071	東平索道新道停車場(中継所)	新居浜市	新居浜市立川町	明治38年	鉱業		
02072	遠登志橋	新居浜市	新居浜市立川町	明治38年	鉱業	登録	306
02073	落ン水力発電所跡	新居浜市	新居浜市立川町	明治37年	鉱業		
02074	旧端出場水力発電所本館	新居浜市	新居浜市立川町	明治45年	鉱業	登録	308
02075	旧端出場水力発電所水槽	新居浜市	新居浜市立川町石ヶ山丈	明治45年	鉱業		
02076	旧端出場水力発電所水路	新居浜市	新居浜市立川町	明治45年	鉱業		
02077	第四通洞	新居浜市	新居浜市立川町端出場	大正4年	鉱業		310
02078	四通橋(端出場橋梁)	新居浜市	新居浜市立川町端出場	大正7年	鉱業		
02079	端出場貯鉱庫	新居浜市	新居浜市立川町端出場	大正8年	鉱業		
02080	大斜坑	新居浜市	新居浜市立川町端出場	昭和43年	鉱業		
02081	端出場地区住宅跡の石垣	新居浜市	新居浜市立川町	大正期	鉱業		
02082	泉寿亭特別室	新居浜市	新居浜市立川町(北新町移設)	昭和12年	鉱業	登録	315
02083	別子鉱山鉄道下部線(下部鉄道)跡	新居浜市	新居浜市立川町端出場～惣開	明治26年	鉱業		
02084	下部鉄道檜尾谷橋梁	新居浜市	新居浜市立川町端出場	昭和6年頃	鉱業		205
02085	下部鉄道端出場鉄橋(足谷川鉄橋)	新居浜市	新居浜市立川町端出場	明治26年	鉱業	登録	296
02086	下部鉄道物言嶽トンネル	新居浜市	新居浜市立川町端出場	明治26年	鉱業		
02087	下部鉄道端出場隧道(中尾隧道)	新居浜市	新居浜市立川町端出場	明治26年	鉱業	登録	297
02088	下部鉄道車庫トンネル	新居浜市	新居浜市立川町端出場	明治26年	鉱業		
02089	下部鉄道黒石駅跡	新居浜市	新居浜市立川町	明治38年	鉱業		
02090	下部鉄道星越隧道	新居浜市	新居浜市星越町	明治34年	鉱業		
02091	下部鉄道星越駅舎	新居浜市	新居浜市王子町	大正14年	鉱業		311
02092	旧山根製錬所煙突	新居浜市	新居浜市角野新田町	明治21年	鉱業	登録	298
02093	大山積神社	新居浜市	新居浜市角野新田町	昭和3年	鉱業		
02094	山根競技場観覧席	新居浜市	新居浜市角野新田町	昭和3年	鉱業	登録	314
02095	山根収銅所	新居浜市	新居浜市山根町	明治38年	鉱業		
02096	別子大水害流亡者碑(慰霊碑)	新居浜市	新居浜市山根町(瑞応寺内)	明治34年	鉱業		
02097	鉋友寮	新居浜市	新居浜市中筋町	昭和6年	鉱業		
02098	旧広瀬邸母屋・新座敷ほか	新居浜市	新居浜市上原	明治10年、22年移築	鉱業	重文	299
02099	旧新居浜選鉱場	新居浜市	新居浜市王子町	大正14年	鉱業		
02100	旧新居浜選鉱場インクライン	新居浜市	新居浜市王子町	大正14年	鉱業		
02101	旧新居浜選鉱場跨線橋	新居浜市	新居浜市王子町	昭和6年	鉱業		
02102	旧住友倶楽部(星越館)	新居浜市	新居浜市王子町	昭和12年	鉱業		
02103	山田住宅(別子事業所長宅)	新居浜市	新居浜市星越町	昭和4年～24年	鉱業		312
02104	旧住友銀行新居浜支店(住友化学愛媛工場歴史資料館)	新居浜市	新居浜市惣開町	明治34年	鉱業	登録	301
02105	「惣開之記」碑	新居浜市	新居浜市惣開町	明治23年	鉱業		
02106	旧住友病院	新居浜市	新居浜市惣開町	明治34年	鉱業		
02107	海浜館	新居浜市	新居浜市八幡	大正14年	鉱業		

西条市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
03001	千町棚田	西条市	西条市加茂千町	明治～昭和初期	農業		
03002	大町信用購買組合駅前第2倉庫	西条市	西条市大町朝日町	昭和8年7月	農業		36
03003	童王鉱山	西条市	西条市中奥	明治末期	鉱業		★
03004	市之川アンチモン鉱山跡	西条市	西条市市之川他	江戸時代～	鉱業		98
03005	倉敷絹織機西条工場総合事務所(クラレ西条)	西条市	西条市朔日市	昭和11年7月	繊維業		118
03006	倉敷絹織機西条工場紡績工場	西条市	西条市朔日市	昭和11年7月	繊維業		118
03007	倉敷絹織機西条工場レーヨン原液・紡糸工場	西条市	西条市朔日市	昭和11年7月	繊維業		118
03008	倉敷絹織機西条工場煙突	西条市	西条市朔日市	昭和11年7月	繊維業		118
03009	倉敷絹織機西条工場食堂	西条市	西条市朔日市	昭和11年7月	繊維業		118
03010	倉敷絹織機西条工場講堂	西条市	西条市朔日市	昭和13年11月	繊維業		118
03011	倉敷絹織機西条工場青年学校教室	西条市	西条市朔日市	昭和11年9月	繊維業		118
03012	倉敷絹織機西条工場青年学校武道場	西条市	西条市朔日市	昭和11年9月	繊維業		118
03013	国鉄加茂川橋梁	西条市	西条市加茂町	大正12年5月	鉄道		
03014	国鉄伊予西条駅給水塔	西条市	西条市大町	大正10年6月	鉄道		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
03015	国鉄伊予西条駅カーバイド庫	西条市	西条市大町	大正10年6月	鉄道		
03016	港橋	西条市	西条市朔日市	大正10年	道路・橋梁		
03017	河口橋	西条市	西条市西之川	大正14年	道路・橋梁		204
03018	大宮橋	西条市	西条市西之川	昭和2年6月	道路・橋梁		204
03019	元橋	西条市	西条市朔日市	昭和4年	道路・橋梁		
03020	玉津橋	西条市	西条市玉津	昭和4年2月	道路・橋梁		
03021	千野々橋	西条市	西条市中奥千野々	大正14年5月	道路・橋梁		205
03022	荒川橋	西条市	西条市荒川	昭和10年	道路・橋梁		
03023	御塔谷橋	西条市	西条市西之川	昭和11年3月	道路・橋梁		
03024	名古瀬橋	西条市	西条市西之川	昭和13年	道路・橋梁		
03025	愛媛水力電気(株)加茂発電所水圧鉄管路	西条市	西条市藤之石下津池	大正3年2月	発電・電気		222
03026	愛媛水力電気(株)加茂発電所水槽	西条市	西条市藤之石下津池	大正3年2月	発電・電気		222
03027	愛媛水力電気(株)加茂発電所沈砂池	西条市	西条市藤之石下津池	大正3年2月	発電・電気		222
03028	愛媛水力電気(株)加茂発電所谷川取水堰堤	西条市	西条市藤之石下津池	大正3年2月	発電・電気		222
03029	愛媛水力電気(株)加茂発電所吉居川取水堰堤	西条市	西条市藤之石下津池	大正3年2月	発電・電気		222
03030	愛媛水力電気(株)加茂発電所吉居川支水路	西条市	西条市藤之石下津池	大正3年2月	発電・電気		222
03031	県立西条農業学校講堂	西条市	西条市福武	大正9年6月	教育・学校		242
03032	県立西条農業学校門柱	西条市	西条市福武	大正8年頃	教育・学校		
03033	県立西条農業学校二宮尊徳幼像	西条市	西条市福武	昭和14年3月	教育・学校		
03034	神拝尋常小学校門柱	西条市	西条市神拝	昭和9年	教育・学校		
03035	神拝尋常小学校二宮尊徳幼像	西条市	西条市神拝	昭和16年9月	教育・学校		
03036	植松源一家離れ	西条市	西条市飯岡	昭和10年代	住宅		
03037	三浦家	西条市	西条市大町	大正初期	住宅		
03038	石鎚神社大鳥居(大鳥石)	西条市	西条市西田	昭和12年4月	宗教		
03039	愛媛地方航空機乗員養成所給水塔	西条市	西条市水見	昭和17年4月	軍事等		284
03040	愛媛地方航空機乗員養成所官舎跡(建物基礎)	西条市	西条市水見	昭和17年4月	軍事等		
03041	愛媛地方航空機乗員養成所国旗掲揚台	西条市	西条市水見	昭和17年4月	軍事等		
03042	愛媛地方航空機乗員養成所飛行機格納庫(建物基礎)	西条市	西条市水見	昭和17年4月	軍事等		
03043	西条海軍航空隊燃料格納壕①	西条市	西条市水見	太平洋戦争末期	軍事等		
03044	西条海軍航空隊燃料格納壕②	西条市	西条市水見	太平洋戦争末期	軍事等		
03045	西条海軍航空隊戦闘指揮所	西条市	西条市水見	太平洋戦争末期	軍事等		
03046	奉安殿(4基)	西条市	西条市内各地	昭和初期	軍事等		285★
03047	壬生川信用購買販売利用組合米倉庫	東予市	西条市喜多台	大正13年9月	農業		35
03048	周布村信用購買販売利用組合米倉庫	東予市	西条市周布	昭和初期	農業		35
03049	県立種蓄場集会所	東予市	西条市旦之上	大正10年4月	農業		
03050	森田重吉家(和紙製造元・店舗)	東予市	西条市石田	明治元年	製紙業		
03051	秋川酒造場酒蔵(2棟)	東予市	西条市大野	明治末～昭和初期	醸造業		
03052	武田酒造場店舗	東予市	西条市三芳	明治末期	醸造業		
03053	国鉄中山川橋梁	東予市	西条市玉之江	大正12年5月	鉄道		
03054	国鉄永納山トンネル	東予市	西条市河原津	大正12月12月	鉄道		
03055	国鉄大明神川トンネル	東予市	西条市高田・三芳	大正12年10月	鉄道		
03056	庄内村役場会議室	東予市	西条市旦之上	昭和10年	官公庁		
03057	国安尋常高等小学校門柱	東予市	西条市桑村	大正4年11月	教育・学校		
03058	後藤外科医院	東予市	西条市喜多台	昭和初期	医療・医院		257
03059	樹屋(越智家住宅・店舗)	東予市	西条市王生川	江戸末期(近代に改修)	住宅	登録	
03060	越智和太郎家樟蔭(茶堂)	東予市	西条市王生川	昭和2年	住宅	登録	
03061	越智和太郎家隠居所	東予市	西条市王生川	昭和2年	住宅	登録	
03062	武田高吉家	東予市	西条市楠	大正6年12月	住宅		
03063	越智喜七家	東予市	西条市桑村	昭和2～3年頃	住宅		
03064	後藤富春家	東予市	西条市喜多台	昭和初期	住宅		
03065	愛媛地方航空機乗員養成所防空壕(RC造)	東予市	西条市今在家	昭和17年4月	軍事等		
03066	大谷池樋門(小松貯水池樋門)	小松町	西条市小松町南川大谷	大正3年	農業		
03067	久門旅館(戦時迷彩壁)	小松町	西条市小松町新屋敷	大正7年以前	商業・観光		
03068	中山川橋	小松町	西条市小松町新屋敷	昭和3年	道路・橋梁		
03069	小松橋	小松町	西条市小松町新屋敷	大正15年2月	道路・橋梁		
03070	子安橋	小松町	西条市小松町南川	昭和4年6月	道路・橋梁		
03071	黒川谷川砂防堰堤群	小松町	西条市小松町石鎚	昭和初期	砂防・堰堤		
03072	三蜜学園門柱	小松町	西条市小松町南川	大正中期	教育・学校		
03073	石根郵便局	小松町	西条市小松町大頭	昭和7年	郵便・通信		
03074	法安寺五重塔(RC造)	小松町	西条市小松町北川	昭和6年	宗教		
03075	石土神社の高灯籠(式年祭記念燈)	小松町	西条市小松町妙小	昭和6年4月	宗教	登録	
03076	劈巖透水路	丹原町	西条市丹原町来見	江戸～大正期	農業	市指定	22★
03077	千原鉱山鑛捨場(坑口)	丹原町	西条市丹原町鞍瀬	明治期	鉱業		
03078	桐野家	丹原町	西条市丹原町長野	明治39年	醸造業		
03079	大寿館(料亭・旅館/木造3階建)	丹原町	西条市丹原町丹原	大正7年	商業・観光		
03080	志川橋	丹原町	西条市丹原町志川	昭和6年5月15日	道路・橋梁		205
03081	宇留女川砂防堰堤群	丹原町	西条市丹原町関屋	昭和初期	砂防・堰堤		213
03082	南谷川砂防堰堤群	丹原町	西条市丹原町関屋	昭和初期	砂防・堰堤		
03083	田滝川砂防堰堤群	丹原町	西条市丹原町田滝	昭和初期	砂防・堰堤		
03084	丹原尋常高等小学校門柱	丹原町	西条市丹原町池田	大正5年5月	教育・学校		
03085	興隆寺仁王門	丹原町	西条市丹原町吉田	大正7年	宗教		

今治市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
04001	浅川貯木場	今治市	今治市新田町	昭和8年6月	林業		
04002	八木亀三郎家	今治市	今治市波止浜2	大正初期	漁業		
04003	榎木原商店高部工場門柱	今治市	今治市波止浜	明治末～大正期	繊維業		
04004	矢野七三郎像台座	今治市	今治市通町(吹揚公園内)	明治44年5月	繊維業		113
04005	興業舎第一工場壁(箱助林業所有地)	今治市	今治市通町	明治42年頃	繊維業		112
04006	興業舎第二工場ボイラー室	今治市	今治市旭町	大正6年頃	繊維業		
04007	ヤマタン醤油醸造元八木商店店舗	今治市	今治市波止浜	明治20年	醸造業		130
04008	波止浜塩田 堤防石垣と雁木	今治市	今治市中堀	昭和初期か	製塩業		133
04009	矢野本家住宅	今治市	今治市波止浜	昭和初期	製塩業		134★
04010	鳥井家(丸友漆器店)	今治市	今治市桜井	昭和4年	漆器業		
04011	笠原漆器製造所(合資会社笠原商店)	今治市	今治市桜井	大正期頃	漆器業		150★
04012	小谷屋漆器店	今治市	今治市桜井	明治初期～大正期	漆器業		152★
04013	青野佐市漆器製造所	今治市	今治市桜井	大正12年3月	漆器業		149★
04014	松木家(松木漆器店)	今治市	今治市桜井	明治初期	漆器業		
04015	近藤家	今治市	今治市拜志	明治後期	漆器業		
04016	門脇家(旧渡部家)	今治市	今治市拜志	大正14年	漆器業		
04017	月原家(旧松木分家)	今治市	今治市桜井	昭和8年	漆器業		
04018	波止浜船渠(2号ドック(新来島波止浜どっく))	今治市	今治市波止浜	太平洋戦争末期	造船業		154
04019	今治商業銀行大井出張所	今治市	今治市南日吉町	大正末～昭和初期	金融業		166
04020	今治ラヂウム温泉浴場施設	今治市	今治市共栄町	昭和2年	商業・観光		174

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
04021	今治ラヂウム温泉煉瓦煙突	今治市	今治市共栄町	昭和2年	商業・観光		174
04022	美保の海岸護岸(長七たき)	今治市	今治市美保町～北浜町	明治20年頃	港湾		178
04023	湊漁港突堤(長七たき)	今治市	今治市湊町	明治21年頃	港湾		
04024	桧船(桜井漆器行商船)の港湾施設	今治市	今治市桜井(桜井河口港)	明治期	港湾		
04025	コノ瀬灯台立標(唐子浜赤灯台)	今治市	今治市古国分	明治35年4月1日	灯台		186
04026	大浜灯台吏員退息所(唐子浜海の子の家)	今治市	今治市桜井	明治35年4月1日	灯台		186
04027	ウズ鼻灯台	今治市	今治市馬島	昭和13年2月12日	灯台		187
04028	来島白石灯標	今治市	今治市砂場町沖	大正9年11月	灯台		
04029	中渡島潮流信号所腕木式信号機(移設)	今治市	今治市砂場町(サンライズ系山)	明治42年8月	灯台		187
04030	国鉄頼田川橋梁	今治市	今治市国分	大正13年2月	鉄道		
04031	国鉄蒼社川橋梁	今治市	今治市蒼社町	大正13年2月	鉄道		
04032	天神橋	今治市	今治市桜井	大正15年5月	道路・橋梁		
04033	神明橋	今治市	今治市波止浜	明治42年5月	道路・橋梁		
04034	今治市上水道水源地ポンプ室	今治市	今治市片山	昭和11年3月31日	水道		220
04035	組合立越智中学校武道場	今治市	今治市常盤町	大正15年4月	教育・学校		
04036	県立今治中学校実習用図書館	今治市	今治市中日吉町	大正15年10月20日	教育・学校		
04037	県立今治高等女学校門柱	今治市	今治市宮下町	昭和6年6月	教育・学校		
04038	阿部勇造家	今治市	今治市古国分	昭和6年	住宅		
04039	今治キリスト教会門柱	今治市	今治市南宝来町	明治～大正期	宗教		
04040	国分寺門柱	今治市	今治市国分	大正3年3月	宗教		
04041	乗禪寺門柱	今治市	今治市延喜	大正4年3月	宗教		
04042	歡喜寺門柱	今治市	今治市町谷	大正12年5月	宗教		
04043	実法寺門柱	今治市	今治市北鳥生	大正13年	宗教		
04044	黒住教会今治大教所門柱	今治市	今治市別宮町	大正14年冬至	宗教		
04045	空音寺門柱	今治市	今治市中寺	大正15年10月	宗教		
04046	大熊寺門柱	今治市	今治市小泉	大正15年3月	宗教		
04047	本性寺門柱	今治市	今治市桜井	昭和3年3月	宗教		
04048	常明寺門柱(煉瓦塀)	今治市	今治市八町西	昭和6年2月	宗教		
04049	大仙寺煉瓦塀	今治市	今治市本町	大正期	宗教		
04050	龍神社大鳥居(徳山石)	今治市	今治市波止浜	昭和15年1月	宗教		
04051	開市記念時報塔	今治市	今治市通町(吹揚公園内)	大正9年	その他(生活)		
04052	桜井海岸の御台場	今治市	今治市桜井	安政2(1855)年6月	軍事等		
04053	陸軍芸予要塞来島中部砲台(砲座・地下壕)	今治市	今治市小島	明治34年10月	軍事等		277
04054	陸軍芸予要塞来島中部砲台兵舎	今治市	今治市小島	明治34年10月	軍事等		277
04055	陸軍芸予要塞来島中部砲台司令塔	今治市	今治市小島	明治34年10月	軍事等		
04056	陸軍芸予要塞来島中部砲台浄化水槽	今治市	今治市小島	明治34年10月	軍事等		
04057	陸軍芸予要塞来島北部砲台(砲座・地下壕)	今治市	今治市小島	明治35年7月	軍事等		
04058	陸軍芸予要塞来島北部砲台発電所	今治市	今治市小島	明治35年7月	軍事等		
04059	陸軍芸予要塞来島北部砲台兵舎	今治市	今治市小島	明治35年7月	軍事等		
04060	陸軍芸予要塞来島北部砲台司令塔	今治市	今治市小島	明治35年7月	軍事等		
04061	陸軍芸予要塞来島要塞北部砲台(探照灯)	今治市	今治市小島	明治35年7月	軍事等		
04062	陸軍芸予要塞来島北部砲台浄化水槽	今治市	今治市小島	明治35年7月	軍事等		
04063	陸軍芸予要塞来島南部砲台(砲座・地下壕)	今治市	今治市小島	明治33年7月	軍事等		
04064	陸軍芸予要塞来島南部砲台発電所	今治市	今治市小島	明治33年7月	軍事等		
04065	陸軍芸予要塞来島要塞南部砲台(探照灯)	今治市	今治市小島	明治33～35年頃	軍事等		
04066	陸軍芸予要塞来島要塞弾薬庫	今治市	今治市小島	明治33～35年頃	軍事等		
04067	陸軍芸予要塞来島要塞港灣施設	今治市	今治市小島	明治32～33年頃	軍事等		
04068	金山鉱山坑口・坑道	朝倉村	今治市朝倉上金山	幕末～昭和初期	鉱業		
04069	天皇塚(井堰)	朝倉村	今治市朝倉南	昭和初期	砂防・堰堤		
04070	門口池樋門(解体保存)	朝倉村	今治市古谷	大正9年	砂防・堰堤		
04071	上朝倉尋常高等小学校門柱	朝倉村	今治市朝倉上	昭和13年4月	教育・学校		
04072	高大寺地区青年会所	朝倉村	今治市朝倉上	昭和11年9月	教育・学校		
04073	越智乙助家(戦時迷彩壁)	朝倉村	今治市古谷	大正期	住宅		
04074	武田信秀家(鏝絵)	朝倉村	今治市朝倉上	大正期	住宅		
04075	武田信秀家囲い塀	朝倉村	今治市朝倉上	大正期	住宅		
04076	無量寺門柱	朝倉村	今治市朝倉上	明治32年3月	宗教		
04077	竹林寺門柱	朝倉村	今治市古谷	明治40年3月	宗教		
04078	光蔵寺門柱	朝倉村	今治市朝倉上	明治41年2月	宗教		
04079	正善寺門柱	朝倉村	今治市朝倉南	大正11年7月	宗教		
04080	満願寺門柱(表門)	朝倉村	今治市朝倉下	昭和7年3月	宗教		
04081	満願寺門柱(裏門)	朝倉村	今治市朝倉下	昭和11年3月	宗教		
04082	水之上地区防空壕	朝倉村	今治市朝倉上	昭和19年頃	軍事等		
04083	犬塚池樋門	玉川町	今治市玉川町八幡	昭和13年4月	農業		
04084	奈良木部落落木炭倉庫	玉川町	今治市玉川町鈍川	昭和12年頃	林業		55
04085	落合橋	玉川町	今治市玉川町長谷	昭和12年8月	道路・橋梁		205
04086	祓川橋	玉川町	今治市玉川町鈍川	昭和12年2月	道路・橋梁		
04087	弥貴貴橋	玉川町	今治市玉川町鈍川	昭和13年3月	道路・橋梁		
04088	今治電気(株)長谷発電所水圧鉄管路	玉川町	今治市玉川町長谷	明治40年11月	発電・電気		
04089	今治電気(株)長谷発電所水路	玉川町	今治市玉川町長谷	明治40年11月	発電・電気		
04090	今治電気(株)長谷発電所蒼社川取水堰堤	玉川町	今治市玉川町長谷	明治40年11月	発電・電気		
04091	愛媛水力電気(株)鈍川発電所本館	玉川町	今治市玉川町鈍川	大正9年5月	発電・電気		226
04092	愛媛水力電気(株)鈍川発電所水圧鉄管路	玉川町	今治市玉川町鈍川	大正9年5月	発電・電気		226
04093	愛媛水力電気(株)鈍川発電所水槽	玉川町	今治市玉川町鈍川	大正9年5月	発電・電気		226
04094	愛媛水力電気(株)鈍川発電所沈砂池	玉川町	今治市玉川町鈍川	大正9年5月	発電・電気		226
04095	愛媛水力電気(株)鈍川発電所水路施設	玉川町	今治市玉川町鈍川	大正9年5月	発電・電気		226
04096	愛媛水力電気(株)鈍川発電所木地川取水堰堤	玉川町	今治市玉川町鈍川	大正9年5月	発電・電気		226
04097	鴨部尋常高等小学校門柱	玉川町	今治市玉川町中村	昭和4年5月	教育・学校		
04098	仙遊寺門柱	玉川町	今治市玉川町別府	大正2年7月	宗教		
04099	旧鈍川小学校二宮金次郎像台座	玉川町	今治市玉川町鈍川	昭和11年	教育・学校	登録	
04100	波方石採掘場(ウラニウム鉱)	波方町	今治市波方町宮崎	昭和初期	鉱業		
04101	武内酒造場酒蔵	波方町	今治市波方町波方	明治38年	醸造業		
04102	武内酒造場門柱	波方町	今治市波方町波方	大正12年	醸造業		
04103	英国商船プロペラ(鑄鉄製)	波方町	今治市波方町	昭和初期	運輸・海運業		
04104	金毘羅燈明台(波方港煉瓦灯明台)	波方町	今治市波方町波方	明治後期頃	灯台		186
04105	瀬野熊吉家住宅石塀(船主)	波方町	今治市波方町波方	大正6年	住宅		
04106	浅海辰次家住宅石塀(船主)	波方町	今治市波方町波方	大正期	住宅		
04107	玉生八幡神社玉垣(船主寄進)	波方町	今治市波方町	大正2～3年	宗教		
04108	芸予要塞来島要塞メートル樺(準照塔)	波方町	今治市波方町波方大角鼻	明治33～35年頃	軍事等		
04109	奥ノ内隧道(灌漑用水路)	大西町	今治市大西町脇	大正8年11月	農業		
04110	安野農具製作所磨鏡工場	大西町	今治市大西町別府	昭和13年頃	農業		50
04111	井戸醤油醸造場煉瓦塀	菊間町	今治市菊間町浜	大正10～14年頃	醸造業		
04112	井戸醤油醸造場仕込蔵	菊間町	今治市菊間町浜	大正10～14年頃	醸造業		
04113	井戸醤油醸造場煉瓦煙突	菊間町	今治市菊間町浜	大正10～14年頃	醸造業		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
04114	水田酒造合資会社釜場(煉瓦造)	菊間町	今治市菊間町浜	昭和初期	醸造業		
04115	水田酒造合資会社煉瓦煙突	菊間町	今治市菊間町浜	昭和初期	醸造業		
04116	西福製瓦工場	菊間町	今治市菊間町種	昭和6年頃	窯業		142
04117	渡部輝幸製瓦工場ダルマ窯	菊間町	今治市菊間町種	昭和初期	窯業		
04118	渡部馬吉製瓦工場職屋	菊間町	今治市菊間町種	昭和初期	窯業		
04119	加茂橋	菊間町	今治市菊間町浜	昭和10年6月	道路・橋梁		
04120	霧合橋	菊間町	今治市菊間町	昭和2年7月	道路・橋梁		
04121	亀岡村役場庁舎	菊間町	今治市菊間町佐方	昭和18~20年頃	官公庁		230
04122	菊間尋常高等小学校門柱	菊間町	今治市菊間町長坂	大正12年5月	教育・学校		
04123	菊間第2尋常高等小学校門柱	菊間町	今治市菊間町松尾	昭和8年9月	教育・学校		
04124	松山藩菊間砲台塙	菊間町	今治市菊間町浜	文久3(1863)年	軍事等		
04125	泊信用購買販売利用組合米倉庫	吉海町	今治市吉海町泊	昭和18年12月	農業		
04126	村上味噌醤油醸造場仕込蔵	吉海町	今治市吉海町仁江	大正8年	醸造業		
04127	村上味噌醤油醸造場煙突	吉海町	今治市吉海町仁江	昭和初期	醸造業		
04128	津倉浜塩田前堀	吉海町	今治市吉海町本庄	元禄13(1700)年	製塩業		
04129	小川清作家住宅石塙・門柱(塩田所有者)	吉海町	今治市吉海町本庄	大正期	製塩業		
04130	藤本保五郎家住宅石塙(塩田所有者)	吉海町	今治市吉海町	明治期	製塩業		
04131	竹田紋治家住宅石塙(塩田所有者)	吉海町	今治市吉海町	明治期	製塩業		
04132	村上直吉家住宅石塙(塩田所有者)	吉海町	今治市吉海町	大正期	製塩業		
04133	池田昇平家住宅石塙(塩田所有者)	吉海町	今治市吉海町	大正期	製塩業		
04134	名駒の海岸護岸	吉海町	今治市吉海町名駒	大正~昭和初期	灯台		
04135	中渡島灯台(旧中渡島潮流信号所)	吉海町	今治市吉海町椋名(中渡島)	明治33年4月20日	灯台		185
04136	中渡島潮流信号所 検潮器波除塔	吉海町	今治市吉海町椋名(中渡島)	明治42年3月3日	灯台		187
04137	中渡島灯台門柱	吉海町	今治市吉海町椋名(中渡島)	明治33年4月	灯台		
04138	大山村役場石垣	吉海町	今治市吉海町泊	明治17年	官公庁		
04139	津倉尋常小学校校舎	吉海町	今治市吉海町本庄	明治36年頃	教育・学校		
04140	泊尋常高等小学校二宮尊徳幼像(台座)	吉海町	今治市吉海町泊	昭和13年	教育・学校		
04141	本庄郵便局	吉海町	今治市吉海町本庄	明治39年	通信・郵便		250
04142	逓信省南浦水底線陸揚室	吉海町	今治市吉海町南浦	昭和2年	通信・郵便		
04143	野間仁根生家(屋号/角浜)	吉海町	今治市吉海町福田	天保6(1835)年	住宅		
04144	野間信照家(屋号/中浜)	吉海町	今治市吉海町本庄	大正~昭和初期	住宅		
04145	矢野近治家	吉海町	今治市吉海町本庄	明治33年頃	住宅		
04146	島四国51番礼所石塙	吉海町	今治市吉海町	明治19年	宗教		
04147	津島在郷軍人会館(修徳館)	吉海町	今治市吉海町津島	昭和初期	軍事等		
04148	旧四阪島製錬所巻揚傾斜道	宮窪町	今治市宮窪町四阪島	明治37年	鉱業		
04149	旧四阪島製錬所港灣施設	宮窪町	今治市宮窪町四阪島	明治37年	鉱業		
04150	旧四阪島製錬所荷揚げ施設	宮窪町	今治市宮窪町四阪島	大正10年	鉱業		
04151	旧四阪島製錬所変電所	宮窪町	今治市宮窪町四阪島	大正10年	鉱業		
04152	旧四阪島製錬所貯鉱庫	宮窪町	今治市宮窪町四阪島	大正10年	鉱業		
04153	旧四阪島製錬所大煙突	宮窪町	今治市宮窪町四阪島	大正13年	鉱業		
04154	日暮別邸	宮窪町	今治市宮窪町四阪島	明治39年	鉱業		302
04155	四阪島地区社宅跡の石垣	宮窪町	今治市宮窪町四阪島	明治~昭和	鉱業		
04156	村上酒造場笹の井販賣所	宮窪町	今治市宮窪町余所国	昭和初期	醸造業		
04157	村上酒造場門柱	宮窪町	今治市宮窪町余所国	明治末~大正期	醸造業		
04158	余所国海岸護岸	宮窪町	今治市宮窪町余所国	大正~昭和初期	港湾		
04159	岡橋(石橋)	宮窪町	今治市宮窪町宮窪	大正14年	道路・橋梁		
04160	宮窪巡査派出所・駐在所	宮窪町	今治市宮窪町宮窪	大正3年	官公庁		
04161	余所国尋常小学校門柱	宮窪町	今治市宮窪町余所国	明治39年	教育・学校		
04162	余所国尋常小学校二宮尊徳幼像(石像)	宮窪町	今治市宮窪町余所国	昭和14年	教育・学校		
04163	宮窪郵便局	宮窪町	今治市宮窪町宮窪	大正元年	通信・郵便		250
04164	武田弘家	宮窪町	今治市宮窪町宮窪	昭和初期	住宅		
04165	村上静家	宮窪町	今治市宮窪町余所国	昭和16年	住宅		
04166	中野弁治家煉瓦塙	宮窪町	今治市宮窪町友浦	大正期	住宅		
04167	織田林治家住宅石塙	宮窪町	今治市宮窪町	大正期	住宅		
04168	矢野政吉家住宅石塙	宮窪町	今治市宮窪町	大正期	住宅		
04169	小田重雄家住宅石塙(石山所有者)	宮窪町	今治市宮窪町	昭和16年	住宅		
04170	保証責任北浦信用購買利用組合米倉庫	伯方町	今治市伯方町北浦	昭和12年	農業		
04171	大夫殿山採石場(珪石)	伯方町	今治市伯方町北浦	大正末期	鉱業		
04172	田窪(山岡)酒造場酒蔵	伯方町	今治市伯方町木浦	明治期	醸造業		
04173	赤瀬醤油醸造場仕込蔵	伯方町	今治市伯方町北浦	大正14年頃	醸造業		
04174	赤瀬林造家(北木石の住宅石垣)	伯方町	今治市伯方町北浦	大正9年頃	醸造業		
04175	北浦浜塩田	伯方町	今治市伯方町北浦	江戸後期~明治初期	製塩業		
04176	古江浜塩田	伯方町	今治市伯方町木浦	万延元(1860)年	製塩業		
04177	瀬戸浜塩田	伯方町	今治市伯方町	文政4(1821)年	製塩業		
04178	大蔵省坂出地方専売局伯方出張所事務所	伯方町	今治市伯方町木浦	昭和16年頃	製塩業		132
04179	大蔵省坂出地方専売局伯方出張所収納倉庫	伯方町	今治市伯方町木浦	昭和初期	製塩業		132
04180	大蔵省坂出地方専売局伯方出張所文書庫	伯方町	今治市伯方町木浦	大正期	製塩業		132
04181	保証責任木浦塩業購買利用組合事務所	伯方町	今治市伯方町木浦	昭和16年	製塩業		134
04182	木浦港中波止	伯方町	今治市伯方町木浦	昭和初期	港湾		
04183	鶏小島灯台	伯方町	今治市伯方町有津	昭和20年4月1日	灯台		187
04184	六ツ瀬灯標	伯方町	今治市伯方町木浦	昭和20年4月1日	灯台		
04185	カミワラのアンコ(暗渠/排水施設)	伯方町	今治市伯方町北浦	明治期	水道		
04186	北浦尋常高等小学校門柱	伯方町	今治市伯方町北浦	大正12年4月	教育・学校		
04187	逓信省東風浜水底線陸揚室	伯方町	今治市伯方町伊方東風浜	昭和2年	通信・郵便		249
04188	逓信省明神浜水底線陸揚室	伯方町	今治市伯方町木浦明神	昭和2年	通信・郵便		249
04189	西伯方郵便局	伯方町	今治市伯方町北浦	昭和4年8月	通信・郵便		
04190	喜多浦八幡神社芝居小屋	伯方町	今治市伯方町北浦	嘉永3(1850)年頃	文化・娯楽		
04191	村上喜太郎家	伯方町	今治市伯方町木浦	昭和初期	住宅		
04192	池田龜太郎家石塙(製塩の釜石を使用)	伯方町	今治市伯方町叶浦	昭和11年頃	住宅		
04193	馬越文太郎翁石像	伯方町	今治市伯方町北浦	昭和11年	その他(生活)		
04194	赤瀬林造翁石像	伯方町	今治市伯方町北浦(善福寺)	昭和14年春	その他(生活)		
04195	保証責任木浦塩業購買利用組合防空壕	伯方町	今治市伯方町木浦	太平洋戦争末期	軍事等		
04196	タンボ(野井戸)群	上浦町	今治市上浦町盛	明治後期以降	農業		18
04197	盛信用購買販売利用組合米倉庫	上浦町	今治市上浦町盛	昭和5年4月	農業		
04198	盛口村信用購買販売利用組合米倉庫	上浦町	今治市上浦町井口	昭和14~15年	農業		36
04199	盛口塩田樋の輪(3基)	上浦町	今治市上浦町井口	明治~昭和初期	製塩業	登録	133
04200	盛港突堤	上浦町	今治市上浦町盛	昭和8年12月	港湾		
04201	井口港突堤	上浦町	今治市上浦町井口	昭和初期	港湾		
04202	井田浜港突堤	上浦町	今治市上浦町井口	昭和14~15年	港湾		
04203	本川橋	上浦町	今治市上浦町井口	大正12年	道路・橋梁		
04204	本川の水流調整堤	上浦町	今治市上浦町井口	昭和13~15年	砂防・堰堤		
04205	盛口村駐在所	上浦町	今治市上浦町井口	昭和12年	官公庁		
04206	瀬戸崎尋常高等小学校門柱	上浦町	今治市上浦町甘崎	大正末期	教育・学校		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
04207	盛口郵便局	上浦町	今治市上浦町井口	昭和2年	通信・郵便		250
04208	池田音一家	上浦町	今治市上浦町盛	昭和3年	住宅		
04209	越智升一家門柱	上浦町	今治市上浦町井口	大正6年	住宅		
04210	陸軍燃料廠井口貯油タンク送水管支柱	上浦町	今治市上浦町井口	昭和19年	軍事等		
04211	鏡村煙草耕作組合煙草乾燥室(2棟)	大三島町	今治市大三島町大見	昭和2年頃	農業		40
04212	明日鉱山採石場(石灰石)	大三島町	今治市大三島町明日	明治~大正期	鉱業		
04213	三島湯(ポイラー室の煉瓦壁)	大三島町	今治市大三島町宮浦	昭和5年9月	商業・観光		
04214	松山法務局大三島出張所	大三島町	今治市大三島町宮浦	昭和11年4月	官公庁		
04215	野々江駐在所	大三島町	今治市大三島町野々江	昭和初期	官公庁		
04216	鏡尋常高等小学校門柱	大三島町	今治市大三島町肥海	大正11年頃	教育・学校		
04217	宗方尋常高等小学校門柱	大三島町	今治市大三島町宗方	大正期	教育・学校		
04218	口総尋常高等小学校門柱	大三島町	今治市大三島町口総	大正8年	教育・学校		
04219	大三島郵便局	大三島町	今治市大三島町宮浦	大正12~13年頃	通信・郵便		
04220	野々江診療所	大三島町	今治市大三島町野々江	昭和初期	医療・医院		
04221	大山祇神社国宝館	大三島町	今治市大三島町宮浦	大正15年6月	宗教		264
04222	大山祇神社一ノ鳥居(徳山石)	大三島町	今治市大三島町宮浦	昭和8年8月	宗教		
04223	葉山丸(昭和天皇調査船)	大三島町	今治市大三島町宮浦	昭和9年	その他(生活)		
04224	大下島採掘坑(試掘坑か)	関前村	今治市関前大下	明治末~昭和初期	鉱業		
04225	大下島石灰山跡	関前村	今治市関前大下	大正6年	鉱業		
04226	大下島石灰窯	関前村	今治市関前大下	明治~大正期	鉱業		
04227	本村上石灰石鉱山跡	関前村	今治市関前小大下	明治期	鉱業		
04228	小大下島石灰山跡	関前村	今治市関前小大下	明治期	鉱業		100
04229	小大下島石灰窯(3基)	関前村	今治市関前小大下	明治~大正期	鉱業		100
04230	本村上鉱山石灰積出港	関前村	今治市関前小大下	昭和9年頃	鉱業		
04231	小大下鉱山石灰積出港	関前村	今治市関前小大下	昭和7年頃	鉱業		
04232	村上富強石粉工場(煉瓦煙突ほか)	関前村	今治市関前小大下	大正中期	鉱業		
04233	大阪産業セメント(株)ガスエンジン据付台	関前村	今治市関前小大下	大正中期	窯業		
04234	内藤酒造場店舗・住宅	関前村	今治市関前岡村	大正期	醸造業		
04235	内藤酒造場煉瓦煙突	関前村	今治市関前岡村	大正~昭和初期	醸造業		
04236	芸備銀行御手洗支店岡村出張所	関前村	今治市関前岡村	昭和10年代後半	金融業		166
04237	岡村港防波堤	関前村	今治市関前岡村	昭和3年	港湾		
04238	小大下港石波止(石灰岩)	関前村	今治市関前小大下	昭和初期	港湾		
04239	小大下港雁木	関前村	今治市関前小大下	昭和初期	港湾		
04240	小大下港繫船石(つなぎ石)	関前村	今治市関前小大下	昭和初期	港湾		
04241	大下島灯台	関前村	今治市関前大下	明治27年5月15日	灯台		184
04242	井村寛家	関前村	今治市関前岡村	幕末~明治初期	住宅		
04243	村上通重家	関前村	今治市関前岡村	明治初期	住宅		
04244	森田雅人家	関前村	今治市関前岡村	昭和7年頃	住宅		
04245	木村卯三一家(鏝絵)	関前村	今治市関前岡村	昭和11年頃	住宅		
04246	美藤文太郎家(鏝絵)	関前村	今治市関前岡村	昭和元~2年頃	住宅		
04247	内藤半次家貴賓館(ゲストハウス)	関前村	今治市関前岡村	大正~昭和初期	住宅		
04248	林商店(岸野商店)	関前村	今治市関前小大下	昭和12年	住宅		
04249	内藤半次家住宅石塀	関前村	今治市関前岡村	大正期頃	住宅		
04250	善照寺門柱	関前村	今治市関前岡村	大正9年10月	宗教		
04251	法珠寺門柱	関前村	今治市関前大下	大正6年11月	宗教		
04252	時報塔(木野山神社)	関前村	今治市関前岡村	昭和12年1月1日	その他(生活)		
04253	松山藩大下島見張番所	関前村	今治市関前大下	文久4(1864)年頃	軍事等		

上島町

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
05001	篠塚漁港石波止	魚島村	上島町魚島篠塚漁港	大正~昭和初期	漁業		68
05002	竹部家石波止(護岸壁)	魚島村	上島町魚島篠塚	昭和初期	港湾		
05003	山本家石波止(護岸壁)	魚島村	上島町魚島一番耕地	昭和初期	港湾		
05004	高井神島灯台	魚島村	上島町魚島二番耕地	大正10年12月25日	灯台		187
05005	村営共同飲料水溜所(煉瓦造)	魚島村	上島町魚島西地区	大正~昭和初期	水道		
05006	亀井八幡神社芝居小屋	魚島村	上島町魚島篠塚	明治~大正期	文化・娯楽		
05007	竹部吉吉家	魚島村	上島町魚島一番耕地	大正~昭和初期	住宅		
05008	倉本家門柱	魚島村	上島町魚島二番耕地(高井神島)	昭和初期	住宅		
05009	上弓削漁港雁木	弓削町	上島町弓削上弓削	明治~昭和初期	漁業		
05010	弓削島石灰山跡	弓削町	上島町弓削下弓削	明治期	鉱業		101
05011	弓削島石灰山搬出用構造物基礎跡	弓削町	上島町弓削藤谷	昭和初期	鉱業		101
05012	豊島石採石場(花崗岩)	弓削町	上島町弓削豊島	明治10年頃	鉱業		
05013	天野造船所(木船工場)	弓削町	上島町弓削佐島	大正初期	造船業		
05014	昭和湯(銭湯)	弓削町	上島町弓削下弓削	昭和7年頃	商業・観光		
05015	百貫島灯台	弓削町	上島町弓削百貫	明治27年5月15日	灯台		186
05016	通信省引野水底線陸揚室	弓削町	上島町弓削引野	大正末~昭和初期	通信・郵便		249
05017	永六座(芝居小屋)	弓削町	上島町弓削下弓削	昭和7年頃	文化・娯楽		
05018	村上医院門柱	弓削町	上島町弓削下弓削	昭和初期頃	医療・医院		
05019	浜田富五郎家住宅石垣	弓削町	上島町弓削土生	明治20年代頃	住宅		
05020	菅盛三郎家	弓削町	上島町上弓削	昭和7年頃	住宅		
05021	田坂為松家	弓削町	上島町弓削下弓削	明治39年頃	住宅		
05022	田中徳之助家	弓削町	上島町弓削佐島	昭和4年	住宅		
05023	濱根家累代の墓(濱根岸太郎霊廟)	弓削町	上島町弓削下弓削(自性寺)	昭和2年	その他(生活)		
05024	白玉家防空壕	弓削町	上島町弓削下弓削	太平洋戦争末期	軍事等		
05025	日本水産株式会社生名寮南寮	生名村	上島町生名	昭和16年11月	漁業		66
05026	鉢巻山採掘場(珪石・長石)	生名村	上島町生名(鉢巻山)	昭和初期頃	鉱業		
05027	恵生塩田	生名村	上島町生名西浦	文政7(1824)年	製塩業		
05028	仁市橋(石橋)	生名村	上島町生名	不明	道路・橋梁		
05029	生名国民学校二尊尊徳幼像(石像)	生名村	上島町生名	昭和18年3月	教育・学校		
05030	村上家住宅石垣	生名村	上島町生名	明治22年頃	住宅		
05031	浜口家煉瓦塀	生名村	上島町生名	不明	住宅		
05032	三秀園(麻生イトゆかりの庭園)	生名村	上島町生名立石	昭和3年3月	住宅		
05033	麻生イト石像	生名村	上島町生名	昭和10年頃	その他(生活)		
05034	濱田國太郎像(台座)	生名村	上島町生名巖島	昭和10年	その他(生活)		
05035	鉢巻山麓の防空壕	生名村	上島町生名(鉢巻山)	太平洋戦争中	軍事等		
05036	岩城村信用購買販売利用組合米倉庫	岩城村	上島町岩城	昭和8年	農業		
05037	積善山採掘坑(金鉱)	岩城村	上島町岩城	明治末期	鉱業		
05038	掛ノ浦塩田	岩城村	上島町岩城	天保4(1833)年	製塩業		
05039	高井商店芋菓子工場	岩城村	上島町岩城	大正期頃	商業・観光		
05040	城の鼻の磯印	岩城村	上島町岩城東(城ノ鼻の沖)	幕末~明治期頃	灯台		
05041	菰隠の沖の磯印	岩城村	上島町岩城菰隠(菰隠の沖)	不明	灯台		
05042	赤穂根島沖の磯印	岩城村	上島町岩城(赤穂根島沖)	不明	灯台		
05043	岩城尋常高等小学校校舎	岩城村	上島町岩城	大正6年頃	教育・学校		
05044	岩城尋常高等小学校石垣	岩城村	上島町岩城	明治36年3月	教育・学校		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
05045	岩城尋常高等小学校門柱	岩城村	上島町岩城	明治36年3月	教育・学校		
05046	岩城尋常高等小学校二宮尊徳幼像(台座)	岩城村	上島町岩城	昭和10年代	教育・学校		
05047	岩城郵便局	岩城村	上島町岩城	昭和4年10月	通信・郵便		
05048	山形医院	岩城村	上島町岩城	昭和11年頃	医療・医院		
05049	藤田家(旧三浦分家)	岩城村	上島町岩城	明治後期	住宅		
05050	大阪陸軍航空補給廠岩城島出張所壕跡	岩城村	上島町岩城	太平洋戦争中	軍事等		284

松山市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
06001	浅海信用購買組合米倉庫	北条市	松山市浅海本谷	昭和10年代頃	農業		
06002	日之出組倉庫梨・西瓜集荷場	北条市	松山市浅海原	昭和12年頃	農業		
06003	立岩鉱山採石場(珪石・長石)	北条市	松山市庄府	昭和初期	鉱業		
06004	倉敷紡績株式会社工場本館	北条市	松山市北条	昭和13年9月	繊維業		116
06005	倉敷紡績株式会社工場事務所	北条市	松山市北条	昭和13年9月	繊維業		116
06006	倉敷紡績株式会社工場講堂	北条市	松山市北条	昭和13年9月	繊維業		116
06007	倉敷紡績株式会社工場寄宿舎	北条市	松山市北条	昭和13年9月	繊維業		116
06008	倉敷紡績株式会社工場煙突	北条市	松山市北条	昭和13年9月	繊維業		116
06009	てんぐ屋(料亭)	北条市	松山市北条	大正13年頃	商業・観光		
06010	浅海漁港突堤	北条市	松山市浅海原	大正7年頃	港湾		
06011	常保免橋	北条市	松山市常保免	昭和11年8月	道路・橋梁		
06012	俵原池用水分水施設	北条市	松山市庄	昭和17年頃	水道		
06013	八木此太郎家煉瓦塀	北条市	松山市安居島	大正期	住宅		
06014	海軍呉警備隊安居島聴測照射所指揮所	北条市	松山市安居島	昭和17年頃	軍事等		284
06015	海軍呉警備隊安居島聴測照射所浄化水槽	北条市	松山市安居島	昭和16年頃	軍事等		
06016	海軍呉警備隊安居島聴測照射所聴音器(基礎)	北条市	松山市安居島	昭和16年頃	軍事等		
06017	海軍呉警備隊安居島聴測照射所燃料庫(発電用)	北条市	松山市安居島	昭和16年頃	軍事等		
06018	海軍呉警備隊安居島聴測照射所発電所(建物基礎)	北条市	松山市安居島	昭和16年頃	軍事等		
06019	海軍呉警備隊安居島聴測照射所発電所冷却用水タンク	北条市	松山市安居島	昭和16年頃	軍事等		
06020	中央染工(染物工場)	松山市	松山市立花	大正～昭和初期	繊維業		120
06021	鍵谷カネ煥功堂	松山市	松山市西垣生町	昭和4年5月	繊維業	登録	109
06022	今出地区伊予耕生産施設旧西村央家	松山市	松山市西垣生町	大正期頃	繊維業		110★
06023	水口酒造	松山市	松山市道後喜多町	大正6年	醸造業		
06024	角田造船所第二工場ドック	松山市	松山市港山町	明治期	造船業		155
06025	白鷹節太郎鍛冶工場(野鍛冶)	松山市	松山市堀江町	昭和16年	その他(2次)		
06026	高橋貞次日本刀鍛錬場	松山市	松山市石手	昭和11年	その他(2次)		
06027	新田仲太郎家住宅	松山市	松山市山西町	不明	運輸・海運業		169
06028	石崎汽船株式会社	松山市	松山市三津	大正13年12月29日	運輸・海運業	登録	
06029	山谷運送店社屋(株式会社山谷)	松山市	松山市三津	大正13年	運輸・海運業		168
06030	愛媛塩元売捌捌(宮崎家)倉庫	松山市	松山市三津	昭和初期	商業・観光		
06031	松井家(精米店)	松山市	松山市三津	大正12年頃	商業・観光		
06032	遠藤肥料店店舗	松山市	松山市三津	昭和2年	商業・観光		
06033	門屋家(旧井筒屋)	松山市	松山市大山寺町	江戸末期	商業・観光		
06034	道後温泉本館	松山市	松山市道後湯之町	明治27年4月	商業・観光	重文	173
06035	三津港波止場	松山市	松山市三津ふ頭	明治18年	港湾		
06036	大可賀新田護岸(長七たつき)	松山市	松山市大可賀	明治18年	港湾		178
06037	釣島灯台	松山市	松山市泊町釣島	明治6年6月15日	灯台		181
06038	釣島灯台吏員退息所・倉庫	松山市	松山市泊町釣島	明治6年6月	灯台	市指定	181
06039	伊予鉄道石手川橋梁	松山市	松山市立花	明治25年	鉄道		192
06040	伊予鉄道小野川橋梁	松山市	松山市平井～水泥町	明治32年	鉄道		192
06041	伊予鉄道煉瓦橋	松山市	松山市柳井町	明治25年	鉄道		192
06042	伊予鉄道立花駅・土橋駅プラットホームレール支柱	松山市	松山市土橋町	明治45年	鉄道		
06043	伊予鉄道高浜駅舎	松山市	松山市高浜町	不明	鉄道		191
06044	伊予鉄道余戸駅舎	松山市	松山市余戸中	不明	鉄道		193
06045	伊予鉄道鋪道石	松山市	松山市南堀端	不明	鉄道		
06046	国鉄松山駅転車台	松山市	松山市南江戸	大正15年	鉄道		
06047	立花橋	松山市	松山市立花	昭和3年9月	道路・橋梁		205
06048	宿野々橋	松山市	松山市宿野町	昭和5年7月	道路・橋梁		204
06049	河中橋	松山市	松山市河中町	昭和10年1月	道路・橋梁		
06050	新立橋	松山市	松山市新立町	昭和7年	道路・橋梁		205
06051	天山橋	松山市	松山市天山～東石井	昭和8年3月	道路・橋梁		
06052	岩堰橋	松山市	松山市石手	大正13年	道路・橋梁		205
06053	御手洗橋	松山市	松山市道後湯之町	大正13年6月	道路・橋梁		
06054	湯築橋	松山市	松山市道後湯之町	戦前期	道路・橋梁		
06055	伊予水力電気柳湯山第1発電所取水堰堤	松山市	松山市宿野町	明治36年	発電・電気		
06056	伊予水力電気柳湯山第1発電所水路	松山市	松山市宿野町	明治36年	発電・電気		
06057	伊予水力電気柳湯山第1発電所余水路	松山市	松山市宿野町	明治36年	発電・電気		
06058	松山電気興業柳湯山第2発電所本館	松山市	松山市宿野町	明治44年8月	発電・電気		
06059	松山電気興業柳湯山第2発電所水槽	松山市	松山市宿野町	明治44年8月	発電・電気		
06060	松山電気興業柳湯山第2発電所水圧鉄管路	松山市	松山市宿野町	明治44年8月	発電・電気		
06061	伊予鉄道電気柳湯山第3発電所水槽	松山市	松山市湯山柳	大正12年	発電・電気		
06062	伊予鉄道電気柳湯山第3発電所水圧鉄管路	松山市	松山市湯山柳	大正12年	発電・電気		
06063	伊予鉄道電気柳湯山第3発電所余水路	松山市	松山市湯山柳	大正12年	発電・電気		
06064	伊予鉄道電気柳湯山第2発電所送電線鉄塔	松山市	松山市宿野町	大正12年5月	発電・電気		
06065	愛媛県庁舎	松山市	松山市一番町	昭和4年1月	官公庁		228
06066	松山測候所(松山地方気象台)	松山市	松山市北持田町	昭和3年3月20日	官公庁	登録	231
06067	愛媛県教育会館	松山市	松山市北持田町	昭和12年11月	官公庁	登録	243
06068	白楊会館	松山市	松山市須賀町	昭和9年5月13日	教育・学校		
06069	旧制松山高等学校講堂	松山市	松山市持田町	大正11年2月	教育・学校	登録	239
06070	新田中学校本館(新田高等学校たちばな館)	松山市	松山市山西町	昭和15年6月18日	教育・学校		240
06071	湯築尋常小学校職員教棟	松山市	松山市道後町	明治40年	教育・学校		
06072	城北高等女学校門柱	松山市	松山市清水町	大正12年	教育・学校		
06073	湯山第2尋常高等小学校門柱	松山市	松山市河中町	大正13年12月	教育・学校		
06074	私立松山女学校正門(松山東雲中学・高等学校)	松山市	松山市大街道三丁目	昭和3年	教育・学校		236★
06075	北嶺中学校講堂(松山北高等学校)	松山市	松山市文京町	大正15年	教育・学校		241★
06076	和田医院(産婦人科)	松山市	松山市三津	昭和初期	医療・病院		
06077	濱田医院	松山市	松山市住吉	大正後期	医療・病院		257★
06078	久松定謨別邸萬翠荘	松山市	松山市一番町	大正11年11月	住宅	重文	270
06079	久松定謨別邸守衛所	松山市	松山市一番町	大正11年11月	住宅		
06080	久松定謨別邸倉庫(RC造3階建)	松山市	松山市一番町	大正11年11月	住宅		
06081	篠原幸吉家借家	松山市	松山市南町	昭和7年頃	住宅		
06082	武市栄家住宅	松山市	松山市昭和町	昭和6年頃	住宅		
06083	道後村庄屋三好家住宅	松山市	松山市道後町	不明	住宅		
06084	三浦林吉郎家住宅	松山市	松山市三津	大正期	住宅		
06085	木村家住宅	松山市	松山市三津	明治14年	住宅		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
06086	梶原家(旧近藤家隠居屋)	松山市	松山市三津	昭和15年	住宅		
06087	宮崎家長屋門	松山市	松山市南齊田	明治期	住宅		
06088	高本家住宅	松山市	松山市南吉田	明治32年	住宅		
06089	八東家住宅(持田地区の一室洋館)	松山市	松山市持田町	昭和11年	住宅		271★
06090	森家住宅	松山市	松山市三津	昭和5年	住宅	登録	
06091	日吉神社本殿	松山市	松山市南梅本町	明治15年	宗教	市指定	
06092	陸軍松山兵営哨舎	松山市	松山市堀之内	昭和15年	軍事等		284
06093	松山海軍航空基地航空機掩体	松山市	松山市南吉田町	昭和19年	軍事等		282
06094	松山海軍航空基地隧道(工作場・兵舎・弾薬庫ほか)	松山市	松山市北吉田町	昭和19年頃	軍事等		
06095	陸軍吉田浜射撃場施設(監視壕または弾薬庫入口)	松山市	松山市北吉田町	大正期	軍事等		
06096	軍馬犬鳩家畜慰養塔	松山市	松山市北斎院町	昭和期	軍事等		283
06097	中島鉱山採石場(陶石)	中島町	松山市小浜(イヌゴ山)	明治期	鉱業		
06098	陸月島綿行商関連住宅群	中島町	松山市陸月	不明	繊維業		111★
06099	二神島泊波止	中島町	松山市二神	昭和初期	港湾		
06100	三神島本浦波止	中島町	松山市二神	昭和初期	港湾		
06101	クダコ島灯台	中島町	松山市宇和間(クダコ島)	明治36年4月10日	灯台		187
06102	極楽橋(石橋)	中島町	松山市小浜	昭和3年	道路・橋梁		
06103	大串峠堀切	中島町	松山市小浜	昭和11年	道路・橋梁		
06104	賽の神峠の堀切	中島町	松山市熊田	昭和3年11月	道路・橋梁		
06105	山狩川河口導流堤(2本)	中島町	松山市中島大浦	昭和初期	砂防・堰堤		
06106	大浦郵便取扱所	中島町	松山市中島大浦	昭和3年10月	通信・郵便		
06107	杉原医院診療棟	中島町	松山市中島大浦	大正末期	医療・医院		
06108	杉原医院煉瓦塙・門柱	中島町	松山市中島大浦	大正末期	医療・医院		
06109	米澤家住宅	中島町	松山市中島栗井	明治10年	住宅		★
06110	俊成家住宅	中島町	松山市中島大浦	大正元年	住宅		
06111	長隆寺仁王門	中島町	松山市中島大浦	大正7年	宗教		
06112	海軍呉警備隊由利島聴測照射所指揮所	中島町	松山市二神(由利島)	昭和19年3月	軍事等		284
06113	海軍呉警備隊由利島聴測照射所兵舎	中島町	松山市二神(由利島)	昭和19年3月	軍事等		
06114	海軍呉警備隊由利島聴測照射所港湾施設	中島町	松山市二神(由利島)	昭和19年3月	軍事等		
06115	海軍呉警備隊由利島聴測照射所発電所(基礎)	中島町	松山市二神(由利島)	昭和19年3月	軍事等		
06116	海軍呉警備隊泰ノ山監視哨監視所	中島町	松山市中島大浦(泰ノ山)	昭和19年3月	軍事等		
06117	海軍呉警備隊泰ノ山監視哨指揮所	中島町	松山市中島大浦(泰ノ山)	昭和19年3月	軍事等		
06118	海軍呉警備隊泰ノ山監視哨聴音器(基礎)	中島町	松山市中島大浦(泰ノ山)	昭和19年3月	軍事等		
06119	海軍呉警備隊歌崎監視哨監視所	中島町	松山市中島栗井	太平洋戦争中	軍事等		
06120	海軍呉警備隊野忽那監視哨監視所	中島町	松山市野忽那(皿山)	太平洋戦争中	軍事等		

東温市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
07001	岡地区棚田	重信町	東温市山ノ内	明治期	農業		
07002	三ヶ村泉と三ヶ村堀貫水門	重信町	東温市田窪	幕末・明治期	農業		
07003	柳原泉と柳原堀貫水門	重信町	東温市見奈良	幕末・明治期	農業		
07004	南吉井信用購買組合事務所	重信町	東温市牛淵	大正～昭和初期	農業		
07005	南吉井信用購買組合倉庫	重信町	東温市牛淵	昭和初期頃	農業		
07006	伊予鉄道内川橋梁	重信町	東温市牛淵	明治32年	鉄道		
07007	伊予鉄道横河原駅舎	重信町	東温市横河原	明治32年10月	鉄道		193
07008	重信川砂防堰堤(除ヶの堰堤)	重信町	東温市山之内	昭和10年3月	砂防・堰堤	登録	214
07009	菖蒲堰の分水工	重信町	東温市山之内	大正2年	砂防・堰堤		
07010	八幡の岩風呂(蒸風呂)	重信町	東温市下林	大正期	文化・娯楽		
07011	渡部新蔵家住宅石垣	重信町	東温市山之内	明治31年	住宅		
07012	松下家住宅石垣	重信町	東温市上林	昭和13年	住宅		
07013	下林地区の防空壕	重信町	東温市下林	太平洋戦争中	軍事等		
07014	軍事保護院傷痍軍人愛媛療養所ポンプ室	重信町	東温市横河原	昭和14年8月	軍事等		
07015	間屋地区棚田	川内町	東温市河之内	明治初期	農業		
07016	近藤製材事務所	川内町	東温市河之内	昭和初期	林業		
07017	則之内焼窯(遺構)	川内町	東温市則之内	明治期	窯業		
07018	三和橋	川内町	東温市則之内	大正11年	道路・橋梁		204
07019	落出橋	川内町	東温市河之内	昭和7年6月	道路・橋梁		
07020	窪野の割り抜き用水路	川内町	東温市河之内	明治27年10月	砂防・堰堤		
07021	旧金毘羅街道水路石垣	川内町	東温市南方	不明	砂防・堰堤		★
07022	滑川小学校旧校舎	川内町	東温市滑川	不明	教育・学校		★
07023	音田の岩風呂(蒸風呂)	川内町	東温市河之内	大正期	文化・娯楽		
07024	阿弥陀堂芝居小屋	川内町	東温市滑川	昭和初期	文化・娯楽		
07025	大通庵石垣	川内町	東温市井内	昭和6年	宗教		
07026	日本メソジスト教会川上教会	川内町	東温市松瀬川	昭和9年	宗教		
07027	近藤金四郎家住宅石垣	川内町	東温市河之内	昭和初期	住宅		
07028	成谷雅夫家住宅	川内町	東温市松瀬川	昭和10年	住宅		

伊予市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
08001	大谷池	伊予市	伊予市上三谷	昭和20年3月	農業		23★
08002	ヤマキ旧社屋	伊予市	伊予市米湊	昭和10～12年	漁業		66★
08003	岡部仁左衛門家住宅・事務所	伊予市	伊予市米湊	大正2年頃	漁業		60★
08004	中村砥石工場(田中山)	伊予市	伊予市上唐川	明治33年頃	鉱業		
08005	伊予農業銀行郡中支店	伊予市	伊予市灘町	明治44年	金融業		164
08006	濱田屋	伊予市	伊予市湊町	昭和8年	商業・観光		176
08007	勅使橋	伊予市	伊予市上野(伊予神社参道入口)	昭和10年12月	道路・橋梁		
08008	南山崎郵便局	伊予市	伊予市大平	昭和8年	通信・郵便		
08009	藤井医院	伊予市	伊予市灘町	昭和元年	医療・医院		257
08010	大西家住宅	伊予市	伊予市湊町	明治後期	住宅		
08011	大西家離れ	伊予市	伊予市湊町	昭和7年	住宅		
08012	宮内家住宅	伊予市	伊予市灘町	元文3年	住宅		
08013	栗田地区棚田	中山町	伊予市中山町栗田	明治期以降	農業		
08014	保証責任中山信用購買販売生産組合米倉庫	中山町	伊予市中山町佐礼谷	昭和15年	農業		36
08015	佐礼谷鉱山	中山町	伊予市中山町佐礼谷	明治後期	鉱業		
08016	平沢鉱山	中山町	伊予市中山町平沢	明治後期～	鉱業		78★
08017	高橋酒造店舖・住宅	中山町	伊予市中山町出淵	昭和16年頃	醸造業		
08018	玉井酒店	中山町	伊予市中山町出淵	昭和10年	醸造業		
08019	佐礼谷郵便局	中山町	伊予市中山町佐礼谷	昭和15年12月1日	通信・郵便		250
08020	永田三島神社(長州大工)	中山町	伊予市中山町出淵	明治26・27年	宗教		260★
08021	梅坂天神社石段	中山町	伊予市中山町泉町	明治35年	宗教		
08022	井上家住宅(木造3階建)	中山町	伊予市中山町中山	昭和11年頃	住宅		
08023	仲田運夫家住宅	双海町	伊予市双海町大栄	昭和6年	林業		56★
08024	本尊山採石場(安山岩)	双海町	伊予市双海町上灘	明治初期	鉱業		
08025	日喰採石場(安山岩)	双海町	伊予市双海町日喰	昭和初期	鉱業		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
08026	奥嶋酒造場酒蔵	双海町	伊予市双海町上灘	明治期	醸造業		
08027	間木醸造場店舗(醤油)	双海町	伊予市双海町串	大正～昭和初期	醸造業		
08028	若松造船所(木船工場)	双海町	伊予市双海町串	大正期頃	造船業		
08029	小網のトンネル	双海町	伊予市双海町上灘	大正5年頃	道路・橋梁		211
08030	本谷・唐崎・石久保分水施設	双海町	伊予市双海町大久	明治期	砂防・堰堤		
08031	上灘第二尋常高等小学校(翠小学校)	双海町	伊予市双海町上灘	昭和6年	教育・学校	市指定	243
08032	鷹尾家住宅	双海町	伊予市双海町上灘	明治12年	住宅		

松前町

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
09001	南黒田の砂糖小屋	松前町	松前町南黒田	昭和23年頃	農業		27★
09002	東洋絹織機愛媛工場本館事務所	松前町	松前町筒井	昭和13年5月	繊維業		
09003	東洋絹織機愛媛工場紡績工場	松前町	松前町筒井	昭和12年11月	繊維業		
09004	東洋絹織機愛媛工場診療所	松前町	松前町筒井	昭和13年5月	繊維業		
09005	東洋絹織機愛媛工場ポンプ室	松前町	松前町上高柳	昭和期	繊維業		★
09006	国鉄北伊予駅舎	松前町	松前町出作	昭和5年	鉄道		
09007	南予鉄道岡田駅舎	松前町	松前町昌農内	明治43年	鉄道		193
09008	南予鉄道松前駅舎	松前町	松前町浜	不明	鉄道		193
09009	大政家長屋門(戦時迷彩壁)	松前町	松前町鶴吉	昭和7年	住宅		

砥部町

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
10001	外山のミカン小屋群	砥部町	砥部町外山	大正末期～昭和40年代	農業		38★
10002	宮ノ瀬窯水車小屋(旧佐川製陶所水車小屋)	砥部町	砥部町川登	明治中期	窯業	登録	146
10003	梅山窯大登窯	砥部町	砥部町大南	明治15年、20年再築	窯業	町指定	144
10004	砥石山採石場	砥部町	砥部町外山	不明	窯業	町指定	147
10005	矢取川砂防堰堤群	砥部町	砥部町	昭和元～11年	砂防・堰堤		
10006	坪内家住宅	砥部町	砥部町川登	元治元年	住宅		
10007	広田鉱山	広田村	砥部町総津	明治末～大正期	鉱業		
10008	高市鉱山	広田村	砥部町高市	江戸時代～	鉱業		79★
10009	総津酒造場店舗(佐々木家)	広田村	砥部町総津	明治41年頃	醸造業	登録	
10010	総津酒造場煉瓦煙突	広田村	砥部町総津	明治41年頃	醸造業	登録	
10011	総森三島神社本殿及び拝殿	広田村	砥部町総津	明治40年	宗教		

久万高原町

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
11001	仰西渠	久万町	久万高原町西明神	明暦年間(1655～1657)	農業	県指定	20★
11002	久万町農業会米倉庫	久万町	久万高原町菅生	昭和19年頃	農業		
11003	上浮穴農林学校知今堂	久万町	久万高原町上野尻	昭和19年10月	林業		57
11004	二宮醤油醸造場	久万町	久万高原町久万	明治後期～昭和初期	醸造業		130
11005	久万醸造機酒蔵	久万町	久万高原町久万	明治～大正初期	醸造業		
11006	今吉旅館(木造3階建)	久万町	久万高原町久万	大正期	商業・観光		
11007	仕七川屋旅館	久万町	久万高原町久万	昭和8～9年	商業・観光		
11008	日野家(旧加登屋旅館)	久万町	久万高原町下野川	明治29年	商業・観光		
11009	総門橋	久万町	久万高原町菅生	昭和12年	道路・橋梁		
11010	落合橋	久万町	久万高原町露峰	昭和9年2月	道路・橋梁		
11011	葛城橋	久万町	久万高原町二名	大正12年12月	道路・橋梁		
11012	真弓隠道(再掲)	久万町	久万高原町父野川	昭和11年11月	道路・橋梁		
11013	父二峰郵便取扱所	久万町	久万高原町露峰	昭和9年10月	通信・郵便		
11014	高橋與七郎家(呉服屋)	久万町	久万高原町久万	明治末期	住宅		
11015	上浮穴地区の林業鉄道跡	面河村	久万高原町面河地区	昭和初期	林業		54★
11016	溪泉亭	面河村	久万高原町若山	昭和5～6年	商業・観光		176
11017	高岡旅館	面河村	久万高原町本組	昭和初期	商業・観光		
11018	仙川橋	面河村	久万高原町洪草	大正14年8月	道路・橋梁		204
11019	中ヶ市橋	面河村	久万高原町若山	昭和9年3月	道路・橋梁		
11020	今窪橋	面河村	久万高原町本組	大正10年	道路・橋梁		
11021	落合橋	面河村	久万高原町若山	昭和8年9月	道路・橋梁		
11022	面河橋	面河村	久万高原町本組	昭和4年	道路・橋梁		
11023	黒森街道の堀割(堀切)	面河村	久万高原町洪草	大正9年11月	道路・橋梁		
11024	仙野郵便局	面河村	久万高原町洪草	大正末～昭和初期	通信・郵便		
11025	有枝橋	美川村	久万高原町有枝	大正11年	道路・橋梁		204
11026	御三戸橋	美川村	久万高原町黒岩	大正11年6月	道路・橋梁		204
11027	横山隠道	美川村	久万高原町東川	大正13年	道路・橋梁		
11028	伊予鉄道電気柳面河第1発電所取水堰堤(面河第1ダム)	美川村	久万高原町中黒岩	昭和3年3月	発電・電気		
11029	伊予鉄道電気柳面河第1発電所水槽	美川村	久万高原町日野浦	昭和3年3月	発電・電気		224
11030	伊予鉄道電気柳面河第1発電所沈砂池	美川村	久万高原町中黒岩	昭和3年3月	発電・電気		224
11031	伊予鉄道電気柳面河第1発電所水圧鉄管路	美川村	久万高原町中黒岩	昭和3年3月	発電・電気		224
11032	伊予鉄道電気柳面河第1発電所本館	美川村	久万高原町中黒岩	昭和3年3月	発電・電気		224
11033	日本発送電気柳面河第2発電所取水堰堤	美川村	久万高原町日野浦	昭和15年4月	発電・電気		
11034	岩屋寺大師堂	美川村	久万高原町七鳥	大正9年10月10日	宗教	重文	
11035	岡国橋	柳谷村	久万高原町中津	大正15年2月	道路・橋梁		
11036	落出大橋	柳谷村	久万高原町柳井川	昭和10年12月	道路・橋梁		
11037	伊予水力電気柳黒川第1発電所水路	柳谷村	久万高原町柳井川	明治44年9月	発電・電気		
11038	伊予水力電気柳黒川第1発電所水圧鉄管路	柳谷村	久万高原町柳井川	明治44年9月	発電・電気		
11039	伊予水力電気柳黒川第1発電所水車・発電機	柳谷村	久万高原町中津	明治44年9月	発電・電気		
11040	伊予鉄道電気柳黒川第2発電所水圧鉄管路	柳谷村	久万高原町柳井川	大正11年3月	発電・電気		
11041	日本発送電気柳黒川第4発電所水圧鉄管路	柳谷村	久万高原町西谷	昭和18年5月	発電・電気		
11042	日本発送電気柳黒川第4発電所水槽	柳谷村	久万高原町西谷	昭和18年5月	発電・電気		
11043	日本発送電気柳黒川第4発電所取水堰堤	柳谷村	久万高原町西谷	昭和18年5月	発電・電気		
11044	日本発送電気柳黒川第4発電所本館	柳谷村	久万高原町西谷	昭和18年5月	発電・電気		
11045	日本発送電気柳面河第2発電所水路	柳谷村	久万高原町柳井川	昭和15年4月	発電・電気		
11046	日本発送電気柳面河第2発電所本館	柳谷村	久万高原町柳井川	昭和15年4月	発電・電気		
11047	伊予鉄道電気柳面河第3発電所水路	柳谷村	久万高原町中津	昭和12年12月	発電・電気		
11048	小村発電所(小村取水ダム)	柳谷村	久万高原町柳谷	不明	発電・電気		
11049	松本清家	柳谷村	久万高原町柳井川	昭和15年	住宅		
11050	日本発送電気柳黒川第4発電所防空壕	柳谷村	久万高原町西谷	太平洋戦争末期	軍事等		

内子町

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
12001	小田信用購買販売組合米倉庫	小田町	内子町小田寺村	昭和初期	農業		
12002	参川信用購買販売組合米倉庫	小田町	内子町本川	昭和初期	農業		
12003	上浮穴地区の林業鉄道跡	小田町	内子町小田地区	昭和初期	林業		54★
12004	都築酒造場店舗	小田町	内子町小田322	明治39年	醸造業	登録	
12005	ふじや旅館	小田町	内子町小田	昭和2年頃	商業・観光		
12006	小田町橋	小田町	内子町小田	昭和5年9月	道路・橋梁		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
12007	吉野川橋	小田町	内子町吉野川	昭和11年11月	道路・橋梁		
12008	真弓隧道	小田町	内子町大平～久万高原町	昭和11年11月	道路・橋梁		
12009	二宮家住宅(旧石山村役場)	小田町	内子町立石	明治末～大正初期	官公庁		
12010	参川東国民学校二宮金次郎像(台座)	小田町	内子町上川	昭和18年10月	教育・学校		
12011	芝居小屋(新田八幡神社前)	小田町	内子町中田渡3	大正末～昭和初期	文化・娯楽		
12012	神谷光五郎家	小田町	内子町小田	大正～昭和初期	住宅		
12013	大瀬信用購買組合米倉庫①	内子町	内子町大瀬中央	大正期	農業		
12014	大瀬信用購買組合米倉庫②	内子町	内子町大瀬中央	昭和10～11年	農業		
12015	古橋の採石場(安山岩)	内子町	内子町石畳	明治期	鉱業		
12016	大瀬鉱山坑口(銅鉱)	内子町	内子町大瀬北	明治中期～大正期	鉱業		80
12017	大瀬鉱山沈澱池	内子町	内子町大瀬北	明治中期～後期	鉱業		80
12018	大瀬鉱山火薬庫(土塁遺構)	内子町	内子町大瀬北	明治中期～後期	鉱業		
12019	酒六酒造株式会社	内子町	内子町内子	大正9年以降	醸造業		127
12020	大瀬芳我家(酒屋)	内子町	内子町大瀬中央	明治期	醸造業		
12021	芳我家数衛家(下芳我邸/酒屋)	内子町	内子町内子	明治27年	醸造業	登録	
12022	上芳我家住宅(木蠟商)	内子町	内子町内子	明治27年旧3月8日	木蠟業	重文	139
12023	本芳我家住宅(木蠟商)	内子町	内子町内子	明治22年	木蠟業	重文	139
12024	榊大岡製作所愛媛工場(工具製造)	内子町	内子町城廻	昭和18年	その他(2次)		
12025	高田商店(木造3階建)	内子町	内子町大瀬	昭和3年	商業・観光		
12026	田村旅館(木造3階建)	内子町	内子町大瀬中央	大正末期	商業・観光		
12027	田丸橋(屋根付橋)	内子町	内子町河内	昭和19年	道路・橋梁	町指定	208
12028	成留屋橋	内子町	内子町大瀬中央	昭和12年1月	道路・橋梁		
12029	黒瀬の堰	内子町	内子町五百木・城廻	大正15年春	砂防・堰堤		
12030	中山川の堰堤群	内子町	内子町川中～城廻	昭和初期	砂防・堰堤		
12031	碓川の井堰群	内子町	内子町石畳～論田	昭和初期	砂防・堰堤		
12032	旧内子警察署	内子町	内子町内子	昭和11年8月1日	官公庁		233
12033	河野医院(旧大瀬村役場)	内子町	内子町大瀬本町	明治中期	官公庁		
12034	立川国民学校 校舎	内子町	内子町立川	昭和18年9月15日	教育・学校		
12035	二宮医院(木造3階建)	内子町	内子町本町	大正4年	医療・医院		257
12036	町田医院	内子町	内子町内子	昭和7～8年	医療・医院		
12037	満穂村診療所	内子町	内子町河内	昭和初期	医療・医院		
12038	大典記念(内子座)	内子町	内子町内子	大正5年2月21日	文化・娯楽	町指定	252
12039	旭館(電気館)	内子町	内子町内子	大正15年3月	文化・娯楽		253
12040	大島石太郎家住宅石垣	内子町	内子町立山	明治26年2月	住宅		
12041	芳我武平家(大瀬芳我隠居)	内子町	内子町大瀬	明治後期	住宅		
12042	高橋家離れ	内子町	内子町内子東町	昭和初期	住宅		
12043	中芳我家	内子町	内子町内子	大正期	住宅		
12044	城廻地区防空壕	内子町	内子町城廻	太平洋戦争中	軍事等		
12045	大瀬国民学校奉安殿	内子町	内子町大瀬	昭和初期	軍事等		285★
12046	泉谷棚田	五十崎町	内子町北表	明治～昭和初期	農業		
12047	天神信用組合米倉庫	五十崎町	内子町平岡	不明	農業		
12048	農業倉庫	五十崎町	内子町平岡	昭和初期	農業		
12049	山竹源七家養蚕室	五十崎町	内子町重松	大正15年	農業		
12050	井口製紙社屋	五十崎町	内子町平岡	大正8年	製紙業		
12051	井口製紙給水塔(煉瓦造)	五十崎町	内子町平岡	大正8年	製紙業		
12052	井口製紙煉瓦煙突	五十崎町	内子町平岡	大正8年	製紙業		
12053	三瀬薬局	五十崎町	内子町平岡	昭和初期	商業・観光		
12054	愛媛鉄道黒内坊地区拱渠	五十崎町	内子町黒内坊	大正9年	鉄道		195
12055	常磐橋	五十崎町	内子町御蔵	昭和15年	道路・橋梁		
12056	旧天神村駐在所	五十崎町	内子町平岡	昭和2年3月1日	官公庁		233
12057	天神館(芝居小屋)	五十崎町	内子町平岡	昭和2年	文化・娯楽		
12058	村上家住宅母屋	五十崎町	内子町平岡	大正13年3月	住宅		267
12059	村上家住宅離れ(洋館)	五十崎町	内子町平岡	大正12年	住宅		
12060	栗田熊雄家母屋	五十崎町	内子町平岡	明治27年	住宅		267
12061	栗田熊雄家離れ	五十崎町	内子町平岡	大正初期	住宅		
12062	栗田熊雄家米倉	五十崎町	内子町平岡	大正初期	住宅		
12063	栗田熊雄家道具倉(煉瓦造)	五十崎町	内子町平岡	大正初期	住宅		

大洲市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
13001	清水家煙草乾燥室	大洲市	大洲市八多喜町	昭和20年頃	農業		
13002	矢野佐々太家住宅(養蚕農家)	大洲市	大洲市多田	大正2年7月	農業		52
13003	樹田製糸場講堂(樹田田商事)	大洲市	大洲市若宮	昭和10年	繊維業		105
13004	樹田製糸場事務所・寄宿舎	大洲市	大洲市若宮	大正7年	繊維業		105
13005	程野製糸場講堂(煉瓦造)	大洲市	大洲市大洲	明治39年9月15日	繊維業		
13006	城栄館事務所兼松谷徳馬家住宅	大洲市	大洲市平野町	大正10年2月頃	繊維業		108★
13007	松谷醤油店煉瓦煙突	大洲市	大洲市平野町	大正10年頃	醸造業		
13008	梶田商店・梶田家住宅	大洲市	大洲市中村	昭和7年	醸造業		128
13009	旧大洲商業銀行本店	大洲市	大洲市大洲	明治30年12月8日	金融業	市指定	159
13010	新谷銀行	大洲市	大洲市新谷町	明治29年8月	金融業		166
13011	愛媛無尽八幡浜支店大洲出張所	大洲市	大洲市大洲	大正末～昭和初期	金融業		166
13012	ミヤ商店(三瀬藤吉家)	大洲市	大洲市八多喜町	大正5～6年	商業・観光		
13013	島田商店店舗・住宅	大洲市	大洲市本町	昭和3年	商業・観光		
13014	古森洋品店	大洲市	大洲市大洲	昭和10年	商業・観光		
13015	よもぎ庵(菓子屋)	大洲市	大洲市大洲	昭和10年(改造)	商業・観光		
13016	千賀居隧道	大洲市	大洲市平野町～八幡浜市川之内	明治38年	道路・橋梁		210
13017	国鉄脇川橋梁	大洲市	大洲市阿蔵	昭和11年9月	鉄道		188
13018	国鉄夜屋トンネル	大洲市	大洲市平野町～八幡浜市郷	昭和13年8月	鉄道		
13019	国鉄旧大洲駅舎	大洲市	大洲市若宮	昭和期	鉄道		★
13020	愛媛鉄道八多喜トンネル	大洲市	大洲市八多喜町	大正7年	鉄道		194
13021	愛媛鉄道河内トンネル	大洲市	大洲市八多喜町	大正7年	鉄道		194
13022	愛媛鉄道米津地区拱渠	大洲市	大洲市八多喜町	大正7年頃	鉄道		195
13023	愛媛鉄道橋脚	大洲市	大洲市八多喜町	大正7年	鉄道		
13024	愛媛鉄道煉瓦橋	大洲市	大洲市五郎	大正7年頃	鉄道		
13025	颯風閣	大洲市	大洲市新谷	慶応4年	教育・学校	県指定	
13026	菅田尋常高等小学校宇津分教場校舎	大洲市	大洲市菅田町	昭和3年5月	教育・学校		
13027	常盤井家私塾・古学堂	大洲市	大洲市阿蔵	江戸期～	教育・学校		242
13028	中将湯温泉	大洲市	大洲市中村	大正9年	文化・娯楽		
13029	三瀬医院	大洲市	大洲市八多喜町	昭和4年	医療・医院		
13030	新田産婦人科	大洲市	大洲市大洲	昭和16年頃	医療・医院		
13031	藤本医院	大洲市	大洲市大洲	昭和10年	医療・医院		
13032	道田歯科医院	大洲市	大洲市大洲	昭和5年	医療・医院		
13033	亀岡家住宅	大洲市	大洲市八多喜町	明治20年代	住宅		269
13034	池田貞兵衛家離れ	大洲市	大洲市新谷町	明治35年頃	住宅		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
13035	池田真兵衛家道具倉(煉瓦造)	大洲市	大洲市新谷町	明治35年	住宅		268
13036	池田真兵衛家月見亭(東屋)	大洲市	大洲市新谷町	明治35年	住宅		
13037	池田真兵衛家米倉(煉瓦造)	大洲市	大洲市新谷町	明治35年	住宅		268
13038	池田真兵衛家塩倉	大洲市	大洲市新谷町	明治35年	住宅		
13039	池田真兵衛家長屋門	大洲市	大洲市新谷町	明治35年	住宅		268
13040	池田真兵衛家金庫室	大洲市	大洲市新谷町	明治35年	住宅		
13041	河内助三郎家養老庵(隠居所)	大洲市	大洲市新谷町	明治34~35年	住宅		
13042	城戸龍郎家幽香庵(茶室)	大洲市	大洲市大洲	昭和初期	住宅		
13043	村上長次郎家土蔵(海鼠壁)	大洲市	大洲市大洲	明治5年頃	住宅		
13044	臥龍山荘	大洲市	大洲市大洲	明治30年	住宅	県指定	
13045	永井家(旧多田家)	大洲市	大洲市大洲	昭和12年	住宅		
13046	旧加藤家	大洲市	大洲市大洲	大正期	住宅	登録	
13047	松井家	大洲市	大洲市柚木	昭和元年	住宅	登録	
13048	少彦名神社参籠所	大洲市	大洲市菅田	昭和9年4月28日	宗教		262★
13049	池田家墓所(宗忠庵)	大洲市	大洲市新谷	明治後期	その他(生活)		
13050	戒川地区棚田	長浜町	大洲市長浜町長浜	明治期以降	農業		
13051	出石鉱山(石垣遺構)	長浜町	大洲市長浜町長浜	明治43年	鉱業		
13052	金山鉱山	長浜町	大洲市長浜町出海	明治期~昭和期	鉱業		82★
13053	喜多製蠟所(株セリカNODA)	長浜町	大洲市長浜町長浜	昭和6年頃	木蠟業		136★
13054	富岡製粉水車小屋(久保田水車)	長浜町	大洲市長浜町	大正期頃	その他(2次)		
13055	愛媛鉄道大越トンネル	長浜町	大洲市長浜町大越	不明	鉄道		194★
13056	長浜大橋	長浜町	大洲市長浜町長浜	昭和10年	道路・橋梁	登録	206
13057	大和橋親柱	長浜町	大洲市長浜町上老松	昭和10年10月13日	道路・橋梁		
13058	幸口ダム遺構	長浜町	大洲市長浜町今坊	大正15年2月14日	水道		218
13059	長浜町役場庁舎	長浜町	大洲市長浜町長浜	昭和11年	官公庁	登録	230
13060	鎌田家住宅石垣	長浜町	大洲市長浜町長浜	不詳	住宅		
13061	末永四郎平家母屋	長浜町	大洲市長浜町長浜	明治17年	住宅	登録	
13062	末永四郎平家百畳座敷	長浜町	大洲市長浜町長浜	昭和2年	住宅	登録	
13063	兵藤家	長浜町	大洲市長浜町出海	江戸末期	住宅	登録	
13064	濱田家(旧黒田家)	長浜町	大洲市長浜町長浜	昭和7年	住宅		
13065	海軍呉防備隊青島防衛衛所水槽	長浜町	大洲市長浜町青島	不明	軍事等		
13066	小藪温泉本館	肱川町	大洲市肱川町宇和川	大正11年	商業・観光	登録	173
13067	八重栗橋	肱川町	大洲市肱川町八重栗	大正10年5月	道路・橋梁		★
13068	小藪橋	肱川町	大洲市肱川町宇和川	不明	道路・橋梁		★
13069	松の越隧道(再掲)	肱川町	大洲市肱川町~西予市野村町	大正13年7月	道路・橋梁		
13070	予子林尋常高等小学校 校舎	肱川町	大洲市肱川町予子林	昭和13年2月19日	教育・学校		
13071	山田医院	肱川町	大洲市肱川町宇和川	大正8年	医療・医院		
13072	岡部家医院住宅(鍍絵)	肱川町	大洲市肱川町予子林	明治期	住宅		
13073	用の山鉱山坑口	河辺村	大洲市河辺町	明治~大正期	鉱業		
13074	三嶋橋(屋根付橋)	河辺村	大洲市河辺町三嶋	大正12年	道路・橋梁		208
13075	御幸の橋(屋根付橋)	河辺村	大洲市河辺町北平	明治19年10月	道路・橋梁	県有民	

八幡浜市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
14001	須川蚕種工場社屋(八幡浜米穀株)	八幡浜市	八幡浜市昭和通	大正12年	農業		45
14002	三好水室	八幡浜市	八幡浜市日土町	明治27年頃	農業		44★
14003	半農半漁の向灘集落	八幡浜市	八幡浜市向灘	大正~昭和初期	漁業		66★
14004	今出鉱山製錬所	八幡浜市	八幡浜市日土町	江戸・明治期以降	鉱業		
14005	佐島製錬所鍛煉瓦建造物	八幡浜市	八幡浜市佐島	明治26年5月	鉱業		88
14006	佐島製錬所鍛捨場	八幡浜市	八幡浜市佐島	明治26年5月	鉱業		88
14007	摂津製糸株式会社と摂津家住宅	八幡浜市	八幡浜市布喜川	大正初期~昭和初期	繊維業		106★
14008	上田酒造場店舗・住宅(梅美人酒造)	八幡浜市	八幡浜市幸町	昭和6年	醸造業	登録	
14009	上田酒造場仕込蔵	八幡浜市	八幡浜市幸町	大正初期	醸造業	登録	
14010	上田酒造場煉瓦煙突	八幡浜市	八幡浜市幸町	昭和3年	醸造業	登録	
14011	小泉酒造場煉瓦煙突	八幡浜市	八幡浜市広瀬	大正11年頃	醸造業		
14012	上田利平家住宅(現山本家)	八幡浜市	八幡浜市五反田	明治9年6月28日	木蠟業		138★
14013	豫州銀行本店(伊予銀行八幡浜支店)	八幡浜市	八幡浜市仲之町	昭和11年11月3日	金融業		160
14014	菊池清治家住宅	八幡浜市	八幡浜市浜之町	江戸末期~明治初期	運輸・海運業		170
14015	村田吉右衛門家住宅	八幡浜市	八幡浜市新町	不明	運輸・海運業		
14016	松本理髪店	八幡浜市	八幡浜市大黒町	昭和初期に改修	商業・観光		
14017	金本鉄店	八幡浜市	八幡浜市大黒町	昭和7年	商業・観光		176
14018	金本本店	八幡浜市	八幡浜市新町	明治10年	商業・観光		
14019	竹家旅館	八幡浜市	八幡浜市北浜	昭和初期	商業・観光		176
14020	料亭おいち(旧仁志川家別荘)	八幡浜市	八幡浜市東新川	昭和12年	商業・観光		
14021	国鉄第二女岩橋	八幡浜市	八幡浜市中津川~若山	昭和20年6月20日	鉄道		189
14022	国鉄釜の倉橋	八幡浜市	八幡浜市釜倉	昭和20年6月	鉄道		
14023	国鉄夜屋トンネル(再掲)	八幡浜市	八幡浜市郷~大洲市平野町	昭和13年8月	鉄道		
14024	国鉄八幡浜駅舎	八幡浜市	八幡浜市江戸岡	昭和14年2月6日	鉄道		189★
14025	国鉄八幡浜駅跨線橋	八幡浜市	八幡浜市江戸岡	不明	鉄道		
14026	明治橋	八幡浜市	八幡浜市大正町	昭和5年3月	道路・橋梁		202
14027	布喜川橋	八幡浜市	八幡浜市五反田川舞	大正14年10日	道路・橋梁		
14028	大元橋	八幡浜市	八幡浜市郷	昭和2年5月	道路・橋梁		
14029	上萩野橋	八幡浜市	八幡浜市川之内	大正15年	道路・橋梁		
14030	千賀居隧道(再掲)	八幡浜市	八幡浜市川之内~大洲市平野町	明治38年	道路・橋梁		210
14031	向灘郵便局(上村家)	八幡浜市	八幡浜市向灘	昭和7年4月	通信・郵便		247
14032	大正湯	八幡浜市	八幡浜市大正町	大正5年頃	文化・娯楽		
14033	下司医院(産婦人科)	八幡浜市	八幡浜市浜之町	大正13年頃	医療・医院		255
14034	高田忠太郎家住宅	八幡浜市	八幡浜市片山町	昭和6年	住宅		
14035	矢野武木家住宅	八幡浜市	八幡浜市片山町	昭和6年	住宅		
14036	大家経太郎家住宅	八幡浜市	八幡浜市向灘	大正2~3年	住宅		
14037	土地分譲団地造成石垣	八幡浜市	八幡浜市海望園・松本町	昭和7年2月	住宅		
14038	日本基督教団八幡浜教会	八幡浜市	八幡浜市本町	昭和7年	宗教		★
14039	西井久八銅像台座	八幡浜市	八幡浜市古町	昭和2年8月14日	その他(生活)		★
14040	八幡浜第一防空壕	八幡浜市	八幡浜市幸町	昭和16年2月22日	軍事等		280
14041	八幡浜大神宮防空壕	八幡浜市	八幡浜市神宮通	昭和初期	軍事等		283
14042	上大ツエ門	保内町	八幡浜市保内町宮内	明治期	農業		
14043	鼓尾の暗渠水門	保内町	八幡浜市保内町宮内	明治期	農業		
14044	日進館事務所棟(愛媛蚕種株式会社)	保内町	八幡浜市保内町川之石	明治後期~大正期	農業	登録	42
14045	日進館第一蚕室	保内町	八幡浜市保内町川之石	大正8年	農業	登録	42
14046	日進館第二蚕室	保内町	八幡浜市保内町川之石	大正8年	農業	登録	42
14047	大峯鉱山坑口	保内町	八幡浜市保内町川之石	明治23年頃	鉱業		84
14048	大峯鉱山貯水槽	保内町	八幡浜市保内町川之石	明治期	鉱業		84
14049	大峯鉱山幹部宿舎	保内町	八幡浜市保内町川之石	不明	鉱業		84
14050	大峯鉱山幹部宿舎煉瓦塀	保内町	八幡浜市保内町川之石	明治期	鉱業		84

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
14051	柳谷鉱山製錬所	保内町	八幡浜市保内町須川	明治22年頃	鉱業	市指定	87
14052	今出鉱山選鉱場	保内町	八幡浜市保内町川之石	昭和12年	鉱業		86
14053	金山鉱山(再掲)	保内町	八幡浜市保内町磯崎	明治期～昭和期	鉱業		82★
14054	三好家鉱滓煉瓦の門柱 煉瓦塀	保内町	八幡浜市保内町川之石	不明	鉱業		
14055	白石和太郎家洋館	保内町	八幡浜市保内町川之石	明治30年代後半	鉱業	市指定	91
14056	白石和太郎家母屋	保内町	八幡浜市保内町川之石	大正期	鉱業		91
14057	白石和太郎家煉瓦塀	保内町	八幡浜市保内町川之石	不明	鉱業		
14058	宇都宮壯十郎家住宅	保内町	八幡浜市保内町川之石	明治34年	鉱業		92
14059	東洋紡績川之石工場原綿倉庫(八幡浜紙業)	保内町	八幡浜市保内町川之石	大正後期	繊維業		114
14060	東洋紡績川之石工場仕上室	保内町	八幡浜市保内町川之石	昭和初期	繊維業		114
14061	東洋紡績川之石工場娯楽室	保内町	八幡浜市保内町宮内	大正～昭和初期	繊維業		114
14062	東洋紡績国旗掲揚台<移設>	保内町	八幡浜市保内町川之石	昭和初期	繊維業		
14063	二宮酒造場煉瓦煙突	保内町	八幡浜市保内町川之石	明治～昭和初期	醸造業		
14064	川之石醤油煉瓦煙突	保内町	八幡浜市保内町川之石	大正～昭和初期	醸造業		
14065	菊池清平家住宅(西のおやけ)母屋	保内町	八幡浜市保内町川之石	明治期	運輸・海運業		171
14066	菊池清平家住宅(西のおやけ)洋館	保内町	八幡浜市保内町川之石	不明	運輸・海運業		171
14067	菊池清平家住宅(西のおやけ)煉瓦塀	保内町	八幡浜市保内町川之石	不明	運輸・海運業		171
14068	東のおやけ	保内町	八幡浜市保内町川之石	明治期	運輸・海運業		
14069	宮内川青石護岸	保内町	八幡浜市保内町川之石～宮内	昭和初期	港湾		179
14070	美名瀬橋	保内町	八幡浜市保内町川之石	昭和8年	道路・橋梁		
14071	赤ヒゲ橋	保内町	八幡浜市保内町宮内	明治期	道路・橋梁		208
14072	内之浦公会堂	保内町	八幡浜市保内町川之石	昭和12年	官公庁	登録	232
14073	菅皮膚科医院	保内町	八幡浜市保内町川之石	不明	医療・医院		
14074	龍潭寺庫裡	保内町	八幡浜市保内町川之石	明治初期	宗教	市指定	
14075	城徳家石垣	保内町	八幡浜市保内町宮内	大正10年	住宅		★

伊方町

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
15001	柑橘栽培の段々畑と防風垣	全域	伊方町全域ほか	近世～昭和初期	農業		25★
15002	佐田岬半島の石造防波堤群	全域	伊方町全域	明治末～昭和30年	漁業		69★
15003	女岬製錬所	伊方町	伊方町九町	明治30年	鉱業		89
15004	佐々木長治家住宅(中田家)	伊方町	伊方町湊浦	明治38年	鉱業		96
15005	清家久米一郎家住宅	伊方町	伊方町湊浦	明治38年	鉱業		94
15006	佐々木酒造	伊方町	伊方町川永田	昭和2年	醸造業		123
15007	松田嘉吉酒造場店舗	伊方町	伊方町湊浦	昭和6年	醸造業		
15008	松田嘉吉酒造場酒蔵	伊方町	伊方町湊浦	昭和6年	醸造業		
15009	神橋	伊方町	伊方町湊浦	大正14年	道路・橋梁		★
15010	石造暗渠	伊方町	伊方町河内	明治期	道路・橋梁		★
15011	鳥津防風壁	伊方町	伊方町鳥津	明治期	その他(土木)		★
15012	二見造成地	伊方町	伊方町二見	昭和期	その他(土木)		★
15013	井田医院	伊方町	伊方町九町	昭和4～6年頃	医療・医院		
15014	栗田医院	伊方町	伊方町川永田	大正3年秋	医療・医院		257
15015	一ノ宮客神社防風・防潮石垣	伊方町	伊方町	明治初期	宗教		
15016	石橋芳保家	伊方町	伊方町小中浦	昭和11～12年頃	住宅		
15017	菊池家住宅	伊方町	伊方町川永田	昭和3年10月	住宅		
15018	佐田岬半島の牛ダヤ群	瀬戸町	伊方町大久ほか	明治末～昭和初期	農業		34
15019	堂堂山監視哨	伊方町	伊方町神崎	昭和20年頃	軍事等		
15020	煮干イワン製造施設	瀬戸町	伊方町塩成	昭和初期～昭和30年代	漁業		64★
15021	平善鉱山鉱石貯蔵所	瀬戸町	伊方町大久・川之浜	明治期	鉱業		
15022	要橋	瀬戸町	伊方町塩成	明治4年	道路・橋梁		209
15023	塩成橋	瀬戸町	伊方町塩成	昭和15年1月	道路・橋梁		
15024	志津橋(仮称)	瀬戸町	伊方町志津	不明	道路・橋梁		
15025	古田橋	瀬戸町	伊方町田部	昭和37年3月	道路・橋梁		★
15026	大久旧国道擁壁	瀬戸町	伊方町大久	昭和期	道路・橋梁		★
15027	青石堰堤	瀬戸町	伊方町塩成	不明	砂防・堰堤		216★
15028	松山地方務局瀬戸出張所	瀬戸町	伊方町三机	大正7年6月30日	官公庁		★
15029	神崎水底線陸揚室跡	瀬戸町	伊方町神崎	昭和25年	通信・郵便		
15030	長松寺石垣	瀬戸町	伊方町大久	不明	宗教		
15031	長養寺煉瓦塀	瀬戸町	伊方町三机	大正13年6月	宗教		
15032	飯島神社	瀬戸町	伊方町三机	昭和期	宗教		★
15033	梶原家長屋門・母屋	瀬戸町	伊方町田部	明治22年	住宅		★
15034	松本家長屋門・母屋	瀬戸町	伊方町大久	明治期	住宅		★
15035	大佐田のフナグラ群	三崎町	伊方町大佐田	昭和初期	農業		30
15036	松のナヤ群	三崎町	伊方町松	昭和初期	農業		28★
15037	井野浦のナヤ群と石積み畑	三崎町	伊方町井野浦	昭和初期	農業		32
15038	高浦鉱山坑口	三崎町	伊方町高浦	大正12年	鉱業		
15039	三崎製錬所	三崎町	伊方町佐田	明治33年12月	鉱業	登録	90
15040	串防風壁	三崎町	伊方町串	明治期	港湾		★
15041	佐田岬灯台	三崎町	伊方町正野	大正7年4月1日	灯台		182
15042	中塚橋	三崎町	伊方町松	昭和14年4月	道路・橋梁		★
15043	公会堂	三崎町	伊方町三崎	昭和4年	官公庁		
15044	串尋常小学校正野分教場	三崎町	伊方町正野	昭和7年	教育・学校		
15045	逓信省平磯水底線陸揚室	三崎町	伊方町平磯	昭和2年	通信・郵便	登録	248
15046	逓信省井野浦水底線陸揚室	三崎町	伊方町井野浦	大正末～昭和初期	通信・郵便		249
15047	大佐田天満神社石垣・石壁	三崎町	伊方町大佐田	明治期	宗教		
15048	正野地区防風・防潮石垣(集落)	三崎町	伊方町正野	明治期	住宅		
15049	名取地区住宅石垣	三崎町	伊方町名取	不明	住宅		
15050	陸軍独混118旅団佐田岬砲台灯台下砲座(2門)	三崎町	伊方町正野	昭和20年2月以降	軍事等		
15051	陸軍豊予要塞佐田岬砲台御籠砲座(2門)	三崎町	伊方町正野	昭和20年2月以降	軍事等		
15052	陸軍豊予要塞佐田岬砲台照明所	三崎町	伊方町正野	大正13～15年頃	軍事等		
15053	陸軍豊予要塞佐田岬砲台現地司令部	三崎町	伊方町正野	大正13～15年	軍事等		
15054	陸軍豊予要塞佐田岬砲台第1砲台弾磨き鍛造所	三崎町	伊方町正野	大正15年頃	軍事等		
15055	陸軍豊予要塞佐田岬砲台第1砲台観測所	三崎町	伊方町正野	大正13～15年	軍事等		
15056	陸軍豊予要塞佐田岬砲台第2砲台観測所	三崎町	伊方町正野	大正13～15年	軍事等		278
15057	陸軍豊予要塞佐田岬砲台第1砲台揚弾孔・地下砲側庫	三崎町	伊方町正野	大正13～15年頃	軍事等		
15058	陸軍豊予要塞佐田岬砲台第2砲台砲側庫	三崎町	伊方町正野	大正15年～昭和2年	軍事等		278
15059	陸軍豊予要塞佐田岬砲台第2砲台砲座(4門)	三崎町	伊方町正野	大正15年～昭和2年	軍事等		
15060	陸軍豊予要塞佐田岬砲台軍用棧橋	三崎町	伊方町正野	昭和2年	軍事等	登録	
15061	県防空監視隊伽藍山監視哨聴音壕跡	三崎町	伊方町三崎	昭和16年	軍事等		283

西予市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
16001	井上力松家(米利商会)	三瓶町	西予市三瓶町朝立	大正初期	商業・観光		
16002	長瀬橋	三瓶町	西予市三瓶町和泉	大正6年	道路・橋梁		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
16003	石崎橋	三瓶町	西予市三瓶町津布里	大正15年	道路・橋梁		
16004	日吉橋	三瓶町	西予市三瓶町朝立	昭和13年	道路・橋梁		
16005	港橋 親柱	三瓶町	西予市三瓶町朝立	昭和12年	道路・橋梁		
16006	蔵貫郵便局	三瓶町	西予市三瓶町蔵貫	昭和9年	通信・郵便		250
16007	紀伊野齒科医院	三瓶町	西予市三瓶町朝立	昭和11年	医療・医院		257
16008	久保田福太郎家	三瓶町	西予市三瓶町安土	大正12年	住宅		
16009	狩浜地区段々畑(石灰岩石垣)	明浜町	西予市明浜町狩浜	江戸中期~昭和初期	農業		24
16010	岩井の石灰窯	明浜町	西予市明浜町宮野浦	明治初年頃	鉱業		102
16011	俵津隧道	明浜・宇和	西予市宇和~明浜	大正15年11月24日	道路・橋梁		211
16012	西山田稚蚕共同飼育場兼西山田公会堂	宇和町	西予市宇和町西山田	昭和11年	農業		48
16013	上甲家養蚕室	宇和町	西予市宇和町	大正期	農業		
16014	大平鉱山(マンガン)	宇和町	西予市宇和町明間	不明	鉱業		
16015	第一東洋蚕種株式会社	宇和町	西予市宇和町卯之町	明治期	繊維業		109
16016	松本酒造合名会社酒蔵	宇和町	西予市宇和町卯之町	明治期	醸造業		
16017	よつかど松本商店(雑貨・煙草)	宇和町	西予市宇和町卯之町	明治初期	商業・観光		
16018	急びすや食堂部(木造3階建)	宇和町	西予市宇和町卯之町	大正~昭和初期	商業・観光		
16019	山家写真店	宇和町	西予市宇和町卯之町	昭和7年	商業・観光		
16020	国鉄法華津トンネル	宇和町	西予市宇和町	昭和16年7月	鉄道		
16021	平野橋	宇和町	西予市宇和町信里	大正11年3月	道路・橋梁		
16022	道義橋	宇和町	西予市宇和町卯之町	昭和6年頃	道路・橋梁		
16023	三瓶隧道	宇和町	西予市宇和町郷内	大正6年12月16日	道路・橋梁	登録	210
16024	東宇和地方事務所	宇和町	西予市宇和町	昭和17年	官公庁		
16025	久枝消防倉庫	宇和町	西予市宇和町久枝	昭和初期	官公庁		
16026	信里消防倉庫	宇和町	西予市宇和町信里	昭和初期	官公庁		
16027	稲生消防倉庫	宇和町	西予市宇和町稲生	昭和8年頃	官公庁		
16028	卯之町図書館(昭和初期当時)	宇和町	西予市宇和町卯之町	大正期	官公庁		
16029	久枝公会堂	宇和町	西予市宇和町久枝	昭和6年	官公庁		
16030	開明学校	宇和町	西予市宇和町卯之町	明治15年6月10日	教育・学校	重文	243
16031	申義堂	宇和町	西予市宇和町卯之町	明治2年	教育・学校	市指定	243
16032	宇和町尋常高等小学校第1校舎	宇和町	西予市宇和町卯之町	昭和3年12月15日	教育・学校	市指定	243
16033	宇和町尋常高等小学校第2校舎	宇和町	西予市宇和町卯之町	大正10年	教育・学校	市指定	
16034	宇和町尋常高等小学校講堂	宇和町	西予市宇和町卯之町	大正4年	教育・学校	市指定	243
16035	石城尋常高等小学校校舎	宇和町	西予市宇和町下松葉	昭和5年4月	教育・学校		
16036	久保尋常小学校	宇和町	西予市宇和町久保	明治27年11月	教育・学校		243
16037	旧井上医院	宇和町	西予市宇和町卯之町	大正5年	医療・医院		257
16038	土居内科医院	宇和町	西予市宇和町西山田	明治~昭和期	医療・医院		★
16039	明石寺石垣	宇和町	西予市宇和町明石	昭和5年	宗教	登録	
16040	日本キリスト教団卯之町教会	宇和町	西予市宇和町卯之町	大正15年3月	宗教		
16041	和田左平家(鏝絵)	宇和町	西予市宇和町田野中	明治14年	住宅		
16042	清水静十郎家別邸	宇和町	西予市宇和町卯之町	大正期	住宅		
16043	末光千代太郎家 煉瓦塀	宇和町	西予市宇和町卯之町	大正3年	住宅		
16044	堀内家	宇和町	西予市宇和町田野中	明治10年	住宅		
16045	河野家	宇和町	西予市宇和町西山田	明治38年	住宅		
16046	前嶺溝	野村町	西予市野村町野村	明治元年	農業		21★
16047	龍王山鉱山坑口(マンガン)	野村町	西予市野村町野村	明治期	鉱業		
16048	植木の金鉱山坑口	野村町	西予市野村町釜川	昭和13~14年	鉱業		
16049	川成橋	野村町	西予市野村町予子林	昭和2年10月	道路・橋梁		
16050	中瀬橋	野村町	西予市野村町旭	昭和11年6月	道路・橋梁		
16051	船戸川橋	野村町	西予市野村町予子林	昭和5年	道路・橋梁		201
16052	惣川発電所(取水ダム・水圧鉄管等)	野村町	西予市野村町惣川	不明	発電・電気		
16053	伊予鉄道電気船戸発電所本館	野村町	西予市野村町惣川	大正15年	発電・電気		
16054	松の越隧道(再掲)	野村町	西予市野村町~大洲市肱川町	大正13年7月	発電・電気		
16055	籾谷川砂防堰堤群	野村町	西予市野村町溪筋	昭和15年頃	砂防・堰堤		216
16056	奥谷川砂防堰堤群	野村町	西予市野村町溪筋	昭和14年	砂防・堰堤		216
16057	寺谷川砂防堰堤群	野村町	西予市野村町島鹿野	昭和15年頃	砂防・堰堤		
16058	長谷川砂防堰堤群	野村町	西予市野村町長谷	昭和19年頃	砂防・堰堤		
16059	大妻川砂防堰堤群①	野村町	西予市野村町長谷	昭和16年頃	砂防・堰堤		
16060	大妻川砂防堰堤群②	野村町	西予市野村町長谷	昭和15年頃	砂防・堰堤		
16061	川本英次郎家倉庫(鏝絵)	城川町	西予市城川町男内	昭和初期	農業		
16062	中城本店酒造場店舗・住宅	城川町	西予市城川町嘉喜尾	明治37~38年	醸造業		
16063	中城本店酒造場酒蔵	城川町	西予市城川町嘉喜尾	明治37~38年	醸造業		
16064	芝酒造場店舗・住宅	城川町	西予市城川町川津南	明治初期	醸造業		
16065	芝酒造場酒蔵	城川町	西予市城川町川津南	明治初期	醸造業		
16066	卯之町銀行土居支店	城川町	西予市城川町土居	大正8年	金融業		166
16067	高川橋	城川町	西予市城川町高野子	昭和10年	道路・橋梁		
16068	辰ノ口橋	城川町	西予市城川町嘉喜尾	昭和10年	道路・橋梁		
16069	三島橋	城川町	西予市城川町古市	昭和10年6月	道路・橋梁		
16070	宇治橋	城川町	西予市城川町魚成	昭和3年9月	道路・橋梁		
16071	龍澤寺偃月橋(屋根付橋)	城川町	西予市城川町魚成(龍澤寺)	不明	道路・橋梁		
16072	遊子谷尋常高等小学校校庭石垣	城川町	西予市城川町魚成	昭和10年4月	教育・学校		
16073	渡邊医院	城川町	西予市城川町魚成	大正4年	医療・医院		

宇和島市

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
17001	水荷浦の段々畑	宇和島市	宇和島市遊子水荷浦	江戸後期~明治期	農業	重文景	24
17002	吉田洋服店	宇和島市	宇和島市本町追手	大正初期	商業・観光		
17003	木屋旅館	宇和島市	宇和島市本町追手	明治44年	商業・観光		176
17004	須賀川護岸	宇和島市	宇和島市和霊町	昭和7年10月15日	港湾		
17005	宇和島鉄道長追川煉瓦製暗渠	宇和島市	宇和島市光満	大正3年10月	鉄道		198★
17006	宇和島鉄道橋谷橋梁	宇和島市	宇和島市光満	大正3年10月	鉄道		
17007	宇和島鉄道京の川煉瓦製4段暗渠	宇和島市	宇和島市光満	大正3年10月	鉄道		198★
17008	宇和島鉄道石組製暗渠	宇和島市	宇和島市光満	大正3年10月	鉄道		198★
17009	宇和島運転区転車台及び扇形機関庫	宇和島市	宇和島市錦町	昭和12年	鉄道		190
17010	国鉄宇和島駅給水塔	宇和島市	宇和島市錦町	昭和16年7月	鉄道		
17011	赤塚橋	宇和島市	宇和島市祝森	昭和5年	道路・橋梁		
17012	須賀橋	宇和島市	宇和島市御幸	昭和7年1月	道路・橋梁		
17013	福来橋	宇和島市	宇和島市祝森	昭和9年3月	道路・橋梁		
17014	船見橋	宇和島市	宇和島市大浦	大正8年	道路・橋梁		
17015	穂積橋	宇和島市	宇和島市新町	昭和5年2月	道路・橋梁		
17016	森安橋	宇和島市	宇和島市和霊町	昭和7年2月	道路・橋梁		
17017	神幸橋	宇和島市	宇和島市和霊町	昭和7年	道路・橋梁		205
17018	柿ノ木橋	宇和島市	宇和島市祝森	昭和5年2月	道路・橋梁		
17019	天神橋	宇和島市	宇和島市大浦	大正7年2月	道路・橋梁		
17020	板島橋親柱	宇和島市	宇和島市坂下津	昭和14年3月	道路・橋梁		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
17021	柿原水源地貯水池	宇和島市	宇和島市柿原	昭和5年11月	水道		219
17022	柿原水源地ろ過池	宇和島市	宇和島市柿原	大正15年9月	水道		219
17023	柿原水源地洗い堰	宇和島市	宇和島市柿原	大正15年9月	水道		219
17024	旧宇和島警察署(宇和島市立歴史資料館)	宇和島市	宇和島市住吉町	明治17年	官公庁	登録	233
17025	県立宇和島中学校門柱	宇和島市	宇和島市文京町	大正9年7月	教育・学校		
17026	樋口医院門柱	宇和島市	宇和島市堀端町	明治40年	医療・医院		
17027	日本メソジスト宇和島基督教会	宇和島市	宇和島市京町	昭和6年6月7日	宗教		265
17028	和霊神社大鳥居(庵治石)	宇和島市	宇和島市和霊町(和霊公園)	昭和13年10月	宗教		
17029	和霊神社石垣	宇和島市	宇和島市和霊町	大正7年頃	宗教		
17030	等覚寺山門	宇和島市	宇和島市野川	明治27年	宗教		
17031	樋口虎若家	宇和島市	宇和島市京町	大正15年	住宅		
17032	樋口虎若家囲い塀	宇和島市	宇和島市京町	大正15年	住宅		
17033	榎崎砲台(宇和島藩)	宇和島市	宇和島市住吉町	安政2(1855)年	軍事等	市史跡	
17034	薬師谷地区防空壕	宇和島市	宇和島市川内	太平洋戦争中	軍事等		
17035	海軍宇和島航空隊弾薬庫壕	宇和島市	宇和島市坂下津	不明	軍事等		
17036	樋ヶ浦段々畑	吉田町	宇和島市吉田町船間	不明	農業		
17037	立間ミカン貯蔵庫二棟(加賀山家・赤松家)	吉田町	宇和島市吉田町立間	明治44・45年	農業		37★
17038	立間みかん出荷組合マルニ支部倉庫	吉田町	宇和島市吉田町立間	昭和10年頃	農業		37
17039	程野弘家住宅	吉田町	宇和島市吉田町	不明	農業		★
17040	魚棚住宅群	吉田町	宇和島市吉田町魚棚	不明	漁業		67★
17041	上甲万吉酒店	吉田町	宇和島市吉田町東小路	明治末期	醸造業	登録	
17042	旭醤油醸造場店舗	吉田町	宇和島市吉田町東小路	大正初期	醸造業	登録	
17043	〇〇商店(保険会社・名称不詳)	吉田町	宇和島市吉田町本町	昭和17年頃	商業・観光		
17044	大上百貨店	吉田町	宇和島市吉田町本町	昭和6年頃	商業・観光		
17045	筋港防波堤	吉田町	宇和島市吉田町筋	大正6年4月	港湾		
17046	畦屋港防波堤	吉田町	宇和島市吉田町白浦畦屋	昭和初期	港湾		
17047	吉田港浮桟橋	吉田町	宇和島市吉田町川口	昭和4年頃	港湾		
17048	吉田突堤(導流堤)	吉田町	宇和島市吉田町魚棚	不明	港湾		
17049	南君漁港東長田防波堤	吉田町	宇和島市吉田町南君東	昭和初期	港湾		
17050	奥南航路(開口堀切)	吉田町	宇和島市吉田町船間	昭和2年	港湾		
17051	小名隧道	吉田町	宇和島市吉田町白浦~立間	昭和13年12月	道路・橋梁		
17052	山下橋(山下本家入口)	吉田町	宇和島市吉田町河内	昭和10年8月	道路・橋梁		
17053	奥南村役場庁舎	吉田町	宇和島市吉田町板の浦	昭和12年	官公庁		
17054	山下本家住宅母屋	吉田町	宇和島市吉田町河内	明治11年	住宅		
17055	山下本家住宅洋館	吉田町	宇和島市吉田町河内	昭和8年	住宅		
17056	山下本家住宅倉庫(戦時迷彩)	吉田町	宇和島市吉田町河内	昭和8年	住宅		
17057	山下亀三郎筋別荘離れ	吉田町	宇和島市吉田町河内	大正5年(移築)	住宅		
17058	山下亀三郎筋別荘寢室	吉田町	宇和島市吉田町河内	大正5年(移築)	住宅		
17059	山下亀三郎筋別荘倉庫	吉田町	宇和島市吉田町河内	大正5年(移築)	住宅		
17060	左海家住宅別館	吉田町	宇和島市吉田町立間	昭和初期	住宅		
17061	防空壕(南山八幡神社側)	吉田町	宇和島市吉田町立間	太平洋戦争中	軍事等		
17062	岡本景光家住宅	三間町	宇和島市三間町迫目	大正初期以前	農業		46★
17063	宇和島鉄道窓峠隧道	三間町	宇和島市三間町務田	大正3年10月	鉄道		197
17064	渡邊医院	三間町	宇和島市三間町務田	昭和3年6月	医療・医院		
17065	浦田眼科医院	三間町	宇和島市三間町大内	明治40年	医療・医院		
17066	今松家住宅	三間町	宇和島市三間町波岡	明治12年	住宅		
17067	太宰家住宅	三間町	宇和島市三間町大藤	明治末期	住宅		
17068	河野家住宅	三間町	宇和島市三間町大内	明治後期	住宅		
17069	御内の猪垣	津島町	宇和島市津島町御内	明治期	農業		
17070	御内の棚田(渡辺家所有)	津島町	宇和島市津島町御内	明治後期	農業		
17071	平和釜山坑口・坑道(マンガン坑)	津島町	宇和島市津島町山財本覚川源流	不明	鉱業		
17072	居村製紙店	津島町	宇和島市津島町岩松	明治40年頃	製紙業		
17073	西村酒店酒蔵(2棟)	津島町	宇和島市津島町岩松	昭和13年	醸造業		
17074	西村酒店道具倉	津島町	宇和島市津島町岩松	明治期	醸造業		
17075	西村酒店店舗	津島町	宇和島市津島町岩松	大正初期	醸造業		
17076	赤松酒造場酒蔵	津島町	宇和島市津島町上畑地	明治27年	醸造業		
17077	赤松酒造場貯蔵倉	津島町	宇和島市津島町上畑地	明治~昭和初期	醸造業		
17078	赤松酒造場米蔵	津島町	宇和島市津島町上畑地	明治27年	醸造業		
17079	赤松酒造場道具蔵	津島町	宇和島市津島町上畑地	明治27年	醸造業		
17080	赤松酒造場煉瓦煙突	津島町	宇和島市津島町上畑地	明治27年	醸造業		
17081	阿部酒店酒蔵	津島町	宇和島市津島町岩松	明治30年頃	醸造業		
17082	阿部酒店店舗・住宅	津島町	宇和島市津島町岩松	明治30年頃	醸造業		
17083	内山商店店舗・住宅	津島町	宇和島市津島町岩松	昭和2年頃	醸造業		
17084	西崎製紙店	津島町	宇和島市津島町岩松	明治期	木製業		
17085	岩村商店(米穀・荒物商)	津島町	宇和島市津島町岩松	昭和初期	商業・観光		
17086	三好旅館	津島町	宇和島市津島町岩松	大正初期	商業・観光		176
17087	鳥越隧道	津島町	宇和島市津島町~愛南町内海	大正8年6月20日	道路・橋梁		211
17088	泥目水の石波止	津島町	宇和島市津島町泥目水	昭和初期	港湾		
17089	荒神淵の灌漑用水路	津島町	宇和島市津島町山財	大正12年	砂防・堰堤		
17090	土居奥砂防堰堤群	津島町	宇和島市津島町岩松土居ノ奥	大正7・8年頃	砂防・堰堤		216
17091	清満郵便局	津島町	宇和島市津島町岩淵	昭和14年	通信・郵便		250
17092	御内郵便局	津島町	宇和島市津島町御内	昭和9年9月1日	通信・郵便		250
17093	富田医院	津島町	宇和島市津島町岩松	明治末~大正期	医療・医院		
17094	森医院	津島町	宇和島市津島町岩松	大正10年	医療・医院		
17095	小西三郎家住宅(松田家)	津島町	宇和島市津島町岩松	明治初期	住宅		
17096	小西三郎家住宅(越智家)	津島町	宇和島市津島町岩松	明治初期	住宅		
17097	小西萬太郎家住宅(東小西家)	津島町	宇和島市津島町岩松	明治初期	住宅		
17098	東小西家道具蔵	津島町	宇和島市津島町岩松	大正9年	住宅		
17099	西崎重徳家住宅(油屋)	津島町	宇和島市津島町岩松	昭和7年	住宅		
17100	内山彦三郎家住宅(木造3階建)	津島町	宇和島市津島町岩松	昭和2年頃	住宅		
17101	西村沢治家住宅(貸家)	津島町	宇和島市津島町岩松	明治末期	住宅		
17102	実藤森久家住宅	津島町	宇和島市津島町柿之浦	明治40年以前	住宅		
17103	横井萬太郎家住宅	津島町	宇和島市津島町針木	昭和2年	住宅		

鬼北町

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
18001	国鉄奈良川橋梁	広見町	鬼北町近永	昭和13年3月	鉄道		
18002	興野々橋	広見町	鬼北町興野々	大正11年	道路・橋梁		201
18003	土屋隧道	広見町	鬼北町大宿	昭和12年7月25日	道路・橋梁		
18004	旧旭郵便局	広見町	鬼北町近永	昭和7年	通信・郵便		246★
18005	井谷医院	広見町	鬼北町近永	明治42年	医療・医院		256★
18006	高村家倉庫(戦時迷彩)	広見町	鬼北町清水	大正7年頃	住宅		
18007	芝園治家米倉(煉瓦造)	広見町	鬼北町近永	大正3年11月頃	住宅		
18008	富母里釜山坑口(水銀)	日吉村	鬼北町父野川中	明治27年	鉱業		

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
18009	高研隧道	日吉村	鬼北町日向谷～高知県橋原	昭和3年5月	道路・橋梁		211
18010	下鍵山郵便局(木山縫製工場)	日吉村	鬼北町下鍵山	昭和11年10月16日	通信・郵便		245
18011	井谷正命家住宅	日吉村	鬼北町下鍵山	江戸期、明治24年移築	住宅	登録	268

松野町

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
19001	遊鶴羽地区棚田	松野町	松野町蕨生	不明	農業		
19002	正木酒造場店舗	松野町	松野町松丸	明治28年頃	醸造業		
19003	正木酒造場酒蔵	松野町	松野町松丸	明治期か	醸造業		
19004	吉良友好家酒屋	松野町	松野町松丸	明治28年頃	醸造業		
19005	岡清商店	松野町	松野町松丸	明治42年	醸造業		130
19006	正木酒店	松野町	松野町吉野	安政5年・大正13年	醸造業		124★
19007	正木本店	松野町	松野町松丸	不明	醸造業		125★
19008	四国銀行松丸出張所	松野町	松野町松丸	昭和初期頃	金融業		166
19009	国鉄広見川橋梁	松野町	松野町吉野	昭和13年3月	鉄道		
19010	宇和島鉄道鉄道橋脚	松野町	松野町松丸	大正9～12年頃	鉄道		
19011	松丸郵便局	松野町	松野町松丸	昭和4年頃	通信・郵便		250
19012	吉良家庄屋門(妙楽寺山門)	松野町	松野町蕨生	不明	宗教		
19013	布家住宅	松野町	松野町吉野	不明	住宅		★
19014	市川家(旧清家)	松野町	松野町蕨生	明治期	住宅		
19015	陸軍野壕陣地跡	松野町	松野町吉野・富岡	太平洋戦争中	軍事等		283
19016	防空壕(天満宮側)	松野町	松野町松丸	太平洋戦争中	軍事等		

愛南町

整理番号	名称	旧市町村	所在地	建設(建築)年	中分類	区分	掲載頁等
20001	浦和盛三郎家住宅・魚類製造家屋(目関家)	内海村	愛南町網代	明治22年	漁業		62
20002	鳥越隧道(再掲)	内海村	愛南町内海～宇和島市津島	大正8年6月20日	道路・橋梁		211
20003	旧柏郵便局局舎(寛藤家)	内海村	愛南町柏	昭和12年	通信・郵便		
20004	網代地区防風・防潮石垣	内海村	愛南町荒裡・本谷・本網代	文政年間頃	その他(生活)		
20005	海軍佐伯防備隊由良崎防備衛所	内海村	愛南町網代	昭和16～20年頃	軍事等		279
20006	辻三親商会醤油仕込蔵	御荘町	愛南町御荘平城	明治40～43年頃	醸造業		
20007	大久保酒造場	御荘町	愛南町御荘平城	不明	醸造業		★
20008	名門サカイ(榊御荘店(旧大久保酒造))	御荘町	愛南町御荘平城	昭和10年	醸造業		
20009	株式会社土豫銀行御荘支店	御荘町	愛南町御荘平城	昭和5年	金融業		162
20010	岡村医院	御荘町	愛南町御荘平城	不明	医療・医院		★
20011	岡村松軒家	御荘町	愛南町御荘平城	不明	住宅		★
20012	清家政夫家	御荘町	愛南町御荘平城	不明	住宅		★
20013	海軍局地戦闘機 紫電改	御荘町	愛南町御荘平城(紫電改展示館)	昭和20年	軍事等		283
20014	小西酒造場	城辺町	愛南町蓮乗寺	不明	醸造業		126★
20015	深浦トンネル	城辺町	愛南町深浦	昭和16年頃	道路・橋梁		
20016	宇和島藩久良砲台・石塁(高野長英設計)	城辺町	愛南町久良	嘉永3(1850)年5月	軍事等		283
20017	海軍第10特攻戦隊第102突撃隊深浦基地壕	城辺町	愛南町岩水	昭和19年	軍事等		283★
20018	別家藤岡家	一本松町	愛南町正木	昭和13年	住宅	登録	
20019	旧藤岡勝三郎家(井村家)	一本松町	愛南町小山	昭和13年	住宅	登録	
20020	外泊の石垣集落・段々畑・猪垣	西海町	愛南町外泊	江戸末～明治期	農業		26
20021	煮干イワシ製造施設	西海町	愛南町福浦	昭和初期～昭和30年代	漁業		64
20022	福浦防潮石垣	西海町	愛南町福浦	不明	港湾		★
20023	海軍第8特攻戦隊第21突撃隊武者泊砲台	西海町	愛南町武者泊	不明	軍事等		283★
20024	海軍第8特攻戦隊第21突撃隊第11回天隊壕	西海町	愛南町麦ヶ浦	昭和20年春	軍事等		

解体物件一覽(近代化遺産総合調査(平成14年度)以降)

整理番号	名称	市町	旧市町村	建設(建築)年	中分類	写真掲載
001	住治平家別宅庭園	四国中央市	伊予三島市	明治10~20年頃	製紙業	
002	前谷酒造場店舗	四国中央市	伊予三島市	明治初期	醸造業	○
003	三島港荷揚場	四国中央市	伊予三島市	昭和6年7月	港湾	
004	山上理髪店	四国中央市	土居町	昭和4年頃	商業・観光	○
005	大蔵省坂出地方専売局多喜浜出張所門柱	新居浜市	新居浜市	明治末期	製塩業	
006	西条銀行多喜浜出張所	新居浜市	新居浜市	大正末期	金融業	○
007	龍川橋	新居浜市	新居浜市	大正元年9月	道路・橋梁	
008	大黒座	新居浜市	新居浜市	大正13年頃	文化・娯楽	
009	藤田新治家離れ	新居浜市	新居浜市	昭和3年頃	製塩業	○
010	伊川合名会社織布工場	西条市	西条市	大正7年頃	繊維業	○
011	伊川合名会社給水塔	西条市	西条市	大正7年頃	繊維業	
012	伊川合名会社ボイラー室	西条市	西条市	大正7年頃	繊維業	
013	今井貞重日本刀鍛錬場	西条市	西条市	昭和初期	その他(2次)	○
014	藤田銃砲火薬店火薬庫	西条市	西条市	明治初期	商業・観光	○
015	西条武徳殿	西条市	西条市	昭和10年	教育・学校	○
016	三品兵馬家離れ	西条市	西条市	昭和11年頃	住宅	○
017	玉井製瓦工場職屋(素屋も含む)	西条市	小松町	昭和3年	窯業	
018	丹原町・吉岡村・徳田村衛生組合立隔離病舎事務所棟	西条市	丹原町	昭和4年	医療・医院	○
019	永野医院	西条市	小松町	大正15年	医療・医院	○
020	山之神橋	西条市	小松町	昭和8年	道路・橋梁	○
021	富田有限責任信用購買利用組合米倉庫	今治市	今治市	昭和4年3月	農業	○
022	榊木原商店高部工場事務所	今治市	今治市	大正11年頃	繊維業	
023	榊木原商店高部工場織布工場①	今治市	今治市	大正11年頃	繊維業	
024	榊木原商店高部工場織布工場②	今治市	今治市	昭和6年頃	繊維業	○
025	榊木原商店高部工場寄宿舎	今治市	今治市	昭和6年頃	繊維業	
026	榊木原商店高部工場ボイラー室	今治市	今治市	昭和6年頃	繊維業	
027	榊木原商店高部工場煙突	今治市	今治市	昭和6年頃	繊維業	
028	榊木原商店高部工場貯水施設	今治市	今治市	昭和6年頃	繊維業	
029	丸今綿布製織工場	今治市	今治市	大正期	繊維業	
030	丸今綿布製織受電室(変電室)	今治市	今治市	大正期	繊維業	○
031	丸今綿布製織瓦塀	今治市	今治市	大正期	繊維業	
032	ヤマタン醤油醸造元八木商店煉瓦煙突	今治市	今治市	大正期	醸造業	
033	ヤマタン醤油醸造元八木商店仕込蔵	今治市	今治市	明治期	醸造業	○
034	大蔵省坂出地方専売局波止浜出張所	今治市	今治市	明治44年	製塩業	○
035	波止浜塩合資会社	今治市	今治市	大正末~昭和初期	製塩業	
036	組合立越智中学校本館	今治市	今治市	大正15年4月	教育・学校	○
037	組合立越智中学校講堂	今治市	今治市	大正15年4月	教育・学校	○
038	石台堰(井堰)	今治市	朝倉村	昭和9年5月	砂防・堰堤	○
039	鴨部有限責任信用組合米倉庫	今治市	玉川町	昭和14年3月	農業	○
040	愛媛船釘製組組合織工場	今治市	波方町	昭和17~18年頃	その他(2次)	○
041	小西村信用購買販売利用組合事務所	今治市	大西町	昭和初期	農業	
042	小西村信用購買販売利用組合米倉庫	今治市	大西町	昭和初期	農業	○
043	大井村信用購買利用組合事務所・倉庫・会議室	今治市	大西町	昭和13年	農業	○
044	田坂酒造場酒蔵	今治市	大西町	明治期	醸造業	
045	小西村役場庁舎	今治市	大西町	昭和3年6月	官公庁	○
046	小西村役場会議室	今治市	大西町	昭和3年6月	官公庁	○
047	猪野梅太郎家(洋館)	今治市	菊間町	大正末期	住宅	○
048	中渡島灯台吏員退息所(滞在舎)	今治市	吉海町	明治33年4月	灯台	○
049	大山郵便取扱所	今治市	吉海町	昭和10年	通信・郵便	
050	村上酒造場酒蔵	今治市	宮窪町	明治41年頃	醸造業	○
051	藤本才治家住宅石塀	今治市	宮窪町	明治末~大正期	住宅	
052	有限責任東伯方村信用購買販売生産組合米倉庫	今治市	伯方町	昭和3年12月	農業	○
053	口総塩田	今治市	大三島町	文政元(1818)年	製塩業	○
054	宗方塩田	今治市	大三島町	弘化2(1845)年	製塩業	
055	大蔵省広島地方専売局竹原出張所浦戸取扱所事務所	今治市	大三島町	大正期	製塩業	○
056	大蔵省広島地方専売局竹原出張所浦戸取扱所収納倉庫	今治市	大三島町	大正~昭和初期	製塩業	○
057	修養殿(青年会所)	上島町	魚島村	昭和5年頃	官公庁	○
058	丸屋旅館	上島町	弓削町	大正12年頃	商業・観光	○
059	田坂初太郎下弓削別荘の雁木	上島町	弓削町	明治末~大正期	住宅	
060	朝日楼	松山市	松山市	大正初期	商業・観光	
061	栄湯	松山市	松山市	不明	商業・観光	
062	伊予鉄道三津停車場	松山市	松山市	昭和6年頃	鉄道	○
063	小野川橋	松山市	松山市	昭和7年3月	道路・橋梁	○
064	上総橋	松山市	松山市	昭和10年6月	道路・橋梁	○
065	武智雅一家	松山市	松山市	昭和9年	住宅	○
066	松山聖アンデレ教会牧師館	松山市	松山市	昭和8年	宗教	○
067	横河原区簡易水道井戸	東温市	重信町	大正末期	水道	
068	北吉井村役場庁舎	東温市	重信町	大正5年6月	官公庁	○
069	村上家住宅(洋館)	東温市	重信町	大正7年頃	住宅	○
070	軍事保護院傷痍軍人愛媛療養所寿康館(講堂)	東温市	重信町	昭和17年5月	軍事等	○
071	軍事保護院傷痍軍人愛媛療養所官舎	東温市	重信町	昭和14年8月	軍事等	
072	軍事保護院傷痍軍人愛媛療養所被服倉庫	東温市	重信町	昭和14年8月	軍事等	
073	軍事保護院傷痍軍人愛媛療養所木工作業場	東温市	重信町	昭和14年8月	軍事等	
074	軍事保護院傷痍軍人愛媛療養所雑品倉庫	東温市	重信町	昭和14年8月	軍事等	
075	軍事保護院傷痍軍人愛媛療養所危険物保管庫	東温市	重信町	昭和14年8月	軍事等	
076	伊予陶器煉瓦門柱(池貫工場)	伊予市	伊予市	大正4年	窯業	
077	伊予陶器煉瓦煙突(池貫工場)	伊予市	伊予市	大正4年	窯業	○
078	砥部尋常高等小学校講堂	砥部町	砥部町	昭和11年5月	教育・学校	○
079	戸梶医院	砥部町	砥部町	昭和初期	医療・医院	○
080	日之出屋旅館(旧中川旅館)	久万高原町	面河村	昭和16年	商業・観光	○
081	仕七川村森林組合事務所	久万高原町	美川村	昭和11~12年頃	林業	○
082	仕七川郵便局	久万高原町	美川村	大正12年3月	通信・郵便	○

整理番号	名称	市町	旧市町村	建設(建築)年	中分類	写真掲載
083	竹内酒造場門柱	内子町	小田町	昭和初期	醸造業	
084	料亭ヤマサン	内子町	内子町	昭和4~5年	商業・観光	○
085	成留屋映画館	内子町	内子町	昭和初期	文化・娯楽	○
086	昭和鉱業株大久喜鉱業所選鉱場施設群	内子町	五十崎町	昭和9年	鉱業	○
087	三善農業倉庫	大洲市	大洲市		農業	36
088	油屋旅館	大洲市	大洲市	明治40年	商業・観光	○
089	上須戒青年学校明玄農士道場	大洲市	大洲市	昭和14年6月	教育・学校	○
090	八多喜郵便局	大洲市	大洲市	昭和5年	通信・郵便	○
091	池田眞兵衛家堪忍庵	大洲市	大洲市	明治期	住宅	○
092	鳥首駐在所	大洲市	肱川町	昭和期	官公庁	○
093	河床橋	大洲市	肱川町	明治初期	道路・橋梁	
094	佐島製錬所船付場	八幡浜市	八幡浜市	不詳	鉱業	○
095	青木石油・青木運輸社屋	八幡浜市	八幡浜市	昭和12年	運輸・海運業	○
096	広瀬医院	八幡浜市	八幡浜市	明治末~大正初期	医療・医院	○
097	井上医院	八幡浜市	八幡浜市	大正13年	医療・医院	○
098	清水医院	八幡浜市	八幡浜市	大正12年	医療・医院	
099	東洋紡績(株)川之石工場寄宿舎	八幡浜市	保内町	昭和初期	繊維業	○
100	藤堂家住宅	伊方町	伊方町	明治期	住宅	
101	三崎郵便局	伊方町	三崎町	昭和期	通信・郵便	
102	串尋常小学校与侈分教場	伊方町	三崎町	昭和5年7月17日	教育・学校	○
103	高山郵便局	西予市	明浜町	昭和期	通信・郵便	○
104	卯之町の繭交換所	西予市	宇和町	明治期	農業	○
105	くずし屋(鮮魚・蒲鉾・料理店)	西予市	宇和町	昭和12年	商業・観光	○
106	下宇和村役場庁舎	西予市	宇和町	明治41年	官公庁	○
107	卯之町税務署	西予市	宇和町	明治期か	官公庁	○
108	窪公会堂	西予市	宇和町	昭和初期か	官公庁	
109	狭間公会堂	西予市	宇和町	昭和16年頃	官公庁	
110	山田郵便局	西予市	宇和町	昭和2年	通信・郵便	○
111	野村警察署武徳殿	西予市	野村町	昭和7年	官公庁	○
112	川本英次郎家養蚕室(木造3階建)	西予市	城川町	昭和初期	農業	
113	中河原橋	西予市	城川町	昭和11年8月	道路・橋梁	
114	魚成尋常高等小学校講堂	西予市	城川町	昭和10年4月	教育・学校	
115	赤松薫二郎家	西予市	城川町	明治30年	住宅	○
116	河野酒店店舗	宇和島市	宇和島市	明治期	醸造業	○
117	国鉄宇和島駅舎	宇和島市	宇和島市	昭和16年7月	鉄道	○
118	和霊尋常小学校 プール	宇和島市	宇和島市	昭和15年	教育・学校	○
119	樋口医院	宇和島市	宇和島市	明治40年	医療・医院	○
120	御殿内の乾藪倉庫	宇和島市	吉田町	大正15年頃	農業	○
121	薬師寺類治家養蚕室	宇和島市	吉田町	明治30年代	農業	○
122	農事試験場南予柑橘試験地試験場	宇和島市	吉田町	昭和9年2月	官公庁	○
123	農事試験場南予柑橘試験地官舎	宇和島市	吉田町	昭和9年2月	官公庁	○
124	陶成学校校舎	宇和島市	吉田町	明治13年頃	教育・学校	
125	山下亀三郎筋別荘母屋	宇和島市	吉田町	大正5年	住宅	○
126	渡辺医院	宇和島市	三間町	明治末期	医療・医院	○
127	岩松橋	宇和島市	津島町	大正10年	道路・橋梁	○
128	御荘公会堂	愛南町	御荘町	昭和8年8月	官公庁	○
129	玉水旅館	愛南町	城辺町		商業・観光	○
130	東郷橋	愛南町	城辺町	昭和9年3月	道路・橋梁	○
131	煮干イワシ製造施設	愛南町	西海村	昭和初期~昭和30年代	漁業	64
132	猪崎保直家	愛南町	西海町		住宅	



002 前谷酒造場店舗



004 山上理髪店



006 西条銀行多喜浜出張所



009 藤田新治家離れ



010 伊川合名会社織布工場



013 今井定重日本刀鍛錬場



014 藤田銃砲火薬店火薬庫



015 西条武徳殿



016 三品兵馬家離れ



018丹原町・吉岡村・徳田村衛生組合立隔離病舎事務所棟



019 永野医院



020 山之神橋



021 富田有限責任信用購買利用組合米倉庫



024 (株)木原商店高部工場織布工場②



030 丸今綿布(株)受電室(変電室)



033 ヤマタン醤油醸造元八木商店仕込蔵



034 大蔵省坂出地方専売局波止出張所



036 組合立越智中学校本館



037 組合立越智中学校講堂



038 石台堰(井堰)



039 鴨部有限責任信用組合米倉庫



040 愛媛船釘統制組合鍛工場



042 小西村信用購買販売利用組合米倉庫



043 大井村信用購買利用組合事務所・倉庫・会議室



045 小西村役場庁舎



046 小西村役場会議室



047 猪野梅太郎家（洋館）



048 中渡島灯台吏員退息所（滞在舎）



050 村上酒造場酒蔵



052 有限責任東北方村信用購買販売生産組合米倉庫



053 口総塩田



055 大蔵省広島地方専売局竹原出張所浦戸取扱所事務所



056 大蔵省広島地方専売局竹原出張所浦戸取扱所収納倉庫



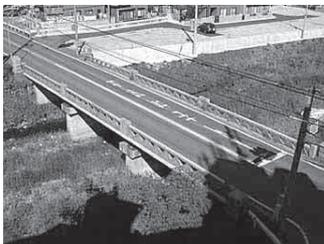
057 修養殿（青年会所）



058 丸屋旅館



062 伊予鉄道三津停車場



063 小野川橋



064 上総橋



065 武智雅一家



066 松山聖アンデレ教会牧師館



068 北吉井村役場庁舎



069 村上家住宅（洋館）



070 軍事保護院傷痍軍人愛媛療養所寿康館(講堂)



077 伊予陶器(株)煉瓦煙突(池貫工場)



078 砥部尋常高等小学校講堂



079 戸梶医院



080 日之出屋旅館(旧中川旅館)



081 仕七川村森林組合事務所



082 仕七川郵便局



084 料亭ヤマサン



085 成留屋映画館



086 昭和鉱業(株)大久喜鉱業所選鉱場施設群



088 油屋旅館



089 上須戒青年学校明玄農士道場



090 八多喜郵便局



091 池田貫兵衛家堪忍庵



092 鳥首駐在所



094 佐島製錬所船付場



095 青木石油・青木運輸社屋



096 広瀬医院



097 井上医院



099 東洋紡績(株)川之石工場寄宿舍



102 串尋常小学校与侈分教場



103 高山郵便局



104 卯之町の繻交換所



105 ぐずし屋(鮮魚・蒲鉾・料理店)



106 下宇和村役場庁舎



107 卯之町税務署



110 山田郵便局



111 野村警察署武徳殿



115 赤松薫二郎家



116 河野酒店店舗



117 国鉄宇和島駅舎



118 和霊尋常小学校プール



119 樋口医院



120 御殿内の乾繻倉庫



121 薬師寺類治家養蚕室



122 農事試験場南予柑橘試験地試験場



125 山下亀三郎筋別荘母屋



126 渡辺医院



127 岩松橋



128 御荘公会堂



129 玉水旅館



130 東郷橋

愛媛県の近代化遺産

－近代化えひめ歴史遺産総合調査報告書－

平成25年3月発行

編 集 (公財)えひめ地域政策研究センター
発 行 愛媛県教育委員会文化財保護課
松山市一番町四丁目4-2